

(審 査 資 料)

1 全 会 計 (一般会計及び10特別会計)

(1) 決 算 規 模

本年度の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算額は、次のとおりである。

(単位：千円)

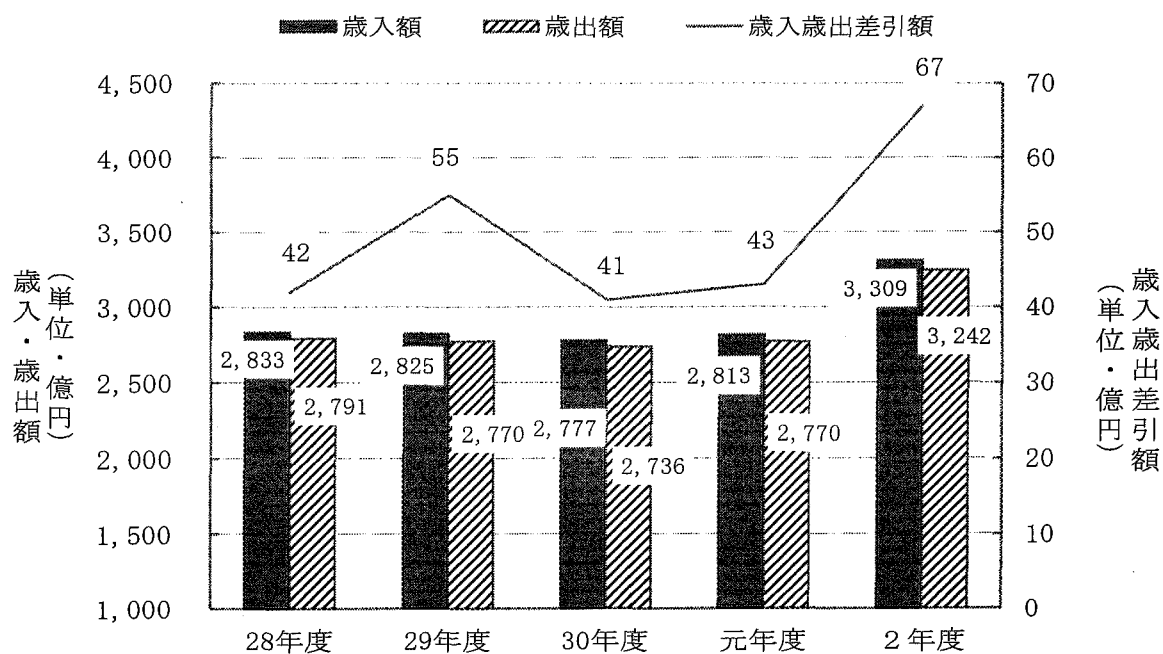
区 分	歳 入 決 算 額			歳 出 決 算 額		
	2 年 度	元 年 度	増 減 額	2 年 度	元 年 度	増 減 額
一 般 会 計	232,590,786	181,329,701	51,261,085	227,594,777	178,196,644	49,398,133
特 別 会 計	98,276,713	100,002,061	△ 1,725,348	96,570,169	98,812,495	△ 2,242,326
市 営 地 方 競 馬 事 業 費	4,448,316	3,103,596	1,344,720	4,334,600	3,079,857	1,254,743
市 街 地 再 開 発 事 業 費	32,967	31,825	1,142	32,967	31,825	1,142
公 共 用 地 先 行 取 得 事 業 費	2,474,769	465,786	2,008,983	2,474,769	465,786	2,008,983
工 業 団 地 造 成 事 業 費	878,390	4,838,661	△ 3,960,271	541,629	4,793,523	△ 4,251,894
住 宅 団 地 建 設 事 業 費	121,848	219,808	△ 97,960	121,848	219,808	△ 97,960
駐 車 場 事 業 費	199,600	238,203	△ 38,603	199,600	238,203	△ 38,603
国 民 健 康 保 険 費	43,772,247	45,357,465	△ 1,585,218	43,527,462	45,157,706	△ 1,630,244
後 期 高 齢 者 医 療 費	6,435,206	6,281,328	153,878	6,426,493	6,269,690	156,803
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 費	60,710	44,359	16,351	6,626	13,005	△ 6,379
介 護 保 険 費	39,852,660	39,421,030	431,630	38,904,175	38,543,092	361,083
合 計	330,867,499	281,331,762	49,535,737	324,164,946	277,009,139	47,155,807

ア 総計決算額

(単位：千円・%)

区 分	2 年 度	元 年 度	増 減	
			金 額	比 率
歳 入	330,867,499	281,331,762	49,535,737	17.6
一 般 会 計	232,590,786	181,329,701	51,261,085	28.3
特 別 会 計	98,276,713	100,002,061	△ 1,725,348	△ 1.7
歳 出	324,164,946	277,009,139	47,155,807	17.0
一 般 会 計	227,594,777	178,196,644	49,398,133	27.7
特 別 会 計	96,570,169	98,812,495	△ 2,242,326	△ 2.3
歳入歳出差引	6,702,553	4,322,623	2,379,930	55.1
一 般 会 計	4,996,009	3,133,057	1,862,952	59.5
特 別 会 計	1,706,544	1,189,566	516,978	43.5

(ア) 総計決算額の推移は、次のとおりである。



(注) 平成28年度は特別会計からの用地買戻し等、平成29年度、平成30年度は基金の再編分を含む。

(イ) 一般会計と特別会計との繰出し及び繰入れの状況は、次のとおりである。

(単位：千円・％)

区 分	2 年 度		元 年 度		増 減	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	比 率
一般会計から特別会計への繰出し						
市 街 地 再 開 発 事 業 費	7,499	0.1	182	0.0	7,317	4,020.3
公共用地先行取得事業費	278,354	2.6	281,289	2.8	△ 2,935	△ 1.0
工業団地造成事業費	526,652	4.9	153,460	1.5	373,192	243.2
駐 車 場 事 業 費	33,206	0.3	-	-	33,206	-
国 民 健 康 保 険 費	3,069,015	28.5	3,131,944	31.0	△ 62,929	△ 2.0
後 期 高 齢 者 医 療 費	1,270,153	11.8	1,228,059	12.1	42,094	3.4
介 護 保 険 費	5,577,759	51.8	5,318,122	52.6	259,637	4.9
計	10,762,638	100.0	10,113,056	100.0	649,582	6.4
一般会計への繰入れ						
市 営 地 方 競 馬 事 業 費	23,739	18.1	2,657	1.4	21,082	793.5
公共用地先行取得事業費	19,459	14.8	109,532	58.0	△ 90,073	△ 82.2
住宅団地建設事業費	82,770	62.9	61,305	32.4	21,465	-
駐 車 場 事 業 費	5,522	4.2	14,881	7.9	△ 9,359	△ 62.9
母 子 父 子 寡 婦 福 祉	-	-	584	0.3	△ 584	△ 100.0
資 金 貸 付 事 業 費	-	-	-	-	-	-
計	131,490	100.0	188,959	100.0	△ 57,469	△ 30.4

イ 純計決算額

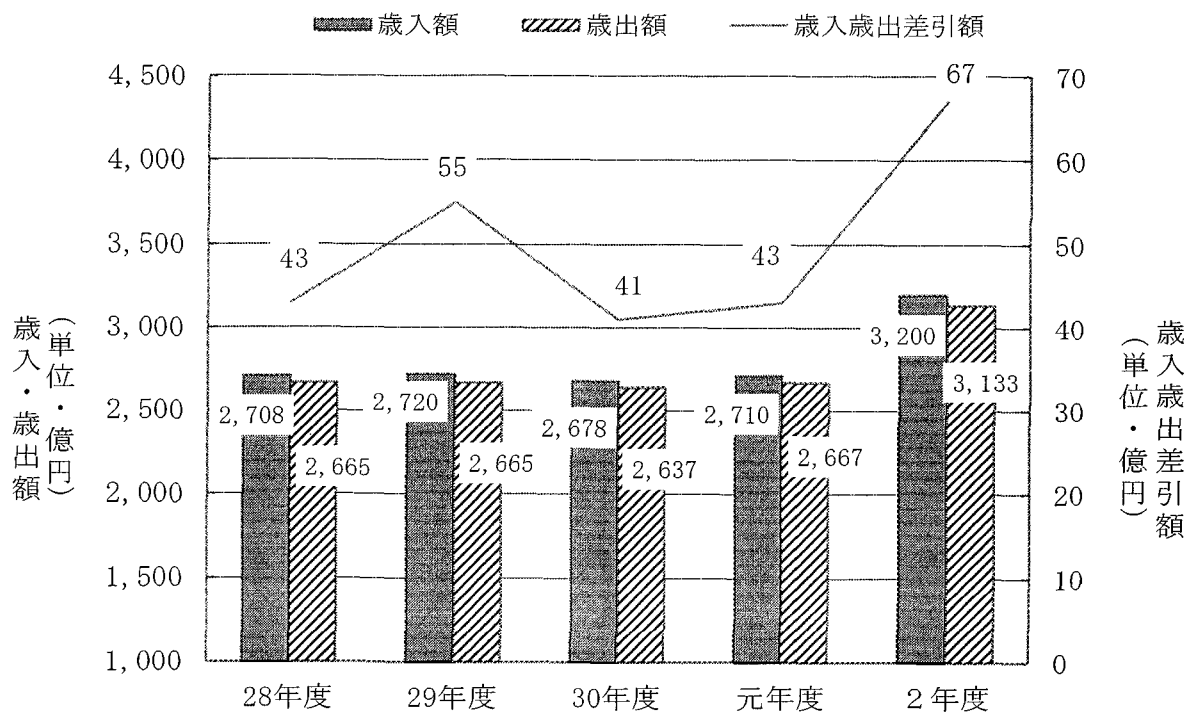
(単位：千円・％)

区 分	2 年 度	元 年 度	増 減	
			金 額	比 率
歳 入	319,973,371	271,029,747	48,943,624	18.1
一 般 会 計	232,459,296	181,140,742	51,318,554	28.3
特 別 会 計	87,514,075	89,889,005	△ 2,374,930	△ 2.6
歳 出	313,270,818	266,707,124	46,563,694	17.5
一 般 会 計	216,832,139	168,083,588	48,748,551	29.0
特 別 会 計	96,438,679	98,623,536	△ 2,184,857	△ 2.2
歳入歳出差引	6,702,553	4,322,623	2,379,930	55.1
一 般 会 計	15,627,157	13,057,154	2,570,003	19.7
特 別 会 計	△ 8,924,604	△ 8,734,531	△ 190,073	△ 2.2

(注) 純計決算額とは、各会計間の繰入金、繰出金の重複額を控除した決算額である。

(ア) 繰入金、繰出金の重複額は108億9,412万8千円で、前年度と比べると5億9,211万3千円(5.7%)増加している。

(イ) 純計決算額の推移は、次のとおりである。



(注) 平成28年度は特別会計からの用地買戻し等、平成29年度、平成30年度は基金の再編分を含む。

(3) 主な財政指標等

(普通会計決算状況)

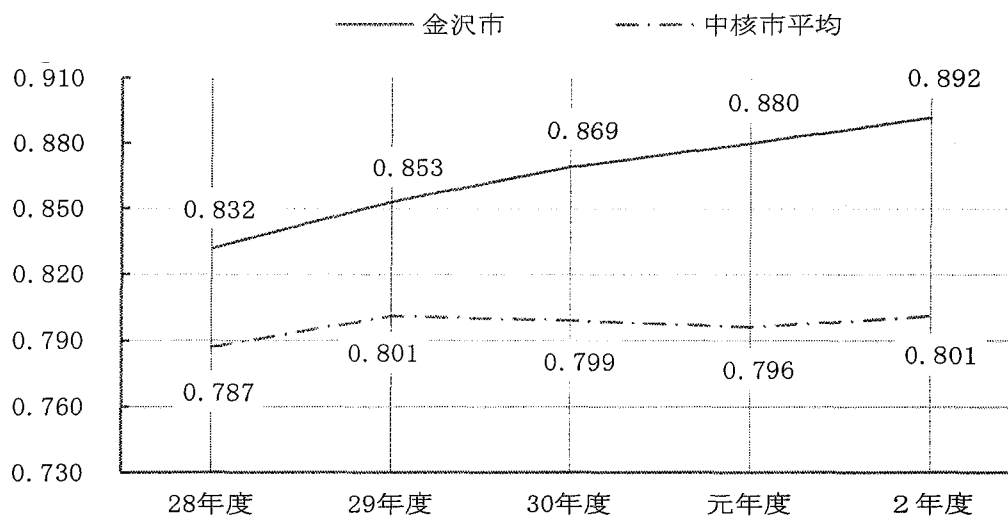
(単位：千円)

区 分	歳 入 決 算 額			歳 出 決 算 額		
	2 年 度	元 年 度	増 減 額	2 年 度	元 年 度	増 減 額
一 般 会 計	231,692,252	180,452,143	51,240,109	224,846,620	177,000,406	47,846,214
特 別 会 計	686,671	102,787	583,884	2,482,210	390,113	2,092,097
市街地再開発事業費	12,775	21,255 △	8,480	20,273	21,437 △	1,164
公共用地先行取得事業費	613,186	37,173	576,013	2,455,311	356,254	2,099,057
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	60,710	44,359	16,351	6,626	12,422 △	5,796
合 計	232,378,923	180,554,930	51,823,993	227,328,830	177,390,519	49,938,311

(注) 普通会計とは、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分である。

ア 財政力指数

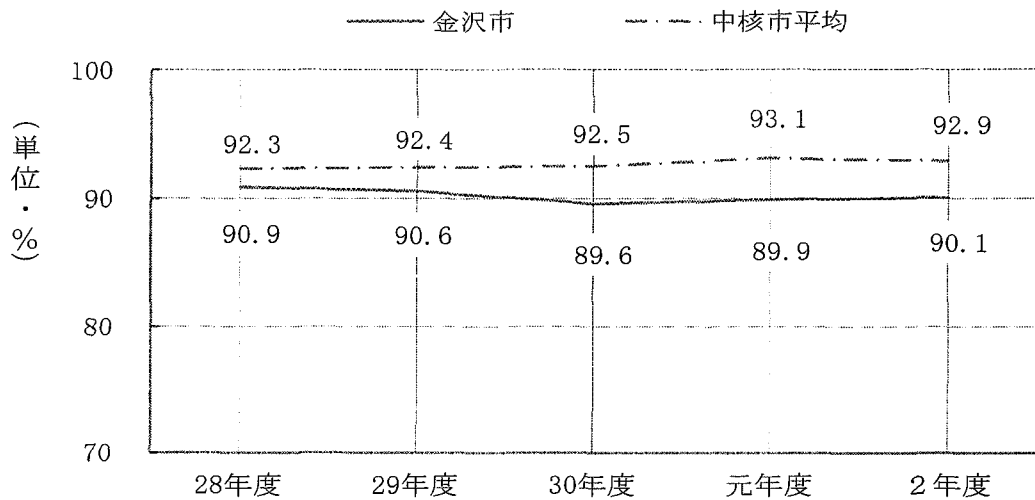
財政力指数は、地方公共団体の財政力を評価する際に一般的に用いられる指標で、数値が1に近いほど財政力が強いとみることができ、1を超えるほど財源に余裕があるとされている。本年度の財政力指数は0.892で、前年度を0.012ポイント上回っており、その近年の推移は次のとおりである。



(注) 財政力指数 = $\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$ の3か年の平均値

イ 経常収支比率

経常収支比率は、財政構造の硬直化や弾力性を示す指標で、この比率が高いほど経常余剰財源が少なく財政の硬直化が進んでおり、逆に低いほど弾力性があるとされている。一般的には75%程度が妥当と考えられ、80%を超える場合には、その財政構造は弾力性を失いつつあると考えられている。本年度の経常収支比率は90.1%で前年度を0.2ポイント上回っており、その近年の推移は次のとおりである。



(注) 1 $\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常的経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源}} \times 100$ (普通会計)

2 経常的経費充当一般財源とは、毎年度継続して経常的に支出される経費に充当される一般財源をいい、経常一般財源とは、毎年度継続して経常的に収入され、使途の特定されていない収入をいう。

3 経常一般財源には、減税補てん債及び臨時財政対策債を含む。

なお、経常収支比率の内訳の推移は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

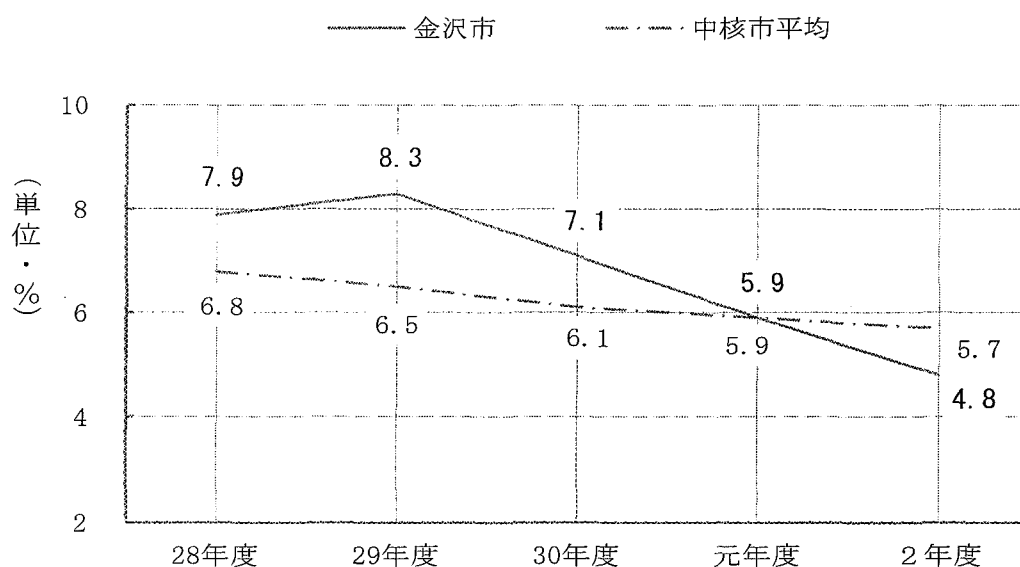
区 分		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	2年度 中核市平均
経常収支比率		90.9	90.6	89.6	89.9	90.1	92.9
内 訳	人件費	19.4 (20,014,732)	19.1 (19,715,862)	19.1 (19,849,285)	19.2 (19,869,624)	20.1 (20,650,253)	24.8
	扶助費	12.6 (12,982,751)	13.3 (13,737,185)	13.3 (13,835,193)	13.6 (14,062,323)	12.8 (13,178,844)	14.9
	公債費	24.0 (24,811,604)	23.4 (24,185,970)	20.1 (20,814,708)	19.4 (20,006,100)	19.2 (19,697,940)	15.9
	物件費	13.3 (13,701,736)	13.6 (14,066,372)	15.1 (15,671,471)	15.6 (16,094,012)	16.0 (16,473,143)	14.9
	維持補修費	0.9 (935,199)	1.0 (991,963)	0.8 (843,643)	0.8 (810,277)	0.9 (963,333)	1.7
	補助費等	10.1 (10,445,534)	9.2 (9,516,129)	10.1 (10,530,575)	9.9 (10,244,098)	9.6 (9,885,087)	8.9
	繰出金	10.6 (10,970,725)	11.0 (11,330,451)	11.1 (11,479,744)	11.4 (11,759,563)	11.5 (11,785,933)	11.8

(注) 1 実数は経常収支比率とその内訳であり、() 書きは経常的経費充当一般財源額である。

2 繰出金の主なものは、介護保険費特別会計、国民健康保険費特別会計及び後期高齢者医療費特別会計に対するものである。

ウ 実質公債費比率

実質公債費比率は、市債発行の後年度の財政運営に及ぼす影響を知るために用いられるものである。この比率が18%以上になると地方債許可団体に移行し、更に25%以上になると、財政健全化法により財政健全化計画を定めなければならないこととされている。本年度の実質公債費比率は4.8%で、前年度を1.1ポイント下回っており、その近年の推移は次のとおりである。



(注) 1 実質公債費比率 =

$$\frac{\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金} - \text{元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源}}{\text{標準財政規模}}$$

$$= \frac{\text{元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}{\text{元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}} \times 100 \quad \text{の3か年の平均値}$$

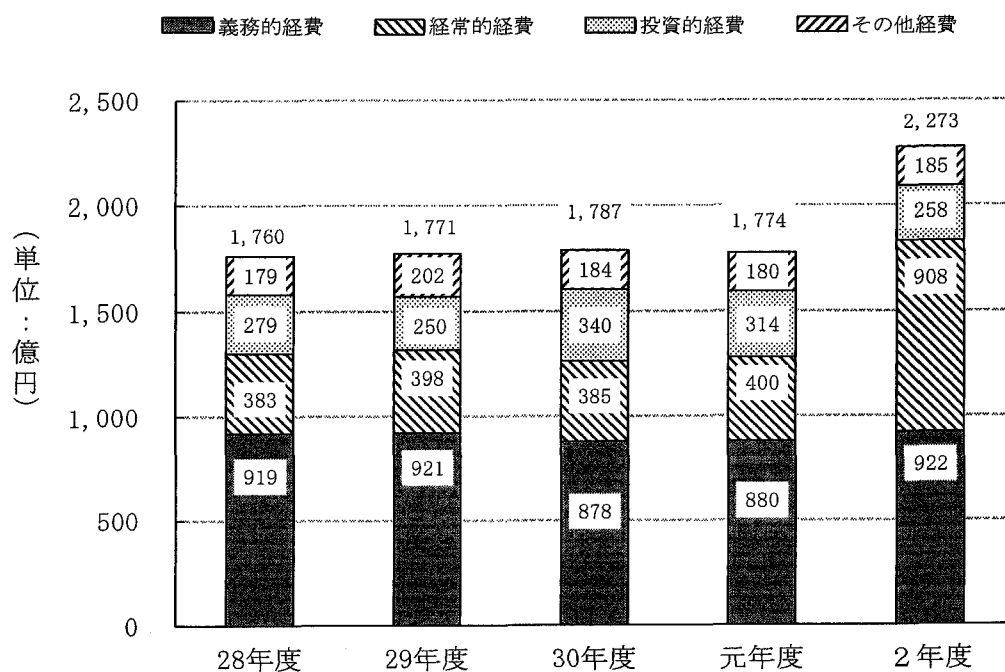
・地方債の元利償還金は繰上償還などの臨時的なものを除いており、準元利償還金は一般会計等から一般会計等以外の特別会計への繰出金のうち、公営企業債の償還に充てたと認められるもの等をいう。また、それらに充てられる特定財源には都市計画税が含まれる。
 ・元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額は、普通交付税算定において基準財政需要額に算入された額である。

$$2 \text{ 標準財政規模} = \text{標準税収入額} + \text{普通交付税額} + \text{臨時財政対策債発行可能額}$$

エ 性質別経費（普通会計）の推移

(単位：千円・%)

区 分	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比
義 務 的 経 費	91,871,791	52.2	92,112,079	51.9	87,756,558	49.1	88,047,033	49.6	92,203,295	40.6
人 件 費	22,009,906	12.5	21,887,186	12.3	22,006,180	12.3	21,855,102	12.3	22,635,698	10.0
扶 助 費	43,164,143	24.5	44,342,802	25.0	43,645,841	24.4	45,434,845	25.6	48,159,961	21.2
公 債 費	26,697,742	15.2	25,882,091	14.6	22,104,537	12.4	20,757,086	11.7	21,407,636	9.4
経 常 的 経 費	38,316,659	21.8	39,794,934	22.5	38,455,813	21.6	39,973,100	22.5	90,774,286	39.9
物 件 費	21,774,234	12.4	22,420,453	12.7	22,105,093	12.4	23,846,819	13.4	26,587,237	11.7
維持補修費	1,457,176	0.8	2,315,925	1.3	1,414,189	0.8	1,411,261	0.8	2,078,799	0.9
補助費等	15,085,249	8.6	15,058,556	8.5	14,936,531	8.4	14,715,020	8.3	62,108,250	27.3
投 資 的 経 費	27,883,413	15.8	25,008,216	14.1	34,046,105	19.0	31,359,053	17.7	25,836,939	11.4
普通建設事業費	27,844,624	15.8	24,914,059	14.0	33,702,075	18.8	31,162,845	17.6	25,738,365	11.4
補 助	15,102,340	8.6	13,250,676	7.5	16,730,561	9.3	13,162,300	7.4	14,767,261	6.5
単 独	12,742,284	7.2	11,663,383	6.5	16,971,514	9.5	18,000,545	10.2	10,971,104	4.9
災害復旧事業費	38,789	0.0	94,157	0.1	344,030	0.2	196,208	0.1	98,574	0.0
そ の 他 経 費	17,887,727	10.2	20,213,018	11.5	18,433,017	10.3	18,011,333	10.2	18,514,310	8.1
積 立 金	795,899	0.5	4,207,331	2.4	2,689,527	1.5	1,569,699	0.9	1,618,220	0.7
投資及び出資金	1,009,998	0.6	1,131,413	0.7	1,170,577	0.7	1,326,796	0.8	1,204,174	0.5
貸 付 金	1,402,251	0.8	54,650	0.0	49,954	0.0	28,296	0.0	19,596	0.0
繰 出 金 等	14,679,579	8.3	14,819,624	8.4	14,522,959	8.1	15,086,542	8.5	15,672,320	6.9
合 計	175,959,590	100.0	177,128,247	100.0	178,691,493	100.0	177,390,519	100.0	227,328,830	100.0



(4) 将来にわたる財政負担

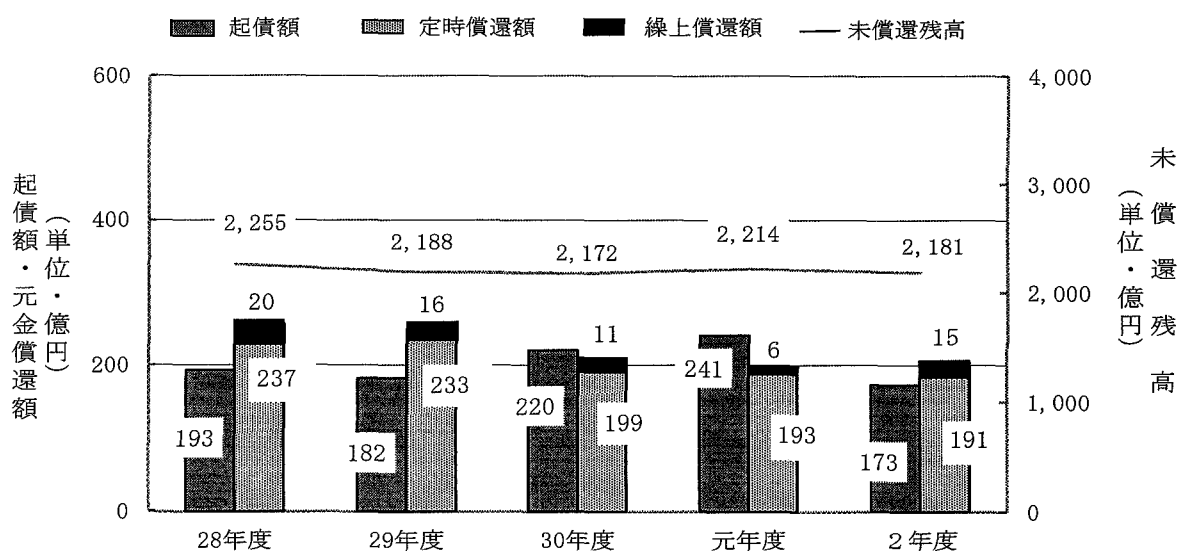
ア 市 債

(7) 一般会計及び特別会計の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分		元年度末 現在高	2 年 度 増 減 高				2 年度末 現在高
			起 債 額	元金償還額	償還額のうち 繰上償還額	増 減 額	
一 般 会 計		214,379,945	16,357,900	18,771,185	1,290	△ 2,413,285	211,966,660
建設 地方債	1 普 通 債	128,742,710	10,227,200	12,435,096	1,290	△ 2,207,896	126,534,814
	総 務 債	13,853,050	116,700	906,988	-	△ 790,288	13,062,762
	民 生 債	3,446,004	17,800	271,523	-	△ 253,723	3,192,281
	衛 生 債	12,394,224	608,500	917,028	-	△ 308,528	12,085,696
	農 林 債	6,851,771	330,800	731,911	1,290	△ 401,111	6,450,660
	商 工 債	296,127	255,400	48,464	-	206,936	503,063
	土 木 債	55,453,369	4,283,300	6,258,883	-	△ 1,975,583	53,477,786
	消 防 債	6,546,664	188,000	725,479	-	△ 537,479	6,009,185
	教 育 債	29,353,605	4,426,700	2,489,771	-	1,936,929	31,290,534
	諸支出金債	547,896	-	85,049	-	△ 85,049	462,847
	2 災 害 復 旧 債	201,507	23,500	7,322	-	16,178	217,685
	3 転 貸 債	1,407,782	-	7,406	-	△ 7,406	1,400,376
	計	130,351,999	10,250,700	12,449,824	1,290	△ 2,199,124	128,152,875
その 他 地 方 債	1 住 民 税 等 減税補てん債	1,655,256	-	429,877	-	△ 429,877	1,225,379
	2 臨 時 財 政 対 策 債	82,372,690	5,357,800	5,891,484	-	△ 533,684	81,839,006
	3 減 収 補 て ン 債	-	749,400	-	-	749,400	749,400
	計	84,027,946	6,107,200	6,321,361	-	△ 214,161	83,813,785
特 別 会 計		7,030,784	964,500	1,865,143	1,521,300	△ 900,643	6,130,141
建設 地方債	市街地再開 発 業 債	10,091	-	4,301	-	△ 4,301	5,790
	公共用地先行 取 得 事 業 債	2,020,649	610,800	1,836,658	1,521,300	△ 1,225,858	794,791
	工 業 団 地 造 成 事 業 債	4,685,200	306,600	-	-	306,600	4,991,800
	駐 車 場 事 業 債	119,992	47,100	24,184	-	22,916	142,908
	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業債	194,852	-	-	-	0	194,852
合 計		221,410,729	17,322,400	20,636,328	1,522,590	△ 3,313,928	218,096,801

(イ) 一般会計及び特別会計を合わせた市債未償還残高の推移は、次のとおりである。



(注) 1 平成28年度は県観光ファンド貸付けに伴う自治振興資金貸付事業債を含む。

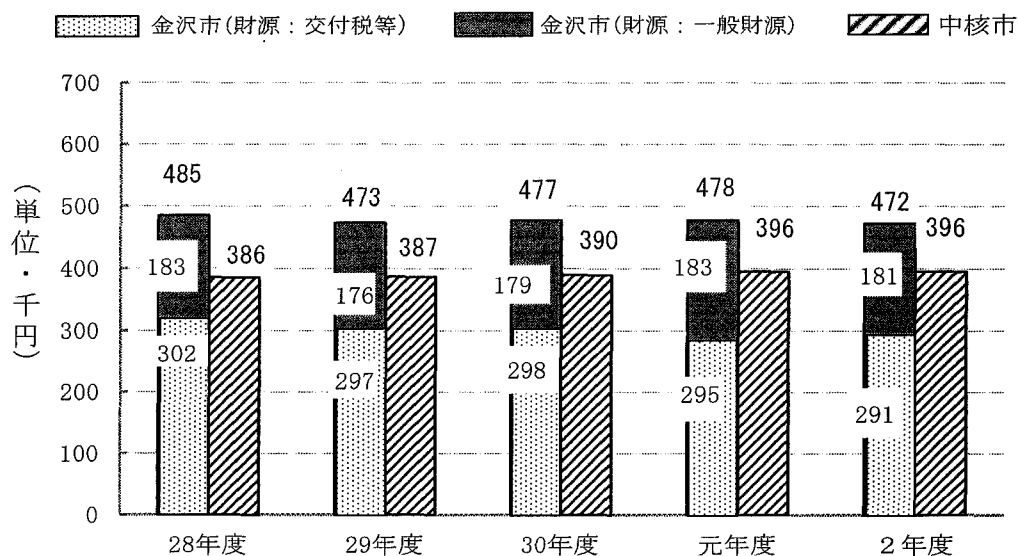
2 平成30年度末市債未償還残高は、平成29年度末市債未償還残高に起債額を加え、元金償還額及び農村下水道事業移管に伴う市債残高減少分(26億円)を差し引いた額である。

(ロ) 市債借入先及び利率の状況は、次のとおりである。

(単位: 千円・%)					
区分	借入先	年度末現在高	現在高の利率別内訳		
			1.5%以下	1.5%超 3.0%以下	3.0%超 4.5%以下
一般会計	政府資金	115,273,087	106,008,842	9,248,926	15,319
	地方金融機構	30,856,409	24,020,132	6,832,632	3,645
	市中銀行	57,550,716	57,550,716	-	-
	その他	8,286,448	8,272,348	14,100	-
	計	211,966,660	195,852,038	16,095,658	18,964
特別会計	政府資金	55,253	9,306	45,947	-
	地方金融機構	38,195	9,409	28,786	-
	市中銀行	5,625,850	5,625,850	-	-
	その他	410,843	410,843	-	-
	計	6,130,141	6,055,408	74,733	-
合計		218,096,801	201,907,446	16,170,391	18,964
合計額構成比		100.0	92.6	7.4	0.0
(元年度)		(100.0)	(90.8)	(9.2)	0.0

(注) 地方金融機構には、旧公営企業金融公庫分を含む。

(エ) 普通会計における市民1人当たりの市債残高の推移は、次のとおりである。



(注) 1 市民1人当たりの市債残高 = $\frac{\text{市債未償還残高}}{\text{住民基本台帳人口(各年度末現在)}}$

2 中核市の市民1人当たりの市債残高財源内訳は不明である。

イ 債務負担行為

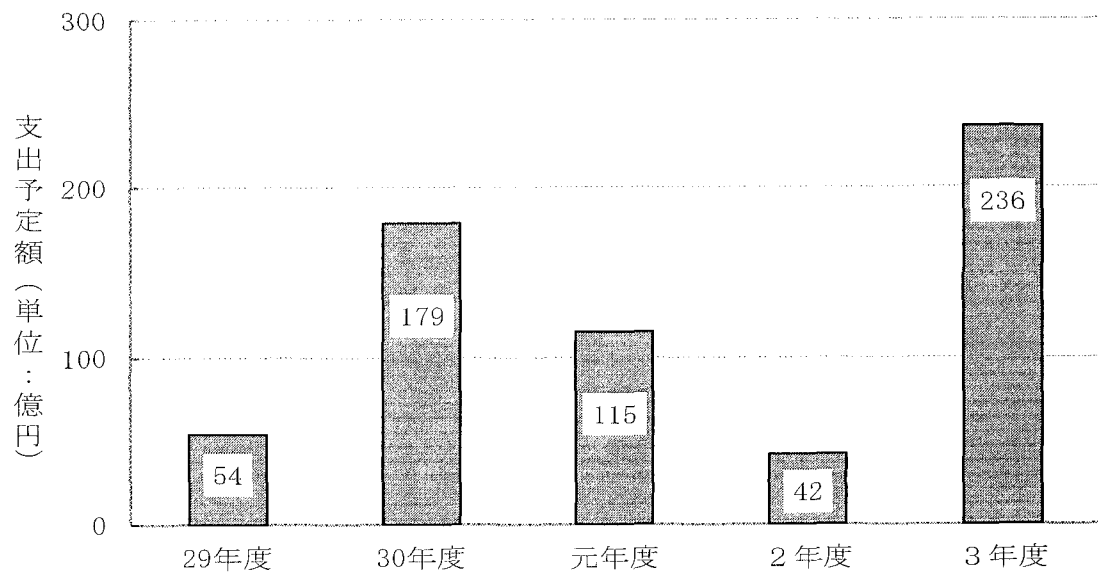
(ア) 一般会計の状況は、次のとおりである。

区 分		限 度 額	元 年 度 ま での支出額	2 年 度 支 出 額	3 年 度 以 降 支 出 予 定 額	左 の 財 源 内 訳	
						特 定 財 源	一 般 財 源
一 般 会 計	衛 生 費	3,320,700	-	14,850	2,858,527	1,638,800	1,219,727
	土 木 費	2,418,000	-	358,808	1,919,822	1,469,455	450,367
	教 育 費	18,184,400	69,564	397,957	16,462,149	14,413,106	2,049,043
	そ の 他	4,197,969	1,168,916	562,942	2,350,454	549,107	1,801,347
	計	28,121,069	1,238,480	1,334,557	23,590,952	18,070,468	5,520,484
特 別 会 計	工 業 団 地 造 成 事 業 費	31,000	-	-	27,477	27,400	77
	計	31,000	-	-	27,477	27,400	77
合 計		28,152,069	1,238,480	1,334,557	23,618,429	18,097,868	5,520,561

(注) 1 貸付補償、損失補償、債務保証に係る債務負担行為は含まない。

2 限度額には支払利息、委託事務費相当額を含まない。

(イ) 一般会計の支出予定額の推移は、次のとおりである。



(注) 年度区分は、各年度当初以降の支出予定額である。

(参考) 中核市における令和2年度決算に係る財政指数等一覧

財政力指数			経常収支比率 (%)			経常収支比率中の 人件費比率 (%)		
1	豊田	1.393	1	豊田	77.1	1	青森	15.5
2	岡崎	1.039	2	八王子	85.7	2	八戸	17.0
3	豊橋	1.000	3	福山	86.3	3	金沢	20.1
4	宇都宮	0.988	4	いわき	87.1	3	寝屋川	20.1
4	吹田	0.988	5	姫路	87.2	5	宮崎	20.3
6	川越	0.974	6	寝屋川	87.4	6	久留米	20.4
7	川口	0.963	6	郡山	87.4	7	盛岡	21.1
8	船橋	0.959	8	豊橋	87.6	8	鳥取	21.2
9	柏	0.956	9	鳥取	88.5	9	郡山	21.3
9	西宮	0.956	10	岡崎	88.8	10	旭川	21.8
11	八王子	0.941	11	富山	89.3	10	函館	21.8
12	越谷	0.929	11	山形	89.3	12	八王子	22.1
13	豊中	0.911	13	倉敷	89.6	13	福山	22.2
14	大分	0.902	14	福島	89.8	13	松山	22.2
15	金沢	0.892	15	松山	89.9	15	富山	22.4
16	姫路	0.888	15	越谷	89.9	16	長崎	22.9
17	岐阜	0.875	17	金沢	90.1	16	甲府	22.9
18	倉敷	0.871	18	那覇	90.3	18	東大阪	23.0
19	郡山	0.856	19	長野	90.6	19	鹿児島	23.2
19	水戸	0.856	20	豊中	90.8	20	豊田	23.4
19	高崎	0.856	21	柏	90.9	20	山形	23.4
22	那覇	0.843	22	宮崎	91.4	22	川口	23.5
23	尼崎	0.840	23	大津	91.5	23	枚方	23.6
24	福井	0.829	23	秋田	91.5	24	尼崎	23.7
25	富山	0.827	25	宇都宮	91.8	25	高崎	23.8
26	大津	0.824	26	八戸	91.9	26	豊橋	24.0
26	和歌山	0.824	27	高槻	92.2	27	川越	24.1
28	前橋	0.822	27	青森	92.2	28	那覇	24.2
29	高松	0.821	29	佐世保	92.4	28	倉敷	24.2
30	福山	0.820	30	福井	92.8	30	長野	24.4
31	横須賀	0.814	31	函館	93.5	31	いわき	24.7
31	高槻	0.814	32	鹿児島	93.6	32	前橋	24.9
33	いわき	0.799	33	明石	94.2	33	高知	25.0
34	枚方	0.797	34	松江	94.3	34	姫路	25.3
35	福島	0.792	35	船橋	94.7	35	越谷	25.4
36	明石	0.785	36	高松	94.8	36	秋田	26.0
37	山形	0.780	37	旭川	94.9	37	柏	26.4
38	松山	0.773	38	吹田	95.2	37	岡崎	26.4
39	奈良	0.768	39	岐阜	95.3	37	大分	26.4
40	東大阪	0.766	40	水戸	95.4	40	宇都宮	26.5
41	甲府	0.762	41	高崎	95.5	41	佐世保	26.6
42	盛岡	0.750	42	枚方	95.7	42	和歌山	26.7
43	長野	0.740	43	大分	95.8	43	豊中	27.0
43	八尾	0.740	43	甲府	95.8	44	水戸	27.1
45	鹿児島	0.728	45	盛岡	96.0	45	船橋	27.3
46	宮崎	0.696	46	東大阪	96.3	46	松江	27.7
47	久留米	0.673	46	高知	96.3	46	八尾	27.7
48	八戸	0.670	48	久留米	96.5	48	高槻	27.8
49	秋田	0.669	49	川越	96.9	48	岐阜	27.8
50	寝屋川	0.661	50	呉	97.0	50	福井	28.0
51	高知	0.642	51	川口	97.1	51	大津	28.1
52	呉	0.607	51	前橋	97.1	52	高松	28.2
53	長崎	0.590	53	西宮	97.3	52	呉	28.2
54	松江	0.579	54	長崎	97.4	54	明石	28.4
55	青森	0.565	54	尼崎	97.4	54	福島	28.4
56	下関	0.553	54	奈良	97.4	56	横須賀	28.5
57	旭川	0.538	57	和歌山	98.0	57	下関	29.2
57	佐世保	0.538	58	下関	98.4	58	奈良	29.6
59	鳥取	0.520	59	八尾	100.6	59	吹田	30.4
60	函館	0.483	60	横須賀	101.8	60	西宮	33.5
中核市平均		0.801	中核市平均		92.9	中核市平均		24.8
前年度 (58市中)		0.880 15位	前年度 (58市中)		89.9 13位	前年度 (58市中)		19.2 3位

(注) 数値は、各市への照会結果に基づくものであり、確定前のものを含む。

実質公債費比率 (%)		
1	吹 田	△ 2.1
2	八王子	△ 0.9
3	岡 崎	△ 0.6
4	枚 方	△ 0.4
4	高 槻	△ 0.4
6	寝屋川	△ 0.3
7	福 島	1.1
8	福 山	1.6
9	大 津	1.7
10	船 橋	1.9
11	豊 田	2.3
12	豊 中	2.4
13	柏	2.5
14	姫 路	2.9
15	鹿児島	3.0
16	郡 山	3.2
17	明 石	3.4
18	久留米	3.5
19	長 野	3.6
20	倉 敷	3.7
21	豊 橋	3.8
22	岐 阜	4.1
22	八 尾	4.1
22	西 宮	4.1
25	佐世保	4.3
26	宇都宮	4.4
27	金 沢	4.8
28	高 崎	4.9
29	川 口	5.0
30	大 分	5.2
31	川 越	5.8
32	東大阪	6.3
33	函 館	6.4
33	横須賀	6.4
35	宮 崎	6.8
36	甲 府	7.0
37	いわき	7.2
38	高 松	7.5
39	山 形	7.6
39	越 谷	7.6
41	富 山	7.7
42	前 橋	7.9
42	松 山	7.9
42	長 崎	7.9
45	呉	8.1
46	旭 川	8.2
47	秋 田	9.1
48	水 戸	9.4
49	八 戸	9.5
49	那 覇	9.5
51	鳥 取	9.6
52	盛 岡	9.7
53	下 関	9.8
54	福 井	10.4
55	奈 良	10.5
56	和歌山	10.6
57	尼 崎	10.9
58	松 江	11.2
59	高 知	13.6
60	青 森	14.2
中核市平均		5.7
前年度 (58市中)	5.9 31位	

市民1人当たりの 市債残高 (円)		
1	豊 田	122,557
2	高 槻	135,502
3	吹 田	147,385
4	岡 崎	161,373
5	柏	204,444
6	豊 中	211,962
7	宇都宮	222,644
8	越 谷	240,845
9	八王子	242,837
10	郡 山	261,853
11	豊 橋	268,426
12	寝屋川	270,108
13	川 越	278,195
14	川 口	278,719
15	枚 方	278,857
16	西 宮	284,082
17	船 橋	291,332
18	福 山	306,044
19	松 山	343,713
20	福 島	344,895
21	大 分	355,923
22	岐 阜	356,263
23	大 津	357,228
24	八 尾	360,999
25	東大阪	377,213
26	姫 路	391,274
27	明 石	395,381
28	高 崎	401,343
29	倉 敷	408,395
30	いわき	410,248
31	長 野	413,707
32	甲 府	419,398
33	高 松	419,688
34	那 覇	425,138
35	山 形	427,791
36	鹿児島	433,255
37	佐世保	443,312
38	宮 崎	450,451
39	前 橋	459,654
40	秋 田	462,419
41	久留米	466,678
42	横須賀	471,014
43	金 沢	471,684
44	盛 岡	473,398
45	青 森	481,314
46	尼 崎	486,607
47	水 戸	492,633
48	和歌山	510,482
49	旭 川	527,276
50	松 江	535,457
51	函 館	543,144
52	福 井	548,988
53	呉	550,966
54	八 戸	551,314
55	下 関	553,810
56	富 山	566,178
57	奈 良	566,220
58	鳥 取	609,391
59	長 崎	648,255
60	高 知	650,517
中核市平均		396,170
前年度 (58市中)	478,344 43位	

投資的経費構成比率 (%)		
1	郡 山	20.0
2	豊 田	19.7
3	姫 路	18.3
4	水 戸	16.5
5	八 戸	16.2
6	宇都宮	16.0
7	鹿児島	14.7
8	長 崎	14.1
9	岐 阜	14.0
10	豊 橋	12.9
11	秋 田	12.7
12	長 野	12.2
12	越 谷	12.2
14	那 覇	12.1
15	奈 良	12.0
16	富 山	11.6
16	福 島	11.6
18	金 沢	11.4
18	川 口	11.4
18	いわき	11.4
21	盛 岡	11.2
22	岡 崎	10.9
22	倉 敷	10.9
22	高 松	10.9
25	呉	10.4
25	大 津	10.4
27	松 江	10.3
28	佐世保	10.2
28	宮 崎	10.2
30	枚 方	10.1
31	前 橋	10.0
32	高 槻	9.9
33	福 山	9.6
33	和歌山	9.6
33	大 分	9.6
33	西 宮	9.6
37	吹 田	9.1
38	高 知	8.9
39	柏	8.8
39	福 井	8.8
41	山 形	8.5
42	久留米	8.4
43	寝屋川	8.3
44	甲 府	8.1
44	旭 川	8.1
46	尼 崎	7.8
47	八王子	7.7
48	横須賀	7.4
48	函 館	7.4
50	明 石	7.3
51	下 関	7.1
52	鳥 取	6.7
53	船 橋	6.6
53	青 森	6.6
55	高 崎	6.5
56	松 山	5.9
57	川 越	5.3
58	東大阪	4.2
59	豊 中	4.0
60	八 尾	3.9
中核市平均		10.3
前年度 (58市中)	17.7 10位	

市民1人当たりの 基金現在高 (円)		
1	豊 田	178,026
2	いわき	142,552
3	長 崎	107,784
4	寝屋川	104,695
5	松 山	97,610
6	吹 田	92,879
7	福 山	92,223
8	高 槻	89,666
9	佐世保	88,025
10	姫 路	85,887
11	長 野	84,389
12	柏	80,514
13	倉 敷	75,600
14	尼 崎	75,391
15	枚 方	74,907
16	福 島	71,121
17	宮 崎	70,842
18	鹿児島	68,832
19	大 津	68,640
20	郡 山	68,019
21	宇都宮	67,582
22	松 江	66,498
23	岡 崎	63,306
24	川 口	62,991
25	西 宮	61,229
26	八 戸	59,040
27	函 館	58,028
28	東大阪	57,991
29	鳥 取	55,793
30	富 山	54,779
31	久留米	54,577
32	盛 岡	54,136
33	那 覇	52,239
34	大 分	51,325
35	秋 田	49,136
36	豊 中	47,681
37	明 石	47,397
38	下 関	47,158
39	岐 阜	45,558
40	甲 府	44,106
41	八王子	43,471
42	呉	43,058
43	金 沢	38,851
44	高 松	38,160
45	八 尾	36,978
46	旭 川	33,931
47	高 崎	32,830
48	福 井	31,852
49	高 知	31,755
50	船 橋	29,751
51	青 森	28,842
52	豊 橋	28,451
53	横須賀	28,249
54	山 形	27,985
55	越 谷	26,241
56	前 橋	25,133
57	奈 良	24,456
58	和歌山	23,876
59	川 越	19,656
60	水 戸	12,200
中核市平均		58,731
前年度 (58市中)	36,171 42位	

2 一般会計

(単位：千円・%)

区 分	2 年度	元年度	増 減	
			金 額	比 率
歳 入	232,590,786	181,329,701	51,261,085	28.3
歳 出	227,594,777	178,196,644	49,398,133	27.7
歳入歳出差引	4,996,009	3,133,057	1,862,952	59.5
翌年度へ繰越すべき財源	1,613,447	1,454,649	158,798	10.9
実 質 収 支	3,382,562	1,678,408	1,704,154	101.5

(1) 歳 入

ア 予算執行状況

(単位：千円・%)

区 分	2 年度	元年度	増 減	
			金 額	比 率
予 算 現 額	247,120,552	190,661,072	56,459,480	29.6
調 定 額	235,775,199	184,092,155	51,683,044	28.1
収 入 済 額	232,590,786	181,329,701	51,261,085	28.3
不 納 欠 損 額	148,504	233,359	△ 84,855	△ 36.4
収 入 未 済 額	3,060,376	2,578,237	482,139	18.7
還 付 未 済 額	24,467	49,142	△ 24,675	△ 50.2

(ア) 予算現額に対する収入済額の収入率は、94.1%(前年度95.1%)である。

(イ) 調定額に対する収入済額の収入率は、98.6%(前年度98.5%)である。

(ウ) 調定額に対する不納欠損額の比率は、0.1%(前年度0.1%)である。

(エ) 調定額に対する収入未済額の比率は、1.3%(前年度1.4%)である。

(オ) 調定額に対する還付未済額の比率は、0.0%(前年度0.0%)である。

(カ) 款別の予算執行状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

款	予算現額	調定額	収入済額 (還付未済額)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算 比率	対調定 比率
1 市 税	81,564,090	85,057,419	82,263,379 (24,280)	133,326	2,684,994	100.9	96.7
2 地方譲与税	1,193,100	1,244,717	1,244,717	-	-	104.3	100.0
3 利子割交付金	58,400	68,038	68,038	-	-	116.5	100.0
4 配当割交付金	260,500	250,947	250,947	-	-	96.3	100.0
5 株式等譲渡 所得割交付金	418,000	311,734	311,734	-	-	74.6	100.0
6 ゴルフ場利用税 交付金	48,000	48,871	48,871	-	-	101.8	100.0
7 法人事業税 交付金	806,200	818,894	818,894	-	-	101.6	100.0
8 地方消費税 交付金	10,652,200	11,008,028	11,008,028	-	-	103.3	100.0
9 環境性能割 交付金	103,100	131,998	131,998	-	-	128.0	100.0
10 国有提供施設等 所在市助成交付金	14,000	14,003	14,003	-	-	100.0	100.0
11 地方特例交付金	501,600	501,663	501,663	-	-	100.0	100.0
12 地方交付税	8,775,178	8,961,884	8,961,884	-	-	102.1	100.0
13 交通安全対策 特別交付金	70,000	68,725	68,725	-	-	98.2	100.0
14 分担金及び負担金	623,505	651,531	600,118	6,823	44,590	96.2	92.1
15 使用料及び手数料	3,246,556	3,171,096	3,150,641 (145)	2,285	18,315	97.0	99.4
16 国庫支出金	93,080,689	86,088,891	86,088,891	-	-	92.5	100.0
17 県支出金	13,632,927	13,151,632	13,151,632	-	-	96.5	100.0
18 財産収入	370,724	358,187	358,187	-	-	96.6	100.0
19 寄附金	500,169	490,321	490,321	-	-	98.0	100.0
20 繰入金	1,237,812	1,060,894	1,060,894	-	-	85.7	100.0
21 繰越金	3,133,057	3,133,057	3,133,057	-	-	100.0	100.0
22 諸収入	2,512,145	2,824,769	2,506,264 (42)	6,070	312,477	99.8	88.7
23 市 債	24,318,600	16,357,900	16,357,900	-	-	67.3	100.0
計	247,120,552	235,775,199	232,590,786 (24,467)	148,504	3,060,376	94.1	98.6

(注) 収入済額には、()書きの還付未済額(出納閉鎖期間終了までに還付未了となった過誤納金の額)を含む。

イ 性質別の状況

(7) 性質別の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2 年度	元年度	増 減		構 成 比 率	
			金 額	比 率	2 年度	元年度
自 主 財 源	93,562,861	96,177,083	△ 2,614,222	△ 2.7	40.2	53.0
依 存 財 源	139,027,925	85,152,618	53,875,307	63.3	59.8	47.0
一 般 財 源	120,153,062	115,522,490	4,630,572	4.0	51.7	63.7
特 定 財 源	112,437,724	65,807,211	46,630,513	70.9	48.3	36.3
経 常 的 収 入	139,390,993	137,954,991	1,436,002	1.0	59.9	76.1
うち経常一般財源	97,232,975	97,165,169	67,806	0.1	41.8	53.6
臨 時 的 収 入	93,199,793	43,374,710	49,825,083	114.9	40.1	23.9
合 計	232,590,786	181,329,701	51,261,085	28.3	100.0	100.0

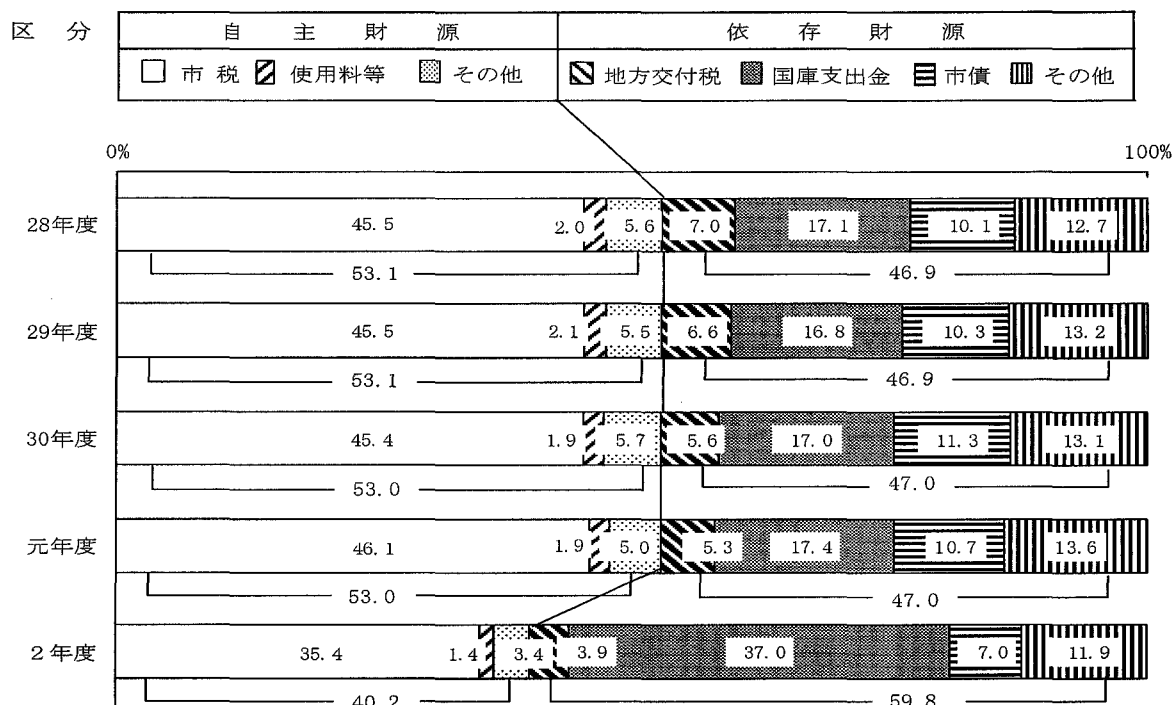
(注) 1 「自主財源」とは、市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金及び諸収入を、「依存財源」とは、自主財源以外の収入をいう。

2 「一般財源」とは、市税、地方譲与税、地方交付税など用途の特定されていない収入を、「特定財源」とは、一般財源以外の収入をいう。なお、「一般財源」には、特例地方債である臨時財政対策債等を含む。

3 「経常的収入」とは、毎会計年度連続的かつ既定的に確保できる見込みの収入を、「臨時的収入」とは、経常的収入以外の収入をいう。

4 「経常一般財源」とは、市税(都市計画税を除く。)、地方交付税(特別交付税を除く。)、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、環境性能割交付金、国有提供施設等所在市助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金並びに経常的に収入される使用料及び手数料、財産収入及び諸収入のうち用途の特定されていない収入をいう。

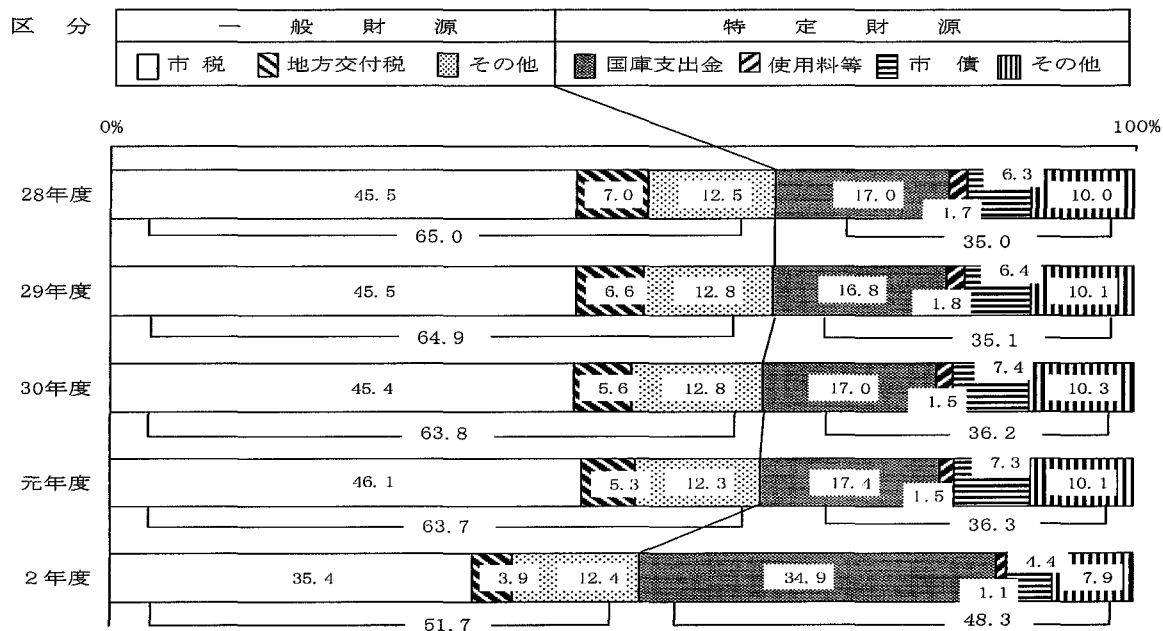
(イ) 自主財源・依存財源の構成比の推移は、次のとおりである。



(注) 1 構成比は、平成28年度は特別会計からの用地買戻しに伴う繰入金等、平成29年度は基金の再編分を除いた実質数値による。

2 区分の使用料等は、使用料及び手数料をいう。

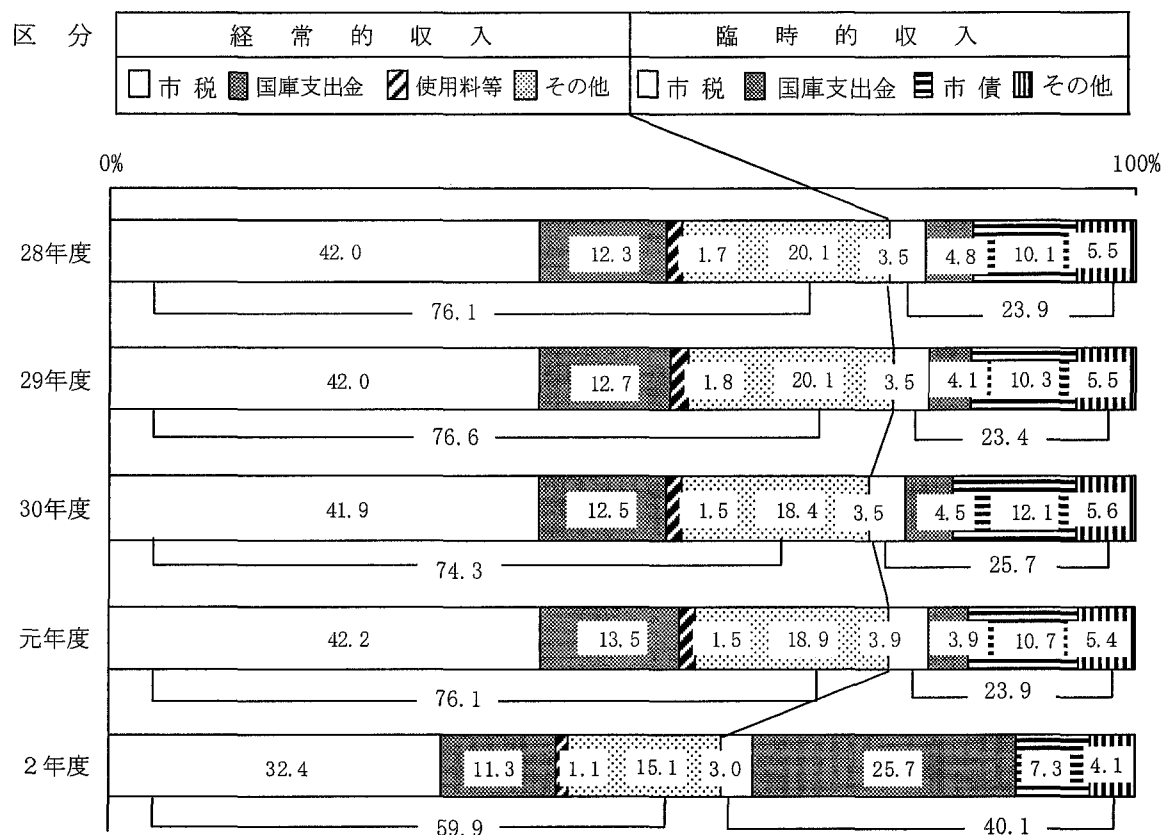
(ウ) 一般財源・特定財源の構成比の推移は、次のとおりである。



(注) 1 構成比は、平成28年度は特別会計からの用地買戻しに伴う繰入金等、平成29年度は基金の再編分を除いた実質数値による。

2 区分の使用料等は、使用料及び手数料をいう。

(エ) 経常的収入・臨時的収入の構成比の推移は、次のとおりである。



- (注) 1 構成比は、平成28年度は特別会計からの用地買戻しに伴う繰入金等、平成29年度は基金の再編分を除いた実質数値による。
- 2 区分の使用料等は、使用料及び手数料をいう。

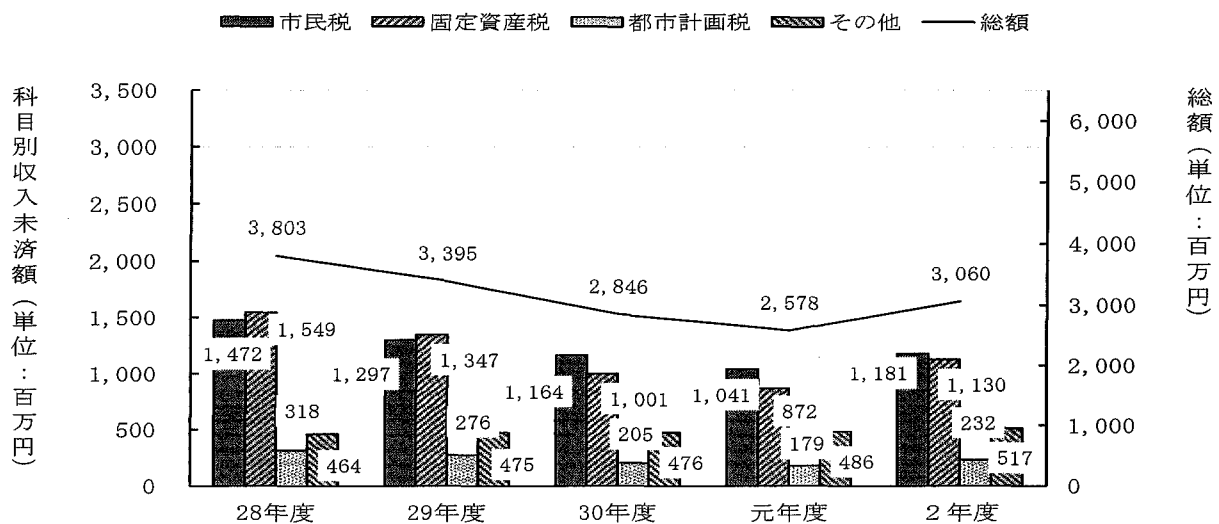
ウ 収入未済額の状況

(ア) 収入未済額の内訳は、次のとおりである。

(単位：件・千円・%)

区 分	2年度		元年度		増 減		比 率
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	
市 税	115,697	2,684,994	129,407	2,172,559	△13,710	512,435	23.6
市 民 税	46,885	1,180,815	51,660	1,040,747	△ 4,775	140,068	13.5
固 定 資 産 税	29,394	1,130,297	33,339	872,496	△ 3,945	257,801	29.5
軽 自 動 車 税	9,946	63,239	11,023	65,740	△ 1,077	△ 2,501	△ 3.8
市 た ば こ 税	-	-	5	26	△ 5	△ 26	△100.0
入 湯 税	-	-	8	604	△ 8	△ 604	△100.0
事 業 所 税	42	69,612	25	13,071	17	56,541	432.6
都 市 計 画 税	29,392	232,254	33,338	178,991	△ 3,946	53,263	29.8
宿 泊 税	38	8,777	9	884	29	7,893	892.9
分 担 金 及 び 負 担 金	2,695	44,590	3,342	55,196	△ 647	△ 10,606	△ 19.2
老人保護措置費負担金	14	2,930	17	3,605	△ 3	△ 675	△ 18.7
保育所運営費負担金	1,186	23,771	1,766	32,693	△ 580	△ 8,922	△ 27.3
児童保護費負担金	1,483	17,506	1,544	18,369	△ 61	△ 863	△ 4.7
そ の 他	12	383	15	529	△ 3	△ 146	△ 27.6
使用料及び手数料	1,210	18,315	1,833	26,563	△ 623	△ 8,248	△ 31.1
市 営 住 宅 使 用 料	632	16,502	996	24,222	△ 364	△ 7,720	△ 31.9
市 営 住 宅 駐 車 場 使 用 料	487	712	720	1,033	△ 233	△ 321	△ 31.1
市 営 住 宅 敷 地 使 用 料	51	647	70	826	△ 19	△ 179	△ 21.7
そ の 他	40	454	47	482	△ 7	△ 28	△ 5.8
諸 収 入	4,966	312,477	6,216	323,919	△ 1,250	△ 11,442	△ 3.5
過年度児童扶養手当返納金	35	14,912	34	13,267	1	1,645	12.4
過年度児童手当返納金	5	940	4	765	1	175	22.9
生活保護費還付金	2,173	268,838	2,490	278,210	△ 317	△ 9,372	△ 3.4
産業廃棄物行政代執行徴収金	1	17,100	1	17,220	0	△ 120	△ 0.7
過年度中小企業雇用促進助成金等返還金	1	6,474	1	6,474	0	0	0.0
そ の 他	2,751	4,213	3,686	7,983	△ 935	△ 3,770	△ 47.2
計	124,568	3,060,376	140,798	2,578,237	△16,230	482,139	18.7

(イ) 収入未済額の推移は、次のとおりである。



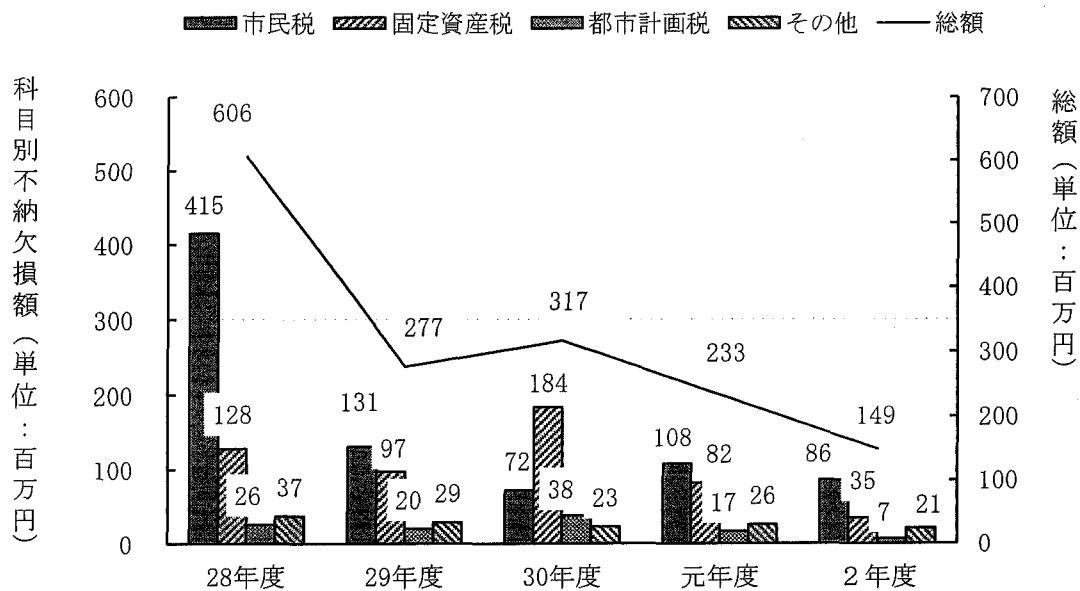
エ 不納欠損額の状況

(ア) 不納欠損額の内訳は、次のとおりである。

(単位：件・千円・%)

区 分	2年度		元年度		増 減		
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	比 率
市 税	10,602	133,326	10,927	217,243	△ 325	△ 83,917	△ 38.6
市 民 税	4,400	86,102	4,487	108,474	△ 87	△ 22,372	△ 20.6
固 定 資 産 税	2,392	34,553	2,439	82,409	△ 47	△ 47,856	△ 58.1
軽 自 動 車 税	1,418	5,584	1,557	6,098	△ 139	△ 514	△ 8.4
事 業 所 税	-	-	5	3,363	△ 5	△ 3,363	△ 100.0
都 市 計 画 税	2,392	7,087	2,439	16,899	△ 47	△ 9,812	△ 58.1
分 担 金 及 び 負 担 金	607	6,823	541	7,206	66	△ 383	△ 5.3
保育所運営費負担金	148	2,850	158	3,150	△ 10	△ 300	△ 9.5
児 童 保 護 費 負 担 金	457	3,886	382	4,054	75	△ 168	△ 4.1
未熟児養育医療費負担金	2	87	1	2	1	85	4,250.0
使 用 料 及 び 手 数 料	141	2,285	160	2,552	△ 19	△ 267	△ 10.5
市 営 住 宅 使 用 料	110	2,237	91	2,315	19	△ 78	△ 3.4
市営住宅駐車場使用料	31	48	53	70	△ 22	△ 22	△ 31.4
市営住宅敷地使用料	-	-	16	167	△ 16	△ 167	△ 100.0
諸 収 入	389	6,070	443	6,358	△ 54	△ 288	△ 4.5
延長保育実費収入等	350	38	396	46	△ 46	△ 8	△ 17.4
過年度児童手当返納金	-	-	2	100	△ 2	△ 100	△ 100.0
過年度児童扶養手当返納金	1	40	-	-	1	40	-
生 活 保 護 費 還 付 金	38	5,992	45	6,212	△ 7	△ 220	△ 3.5
計	11,739	148,504	12,071	233,359	△ 332	△ 84,855	△ 36.4

(イ) 不納欠損額の推移は、次のとおりである。



オ 款別の状況

(ア) 款別の歳入状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

款	2 年 度	元 年 度	増 減		構 成 比 率	
			金 額	比 率	2 年 度	元 年 度
1 市 税	82,263,379	83,641,768	△ 1,378,389	△ 1.6	35.4	46.1
2 地 方 譲 与 税	1,244,717	1,225,408	19,309	1.6	0.5	0.7
3 利 子 割 交 付 金	68,038	60,093	7,945	13.2	0.0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	250,947	289,775	△ 38,828	△ 13.4	0.1	0.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	311,734	175,636	136,098	77.5	0.1	0.1
6 ゴルフ場利用税交付金	48,871	51,427	△ 2,556	△ 5.0	0.0	0.0
7 法 人 事 業 税 交 付 金	818,894	-	818,894	-	0.3	-
8 地 方 消 費 税 交 付 金	11,008,028	9,093,696	1,914,332	21.1	4.7	5.0
9 環 境 性 能 割 交 付 金	131,998	70,071	61,927	88.4	0.1	0.1
10 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 助 成 交 付 金	14,003	14,003	0	0.0	0.0	0.0
11 地 方 特 例 交 付 金	501,663	1,051,303	△ 549,640	△ 52.3	0.2	0.6
12 地 方 交 付 税	8,961,884	9,679,205	△ 717,321	△ 7.4	3.9	5.3
13 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	68,725	63,458	5,267	8.3	0.0	0.0
14 分 担 金 及 び 負 担 金	600,118	1,000,116	△ 399,998	△ 40.0	0.3	0.6
15 使 用 料 及 び 手 数 料	3,150,641	3,381,608	△ 230,967	△ 6.8	1.4	1.9
16 国 庫 支 出 金	86,088,891	31,595,014	54,493,877	172.5	37.0	17.4
17 県 支 出 金	13,151,632	12,190,016	961,616	7.9	5.7	6.7
18 財 産 収 入	358,187	336,552	21,635	6.4	0.2	0.2
19 寄 附 金	490,321	246,945	243,376	98.6	0.2	0.1
20 繰 入 金	1,060,894	2,701,484	△ 1,640,590	△ 60.7	0.5	1.5
21 繰 越 金	3,133,057	2,752,867	380,190	13.8	1.3	1.5
22 諸 収 入	2,506,264	2,115,743	390,521	18.5	1.1	1.2
23 市 債	16,357,900	19,370,200	△ 3,012,300	△ 15.6	7.0	10.7
自動車取得税交付金	-	223,313	△ 223,313	△ 100.0	0.0	0.1
計	232,590,786	181,329,701	51,261,085	28.3	100.0	100.0

(イ) 主な款別決算額の推移は、次のとおりである。

(単位：千円)

年度 款	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
市 税	80,391,988	80,605,453	82,079,625	83,641,768	82,263,379
地方譲与税 ・各種交付金	11,177,294	12,015,308	12,178,283	12,254,725	14,398,893
地方交付税	12,305,669	11,614,451	10,128,462	9,679,205	8,961,884
小 計	103,874,951	104,235,212	104,386,370	105,575,698	105,624,156
国庫支出金	30,259,749	29,695,845	30,669,814	31,595,014	86,088,891
県支出金	11,131,810	11,495,039	11,526,463	12,190,016	13,151,632
市 債	(17,886,000) 19,216,000	18,221,300	20,408,900	19,370,200	16,357,900
その他収入	(13,517,528) 16,413,747	(13,577,648) 17,177,648	(13,292,792) 13,792,792	12,598,773	11,368,207
合 計	(176,670,038) 180,896,257	(177,225,044) 180,825,044	(180,284,339) 180,784,339	181,329,701	232,590,786

(注) 1 決算額には、還付未済額を含む。

2 () 書きは、平成28年度は特別会計からの用地買戻しに伴う繰入金等、平成29年度は基金の再編分を除いた実質金額である。

3 各種交付金には、交通安全対策特別交付金は含まない。

(ウ) 各款別の決算状況は、次のとおりである。

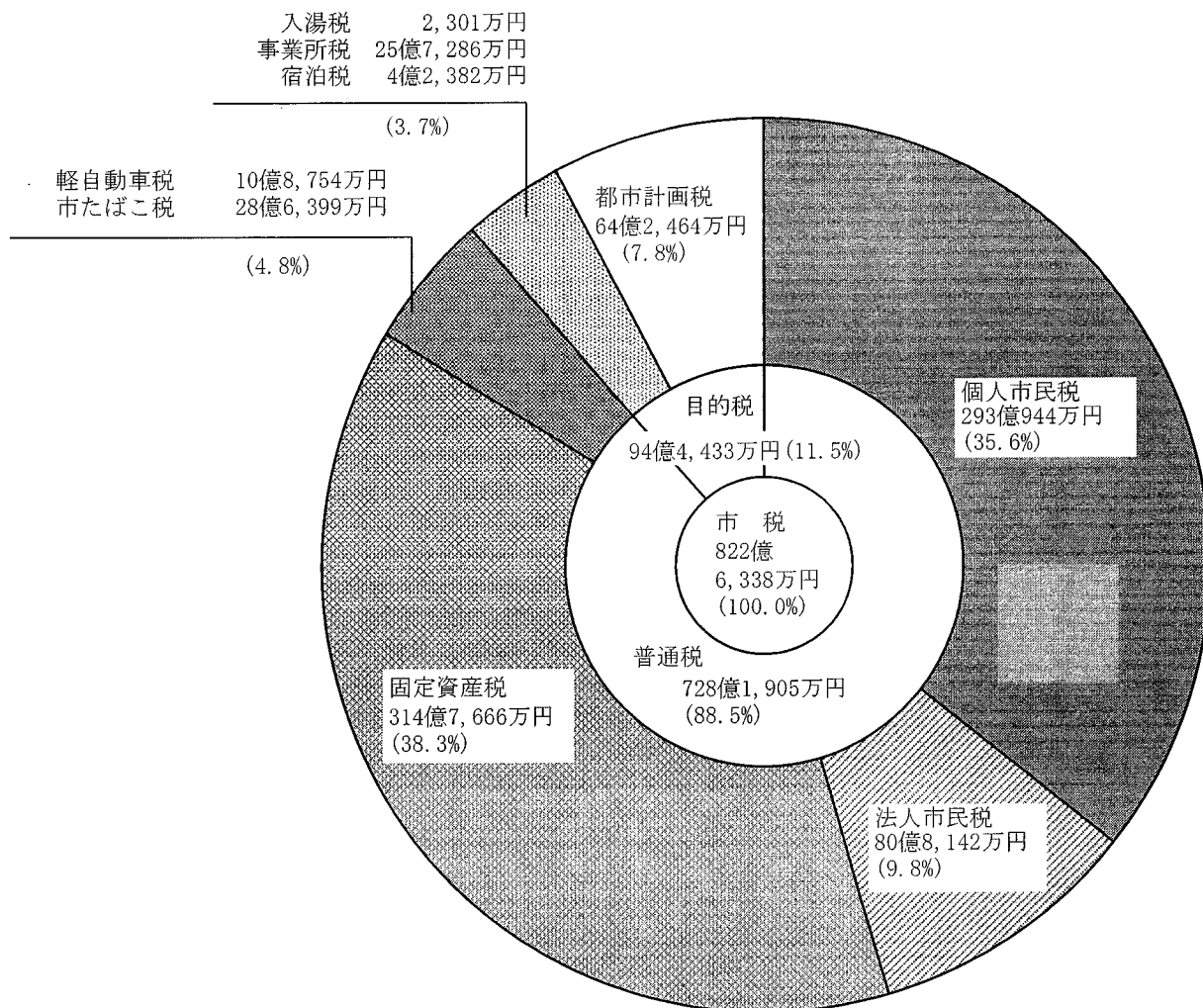
第1款 市 税

(単位：千円・%)

区分	項	予 算 現 額	調 定 額 (A)	収入済額(B) (還付未済額)	収納率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
普 通 税	市 民 税	36,833,040	38,638,913	37,390,861 (18,865)	96.8	86,102	1,180,815
	個 人	29,204,180	30,295,060	29,309,439 (6,359)	96.7	79,641	912,339
	法 人	7,628,860	8,343,853	8,081,422 (12,506)	96.9	6,461	268,476
	固 定 資 産 税	31,369,230	32,638,503	31,476,663 (3,010)	96.4	34,553	1,130,297
	軽 自 動 車 税	1,081,830	1,156,064	1,087,543 (302)	94.1	5,584	63,239
	市 た ば こ 税	2,905,410	2,863,987	2,863,987	100.0	-	-
	計	72,189,510	75,297,467	72,819,054 (22,177)	96.7	126,239	2,374,351
	現 年 課 税 分	71,630,900	73,326,147	72,254,131 (19,466)	98.5	709	1,090,773
	滞 納 繰 越 分	558,610	1,971,320	564,923 (2,711)	28.7	125,530	1,283,578
目 的 税	入 湯 税	32,040	23,011	23,011	100.0	-	-
	事 業 所 税	2,526,380	2,642,414	2,572,858 (56)	97.4	-	69,612
	都 市 計 画 税	6,403,060	6,663,364	6,424,642 (619)	96.4	7,087	232,254
	宿 泊 税	413,100	431,163	423,814 (1,428)	98.3	-	8,777
	計	9,374,580	9,759,952	9,444,325 (2,103)	96.8	7,087	310,643
	現 年 課 税 分	9,315,860	9,566,681	9,380,009 (1,677)	98.0	101	188,248
	滞 納 繰 越 分	58,720	193,271	64,316 (426)	33.3	6,986	122,395
合 計		81,564,090	85,057,419	82,263,379 (24,280)	96.7	133,326	2,684,994
現 年 課 税 分		80,946,760	82,892,828	81,634,140 (21,143)	98.5	810	1,279,021
滞 納 繰 越 分		617,330	2,164,591	629,239 (3,137)	29.1	132,516	1,405,973

(注) 収入済額には、()書きの還付未済額を含む。

a 市税の構成は、次のとおりである。



b 収入済額を前年度と比べると、13億7,838万9千円(1.6%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

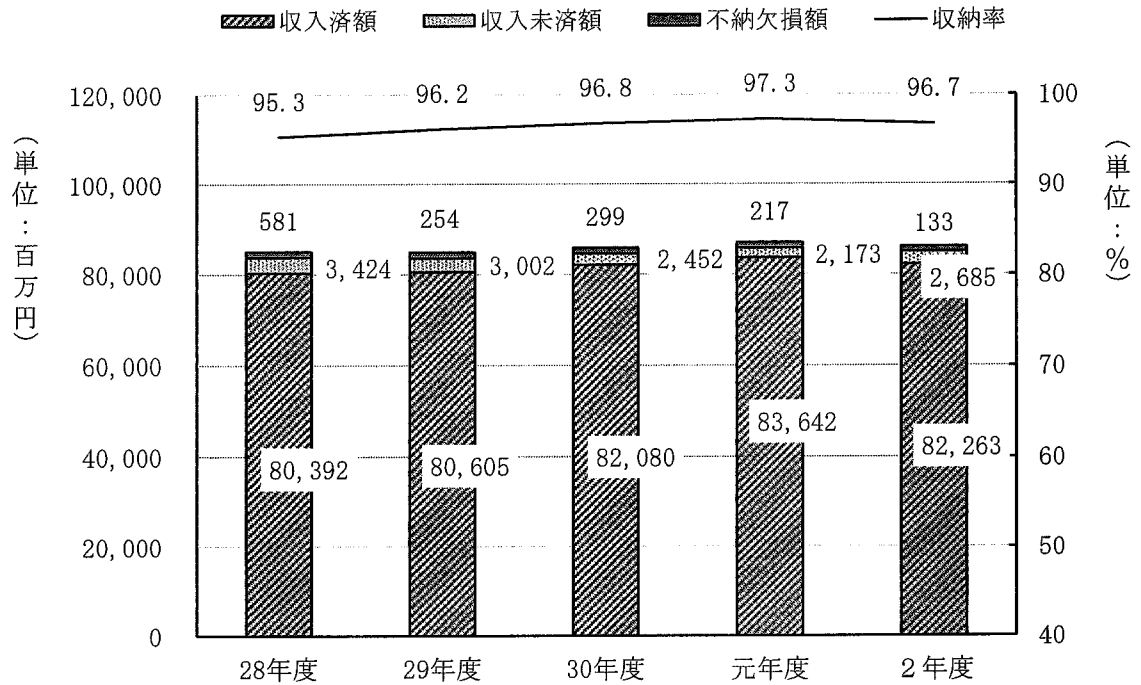
法人市民税	△ 17億2,305万1千円(△ 17.6%)
宿泊税	△ 3億4,510万3千円(△ 44.9%)
個人市民税	6億9,775万1千円(2.4%)

c 主な市税決算額の推移は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

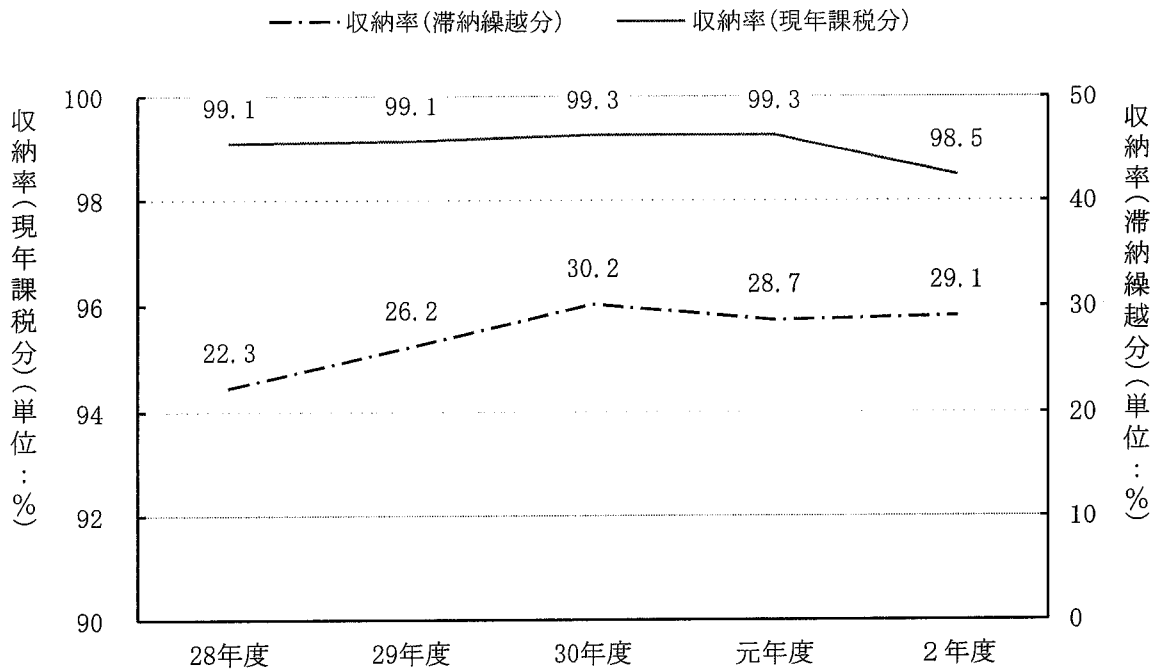
税目 \ 年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
市 税 (伸 び 率)	80,391,988 (1.5)	80,605,453 (0.3)	82,079,625 (1.8)	83,641,768 (1.9)	82,263,379 (△ 1.6)
市 民 税	36,797,932 (0.9)	36,776,658 (△ 0.1)	38,244,623 (4.0)	38,416,161 (0.4)	37,390,861 (△ 2.7)
個 人	27,387,563 (2.9)	27,744,486 (1.3)	28,490,571 (2.7)	28,611,688 (0.4)	29,309,439 (2.4)
法 人	9,410,369 (△ 4.6)	9,032,172 (△ 4.0)	9,754,052 (8.0)	9,804,473 (0.5)	8,081,422 (△ 17.6)
固 定 資 産 税	30,573,699 (2.8)	30,881,249 (1.0)	30,862,567 (△ 0.1)	31,310,854 (1.5)	31,476,663 (0.5)
都 市 計 画 税	6,159,013 (1.8)	6,243,842 (1.4)	6,273,797 (0.5)	6,376,143 (1.6)	6,424,642 (0.8)
市 た ば こ 税	3,447,303 (△ 4.3)	3,227,663 (△ 6.4)	3,138,803 (△ 2.8)	3,152,520 (0.4)	2,863,987 (△ 9.2)
事 業 所 税	2,502,244 (0.1)	2,524,013 (0.9)	2,563,459 (1.6)	2,568,657 (0.2)	2,572,858 (0.2)

d 市税の収入状況の推移は、次のとおりである。



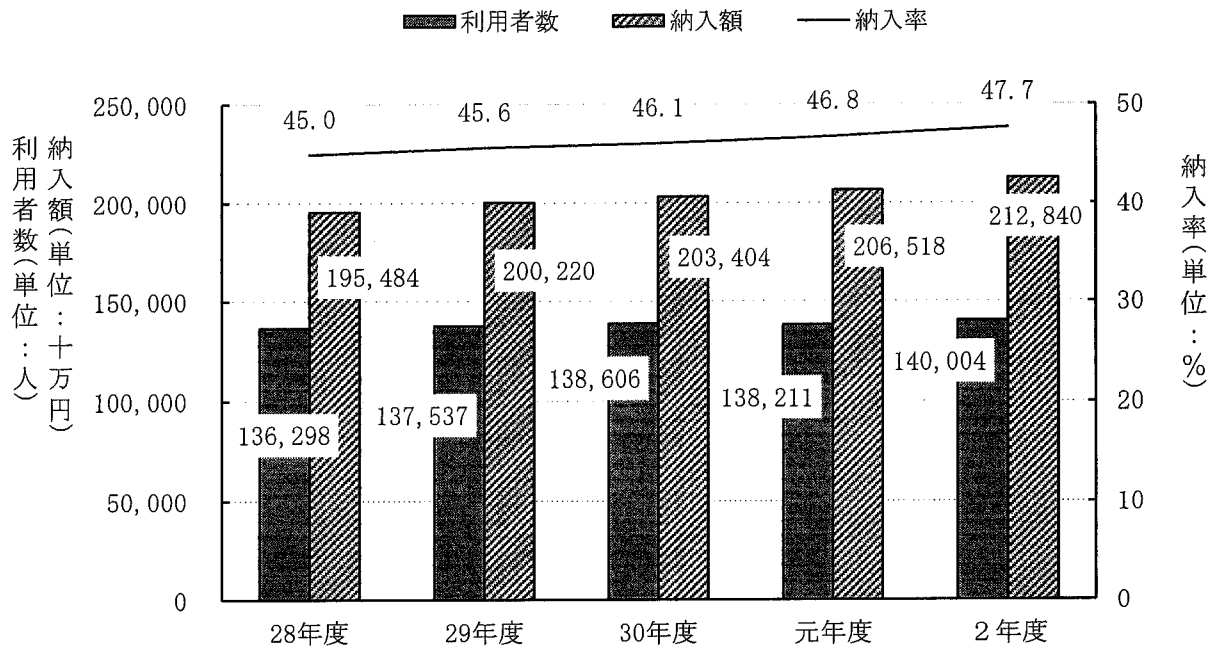
(注) 収入済額には、還付未済額を含む。

なお、現年課税分と滞納繰越分のそれぞれの収納率の推移は、次のとおりである。



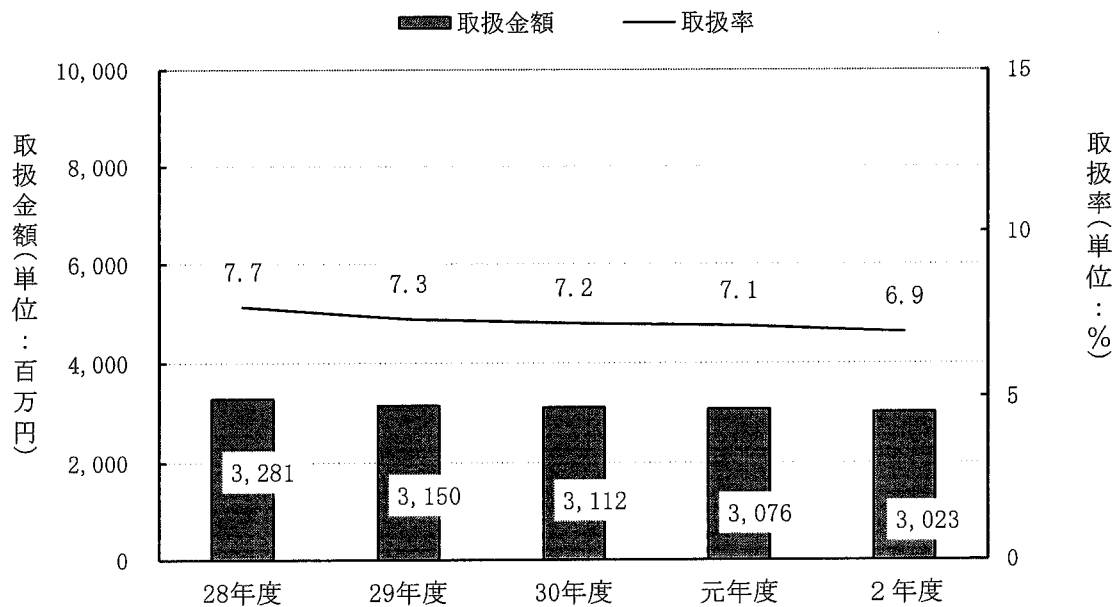
(注) 収納率は、収入済額に還付未済額を含んで計算している。

e 口座振替による納入状況の推移は、次のとおりである。



(注) 納入率 = $\frac{\text{口座振替納入額}}{\text{各年度の取扱税目の収入済額}} \times 100$

f 納税協力会の取扱金額等の推移は、次のとおりである。



(注) 取扱率 = $\frac{\text{納税協力会取扱金額}}{\text{各年度の取扱税目の収入済額}} \times 100$

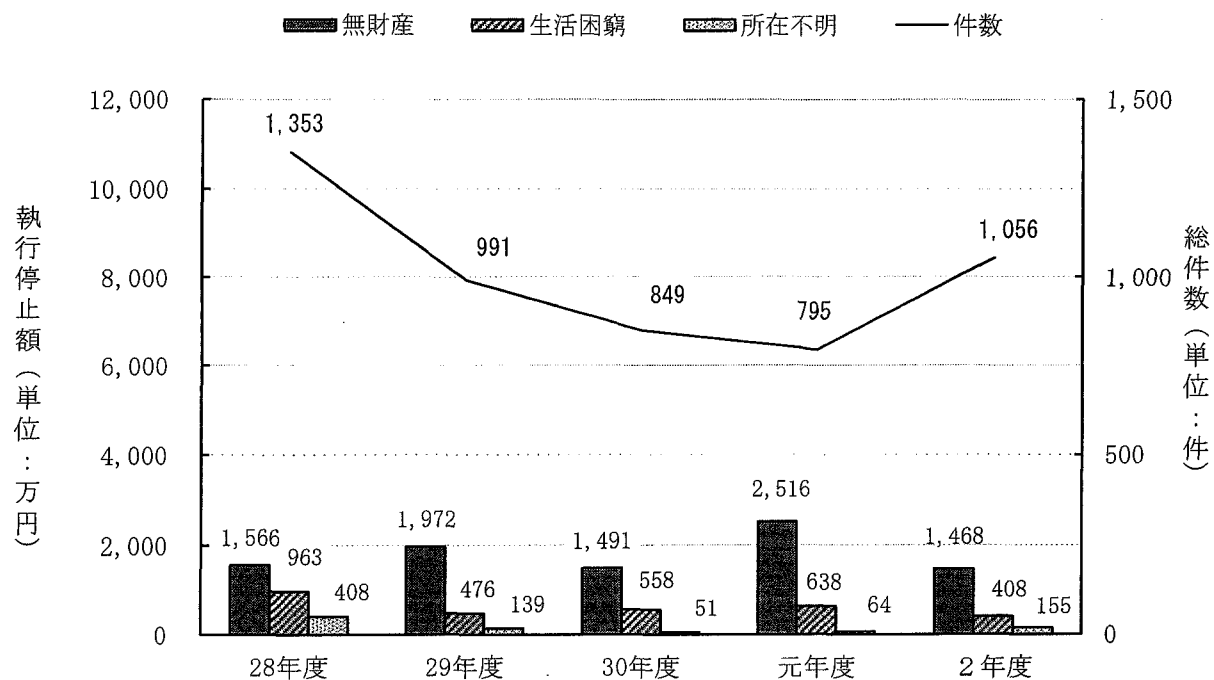
g 収入未済額を前年度と比べると、5億1,243万5千円(23.6%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

固定資産税	2億5,780万1千円(29.5%)
市民税	1億4,006万8千円(13.5%)
事業所税	5,654万1千円(432.6%)
都市計画税	5,326万3千円(29.8%)

h 滞納処分の執行停止の理由別内訳は、次のとおりである。

区 分	2 年 度		元 年 度		(単位：件・千円)	
	件 数	金 額	件 数	金 額	増 減	金 額
地方税法第15条の7第1項第1号の規定によるもの(無財産)	554	14,681	324	25,166	230	△ 10,485
地方税法第15条の7第1項第2号の規定によるもの(生活困窮)	409	4,084	421	6,378	△ 12	△ 2,294
地方税法第15条の7第1項第3号の規定によるもの(所在不明)	93	1,545	50	640	43	905
合 計	1,056	20,310	795	32,184	261	△ 11,874

なお、滞納処分の執行停止の理由別の推移は、次のとおりである。



i 不納欠損額を前年度と比べると、8,391万7千円(38.6%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

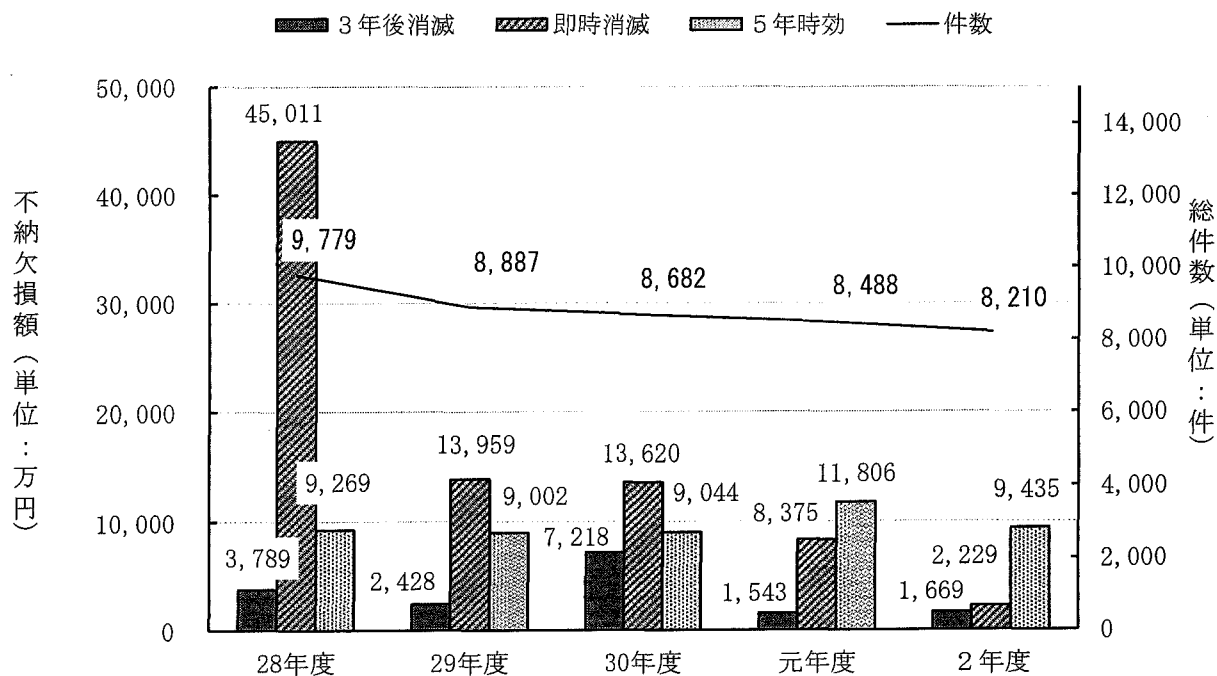
固定資産税	△ 4,785万6千円(△ 58.1%)
市民税	△ 2,237万2千円(△ 20.6%)
都市計画税	△ 981万2千円(△ 58.1%)

j 不納欠損処分理由別内訳は、次のとおりである。

(単位：件・千円)

区 分			2 年 度		元 年 度		増 減	
			件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
滞 止 納 処 分 の 後 の 消 滅 の 執 行	地方税法第15条の7第4項の 規定によるもの(3年後消滅)		547	16,686	642	15,428	△ 95	1,258
	地方税法第15条の7第5項の 規定によるもの(即時消滅)		828	22,294	963	83,756	△ 135	△ 61,462
	小 計		1,375	38,980	1,605	99,184	△ 230	△ 60,204
地方税法第18条第1項の 規定によるもの(5年時効)			6,835	94,346	6,883	118,059	△ 48	△ 23,713
合 計			8,210	133,326	8,488	217,243	△ 278	△ 83,917

なお、不納欠損処分理由別推移は、次のとおりである。



第2款 地方譲与税

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
自動車重量譲与税	847,500	875,741	875,741	103.3	-	-
特別とん譲与税	6,000	8,420	8,420	140.3	-	-
地方揮発油譲与税	279,600	301,002	301,002	107.7	-	-
森林環境譲与税	60,000	59,554	59,554	99.3	-	-
計	1,193,100	1,244,717	1,244,717	104.3	-	-

(注) 1 地方譲与税は、国が徴収した国税を一定の基準によって地方公共団体に譲与されるものである。

2 自動車重量譲与税は、自動車重量譲与税法の規定により、国が徴収した自動車重量税の収入額の40.7%に相当する額を、市町村道の延長及び面積を基準としてあん分し、市町村に譲与される。

3 特別とん譲与税は、特別とん譲与税法の規定により、特別とん税の収入額に相当する額を、開港所在市町村に譲与される。

4 地方揮発油譲与税(地方道路譲与税から改称)は、地方揮発油譲与税法の規定により国が徴収した地方揮発油譲与税の収入額の42%に相当する額を、市町村道の延長及び面積を基準としてあん分し、市町村に譲与される。

5 森林環境譲与税は、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の規定により、地方公共団体金融機構の公庫債権金利変動準備金を原資に、私有林人工林面積、林業就業者数及び人口を基準としてあん分し、市町村に譲与される。

a 収入済額の構成は、次のとおりである。

自動車重量譲与税	70.3%
地方揮発油譲与税	24.2%
森林環境譲与税	4.8%
特別とん譲与税	0.7%

また、収入済額を前年度と比べると、1,930万9千円(1.6%)増加しており、その内訳は次のとおりである。

森林環境譲与税	3,152万9千円(112.5%)
特別とん譲与税	7万1千円(0.9%)
地方揮発油譲与税	△ 546万2千円(△ 1.8%)
自動車重量譲与税	△ 682万9千円(△ 0.8%)

第3款 利子割交付金

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
利子割交付金	58,400	68,038	68,038	116.5	-	-

(注) 利子割交付金は、地方税法の規定により、県に納入された県民税利子割収入額99%の5分の3に相当する額が、個人県民税決算額の割合に応じて、市町村に交付される。

a 収入済額を前年度と比べると、794万5千円(13.2%)増加している。

第4款 配当割交付金

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収 入 済 額 (B)	収 入 率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
配 当 割 交 付 金	260,500	250,947	250,947	96.3	-	-

(注) 配当割交付金は、地方税法の規定により、県に納入された県民税配当割収入額99%の5分の3に相当する額が、個人県民税決算額の割合に応じて、市町村に交付される。

a 収入済額を前年度と比べると、3,882万8千円(13.4%)減少している。

第5款 株式等譲渡所得割交付金

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収 入 済 額 (B)	収 入 率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	418,000	311,734	311,734	74.6	-	-

(注) 株式等譲渡所得割交付金は、地方税法の規定により、県に納入された県民税株式等譲渡所得割収入額99%の5分の3に相当する額が、個人県民税決算額の割合に応じて、市町村に交付される。

a 収入済額を前年度と比べると、1億3,609万8千円(77.5%)増加している。

第6款 ゴルフ場利用税交付金

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収 入 済 額 (B)	収 入 率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	48,000	48,871	48,871	101.8	-	-

(注) ゴルフ場利用税交付金は、地方税法の規定により、県に納入されたゴルフ場利用税額の10分の7に相当する額が、ゴルフ場所在の市町村に交付される。

a 収入済額を前年度と比べると、255万6千円(5.0%)減少している。

第7款 法人事業税交付金

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収 入 済 額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
法人事業税交付金	806,200	818,894	818,894	101.6	-	-

(注) 法人事業税交付金は、法人事業税の収入額に100分の7.7(令和2年度は100分の3.4)を乗じて得た額を、従業者数であん分し、市町村に交付される。

- a 収入済額を前年度と比べると、8億1,889万4千円(皆増)増加している。

第8款 地方消費税交付金

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収 入 済 額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
地方消費税交付金	10,652,200	11,008,028	11,008,028	103.3	-	-

(注) 地方消費税交付金は、清算後の地方消費税(販売、サービスの提供等に対して課税される消費税額の21.25%)の収入額の2分の1に相当する額を、人口及び従業者数であん分し、市町村に交付される。

- a 収入済額を前年度と比べると、19億1,433万2千円(21.1%)増加している。

第9款 環境性能割交付金

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収 入 済 額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
環 境 性 能 割 交 付 金	103,100	131,998	131,998	128.0	-	-

(注) 自動車環境性能割交付金は、地方税法の規定により、県に納入された自動車税環境性能割の収入額の95%の100分の47に相当する額を、2分の1の額を区域内に存する市町村道の延長で、他の2分の1の額をその面積であん分し、市町村に交付される。

- a 収入済額を前年度と比べると、6,192万7千円(88.4%)増加している。

第10款 国有提供施設等所在市助成交付金

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
国有提供施設等 所在市助成交付金	14,000	14,003	14,003	100.0	-	-

(注) 国有提供施設等所在市助成交付金は、総額の10分の7は国有財産価格を、10分の3は国有財産の種類、用途及び市町村の財政状況等を考慮して交付される。

a 収入済額は前年度と比べ増減はない。

第11款 地方特例交付金

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
地方特例交付金	501,600	501,663	501,663	100.0	-	-

(注) 地方特例交付金は、個人市民税における住宅ローン控除の実施に伴う地方公共団体の減収分の補てんなどのために交付される。

a 収入済額を前年度と比べると、5億4,964万円(52.3%)減少している。

第12款 地方交付税

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
地方交付税	8,775,178	8,961,884	8,961,884	102.1	-	-

(注) 地方交付税は、地方公共団体が等しく一定水準の行政を維持するため、国税である所得税、法人税など各税の一定割合と基準により交付される。

a 収入済額の構成は、次のとおりである。

普通交付税	73億2,517万8千円(構成比率81.7%)
特別交付税	16億3,670万6千円(構成比率18.3%)

前年度と比べると、7億1,732万1千円(7.4%)減少しており、その内訳は次のとおりである。

普通交付税	△ 10億 412万6千円(△ 12.1%)
特別交付税	2億8,680万5千円(21.2%)

b 普通交付税の算定内訳は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2 年 度	元 年 度	増 減	
			金 額	比 率
基 準 財 政 需 要 額 (A)	77,183,532	75,418,076	1,765,456	2.3
個 別 算 定 経 費	75,851,713	75,023,003	828,710	1.1
うち元利・準元利償還費	15,628,570	16,306,851	△ 678,281	△ 4.2
包 括 算 定 経 費	6,689,646	6,495,343	194,303	3.0
臨時財政対策債振替相当額	△ 5,357,827	△ 6,100,270	742,443	△ 12.2
基 準 財 政 収 入 額 (B)	69,818,922	67,022,351	2,796,571	4.2
うち市民税所得割	22,083,354	21,614,485	468,869	2.2
調 整 額 (C)	39,432	66,421	△ 26,989	△ 40.6
普 通 交 付 税 交 付 額 (D) (A) - (B) - (C)	7,325,178	8,329,304	△ 1,004,126	△ 12.1
(参考) 臨時財政対策債 (E)	5,357,800	6,100,200	△ 742,400	△ 12.2
合 計 (D) + (E)	12,682,978	14,429,504	△ 1,746,526	△ 12.1

(注) 臨時財政対策債は通常収支の不足を補てんするため地方交付税に替えて各地方公共団体において発行することとされた地方債であり、これを含めたものが実質的な普通交付税といえる。

第 13 款 交通安全対策特別交付金

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収 入 済 額 (B)	収 入 率 (B)/(A)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	70,000	68,725	68,725	98.2	-	-

(注) 交通安全対策特別交付金は、道路交通法の規定により、国に納付された交通反則金をもとに交付されるもので、交付基準は、交通事故発生件数、人口集中地区人口等によりあん分し、市町村に配分される。

a 収入済額を前年度と比べると、526万7千円(8.3%)増加している。

第14款 分担金及び負担金

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額(B) (還付未済額)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
負担金	623,505	651,531	600,118	96.2	6,823	44,590

(注) 分担金及び負担金は、特定の事業に要する経費に充てるため、当該事業によって利益を受ける者に対し、その受益を限度として賦課徴収するものである。

- a 収入済額の主なものは、民生費負担金5億5,257万円(構成比率92.1%)である。

収入済額を前年度と比べると、3億9,999万8千円(40.0%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

児童福祉費負担金	△ 4億 911万2千円(△ 47.4%)
農業費負担金	781万1千円(36.5%)

- b 収入未済額の主なものは、次のとおりである。

保育所運営費負担金	2,377万1千円(構成比率53.3%)
児童保護費負担金	1,750万6千円(構成比率39.3%)

収入未済額を前年度と比べると、1,060万6千円(19.2%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

保育所運営費負担金	△ 892万2千円(△ 27.3%)
児童保護費負担金	△ 86万3千円(△ 4.7%)

- c 不納欠損額の主なものは、次のとおりである。

児童保護費負担金	388万6千円(構成比率57.0%)
保育所運営費負担金	285万円 (構成比率41.8%)

不納欠損額を前年度と比べると、38万3千円(5.3%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

保育所運営費負担金	△ 30万円 (△ 9.5%)
児童保護費負担金	△ 16万8千円(△ 4.1%)

d 保育所運営費負担金(保育料)の収納状況の推移は、次のとおりである。

区 分		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
入 所 児 童 数	3歳未満児数(人)	46,775	30,968	26,245	18,030	14,890
	3歳以上児数(人)	61,830	44,693	38,822	23,172	18,364
	計	108,605	75,661	65,067	41,202	33,254
調 定 額 (千円)		2,294,037	2,008,205	1,750,088	895,456	476,473
収 入 済 額 (千円)		2,241,440	1,961,505	1,707,953	859,613	449,852
不 納 欠 損 額 (千円)		6,105	3,642	2,707	3,150	2,850
収 入 未 済 額 (千円)		46,655	43,059	39,428	32,693	23,771
還 付 未 済 額 (千円)		163	-	-	-	-
収 納 率 (%)		97.71	97.67	97.59	96.00	94.41

(注) 1 保育料は、平成10年4月1日改定以降、据え置いている。

2 入所児童数は、認定こども園の入所児童数を除く保育所運営費負担金に係るものであり、各月初日の入所児童数の累計である。

3 令和元年10月より、3歳以上の児童及び3歳未満の市民税非課税世帯の児童について保育料を無償化。

4 収入済額には、還付未済額を含む。

なお、国・市の保育料比較及び市費肩代わり額の推移は、次のとおりである。

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
国の徴収基準による 保育料(千円) A	4,452,677	4,720,305	4,866,288	3,359,081	1,766,156
市の徴収基準による 保育料(千円) B	2,938,367	3,107,907	3,207,225	2,329,220	1,301,722
市費肩代わり額(千円) A-B	1,514,310	1,612,398	1,659,063	1,029,861	464,434

第15款 使用料及び手数料

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収入済額(B) (還付未済額)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
使 用 料	1,462,457	1,404,638	1,384,209 (145)	94.6	2,285	18,289
手 数 料	1,784,099	1,766,458	1,766,432	99.0	-	26
計	3,246,556	3,171,096	3,150,641 (145)	97.0	2,285	18,315

(注) 使用料及び手数料は、いずれも特定人のため何らかの便益を与えることとなる市の事務(活動)の中で、市が支弁する経費の全部又は一部について応益的にその特定人が負担するものである。

- a 収入済額の主なものは、次のとおりである。

使用料

土木使用料 9億3,799万4千円(構成比率29.8%)

衛生使用料 1億4,468万6千円(構成比率 4.6%)

手数料

衛生手数料 14億5,511万3千円(構成比率46.2%)

総務手数料 1億7,515万円 (構成比率 5.6%)

収入済額を前年度と比べると、2億3,096万7千円(6.8%)減少しており、その内訳は次のとおりである。

使用料 △ 1億8,265万5千円(△ 11.7%)

手数料 △ 4,831万2千円(△ 2.7%)

- b 使用料の減少は、主に次の項目の減少による。

商工使用料 △ 6,792万8千円(△ 60.3%)

衛生使用料 △ 6,257万円 (△ 30.2%)

土木使用料 △ 4,975万8千円(△ 5.0%)

- c 手数料の減少は、主に次の項目の増減による。

衛生手数料 △ 7,097万3千円(△ 4.7%)

総務手数料 △ 837万1千円(△ 4.6%)

土木手数料 3,498万6千円(37.4%)

- d 収入未済額の主なものは、市営住宅使用料1,650万2千円(構成比率90.1%)である。

収入未済額を前年度と比べると、824万8千円(31.1%)減少しており、主に市営住宅使用料772万円(31.9%)の減少による。

- e 不納欠損額の主なものは、市営住宅使用料223万7千円(構成比率97.9%)である。

不納欠損額を前年度と比べると、26万7千円(10.5%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

市営住宅敷地使用料 △ 16万7千円(皆 減)

市営住宅使用料 △ 7万8千円(△ 3.4%)

f 主な使用料及び手数料は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

科 目	2 年度	元年度	増 減	
			金 額	比 率
使 用 料				
保 健 衛 生 使 用 料	39,486	104,612	△ 65,126	△ 62.3
・ 金沢広域急病センター使用料	38,314	103,165	△ 64,851	△ 62.9
環 境 衛 生 使 用 料	104,939	101,663	3,276	3.2
農 業 使 用 料	117,841	114,938	2,903	2.5
・ 食肉流通センター使用料	116,698	113,771	2,927	2.6
商 工 使 用 料	44,694	112,622	△ 67,928	△ 60.3
道 路 橋 り ょ う 使 用 料	221,533	249,053	△ 27,520	△ 11.0
・ 道 路 占 用 料	167,772	167,552	220	0.1
住 宅 使 用 料	703,165	724,303	△ 21,138	△ 2.9
・ 市 営 住 宅 使 用 料	658,264	679,453	△ 21,189	△ 3.1
手 数 料				
戸籍住民基本台帳手数料	173,188	181,324	△ 8,136	△ 4.5
・ 戸籍証明書等交付手数料	51,205	56,407	△ 5,202	△ 9.2
・ 住民票写し交付手数料	64,104	65,283	△ 1,179	△ 1.8
・ 諸 証 明 手 数 料	52,372	52,704	△ 332	△ 0.6
清 掃 手 数 料	1,391,606	1,462,951	△ 71,345	△ 4.9
・ 廃棄物処理手数料	685,264	776,921	△ 91,657	△ 11.8
・ 埋立、焼却処分	648,224	632,804	15,420	2.4
土 木 管 理 手 数 料	107,533	69,938	37,595	53.8
・ 建設発生土受入手数料	86,110	40,816	45,294	111.0

g 市営住宅使用料の収納状況は、次のとおりである

区 分	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	元年度	2 年度
管 理 戸 数 (戸)	3,448	3,448	3,448	3,429	3,429
入 居 戸 数 (戸)	2,778	2,697	2,658	2,612	2,544
調 定 額 (千円)	781,147	755,374	723,256	705,990	677,003
収 入 済 額 (千円)	730,602	716,581	692,847	679,453	658,264
不 納 欠 損 額 (千円)	10,109	8,853	3,286	2,315	2,237
収 入 未 済 額 (千円)	40,436	29,944	27,092	24,222	16,502
還 付 未 済 額 (千円)	-	4	-	-	-
収 納 率 (%)	93.53	94.86	95.80	96.24	97.23

(注) 本年度は、長期滞納者に対する市営住宅明渡等請求訴訟の提起は行っていない。(前年度1件)

(参考) 主な施設の利用状況の推移

1 会館・ホール

(単位：人)

施 設 \ 年 度	28	29	30	元	2
金 沢 歌 劇 座	352,985	327,538	322,764	352,292	56,503
文 化 ホ ー ル	208,766	134,265	81,054	183,640	39,049
ア ー ト ホ ー ル	37,599	41,107	36,554	37,962	2,784
金 沢 市 民 芸 術 村	165,548	187,549	202,432	166,573	59,293
合 計	764,898	690,459	642,804	740,467	157,629

2 美術館・博物館等

(単位：人)

施 設 \ 年 度	28	29	30	元	2
金 沢 2 1 世 紀 美 術 館	2,554,157	2,373,048	2,580,591	2,334,589	871,150
金 沢 湯 涌 創 作 の 森	28,009	19,855	16,545	17,209	8,041
金 沢 文 芸 館	11,761	11,739	9,854	8,456	3,029
中 村 記 念 美 術 館	18,090	20,113	26,899	18,938	8,859
金 沢 く ら し の 博 物 館	5,762	11,552	14,546	9,609	5,847
安 江 金 箔 工 芸 館	33,130	34,065	33,717	32,531	10,118
金 沢 ふ る さ と 偉 人 館	17,775	17,635	18,751	15,888	11,971
泉 鏡 花 記 念 館	24,685	26,404	21,893	18,539	8,307
金 沢 湯 涌 夢 二 館	12,555	13,030	9,233	10,417	5,108
金 沢 蓄 音 器 館	20,254	21,437	20,804	18,890	7,962
前 田 土 佐 守 家 資 料 館	27,754	25,361	26,984	28,124	12,803
室 生 犀 星 記 念 館	12,019	14,477	11,227	15,778	4,911
徳 田 秋 聲 記 念 館	10,065	14,677	10,391	8,613	3,515
金 沢 能 楽 美 術 館	43,584	38,405	38,707	35,082	9,796
金 沢 湯 涌 江 戸 村	15,399	12,768	12,305	11,822	6,968
鈴 木 大 拙 館	66,183	71,128	79,234	75,075	35,136
老 舗 記 念 館	36,748	35,512	31,561	31,026	12,846
谷 口 吉 郎 ・ 吉 生 記 念 金 沢 建 築 館	-	-	-	37,221	14,738
合 計	2,937,930	2,761,206	2,963,242	2,727,807	1,041,105

3 体育施設・公園施設

(単位：人)

施 設 \ 年 度	28	29	30	元	2
総 合 体 育 館	306,041	300,934	307,816	289,379	164,842
市 民 体 育 館 (中央, 西部, 城北, 城南, 城東, 城西, 森本, 浅野川)	354,968	338,823	335,071	355,111	249,377
テ ニ ス コ ー ト (城北, 東金沢, 西金沢, 大徳, 城東, 浅野)	190,776	181,724	190,487	189,021	121,363
プ ー ル (西部, 総合 ※総合は 平成29年4月1日閉鎖)	107,605	39,529	44,365	45,239	29,720
金 沢 プ ー ル	-	115,888	201,400	234,646	96,294
屋 内 交 流 広 場	-	-	-	142,521	63,811
ソ フ ト ボ ー ル 場 (専光寺ソフトボール場)	24,787	30,710	36,653	32,144	17,095
ス キ ー 場 リ フ ト (医王山スキー場)	26,344	32,065	13,745	0	27,478
陸 上 競 技 場	89,885	94,798	99,397	96,953	37,404
球 技 場	9,132	8,565	9,435	9,510	28,205
西部市民憩いの家	80,735	64,682	69,642	60,400	24,990
内川スポーツ広場	103,786	117,268	97,199	100,218	73,533
戸室スポーツ広場	69,383	69,994	77,001	71,056	45,310
安原スポーツ広場	42,926	45,947	43,805	40,538	32,721
市 民 野 球 場	120,676	112,732	102,269	97,669	16,625
市 民 サ ッ カ ー 場	17,920	22,559	20,495	16,938	8,253
ス ポ ー ツ 交 流 広 場	63,562	65,545	67,151	67,917	43,895
ジュニアスポーツ コ ー ト	23,249	23,585	20,083	19,731	12,754
鳴和台市民体育会館	155,824	146,737	136,984	109,809	75,043
額谷ふれあい体育館	66,360	64,146	61,200	56,200	41,925
合 計	1,853,959	1,876,231	1,934,198	2,035,000	1,210,638

(注) スキー場リフト(医王山スキー場)は、令和元年度は雪不足のため休業。

4 社会教育施設等

(単位：人)

施 設 \ 年 度	28	29	30	元	2
市 立 図 書 館	1,900,856	1,820,924	1,835,564	1,610,957	739,691
中 央 公 民 館	218,749	207,355	204,466	183,236	101,295
女 性 セ ン タ ー	27,869	25,435	26,693	25,305	16,357
キゴ山ふれあい 研 修 セ ン タ ー	33,520	33,792	40,558	39,961	15,084
教 育 プ ラ ザ 富 樫	168,185	161,743	161,486	142,053	91,703
近 江 町 交 流 プ ラ ザ	93,928	94,404	92,867	65,584	35,735
金 沢 学 生 の ま ち 市 民 交 流 館	61,627	60,155	60,852	50,808	24,698
長 土 堀 青 少 年 交 流 セ ン タ ー	-	-	-	50,409	53,849
合 計	2,504,734	2,403,808	2,422,486	2,168,313	1,078,412

5 福祉施設

(単位：人)

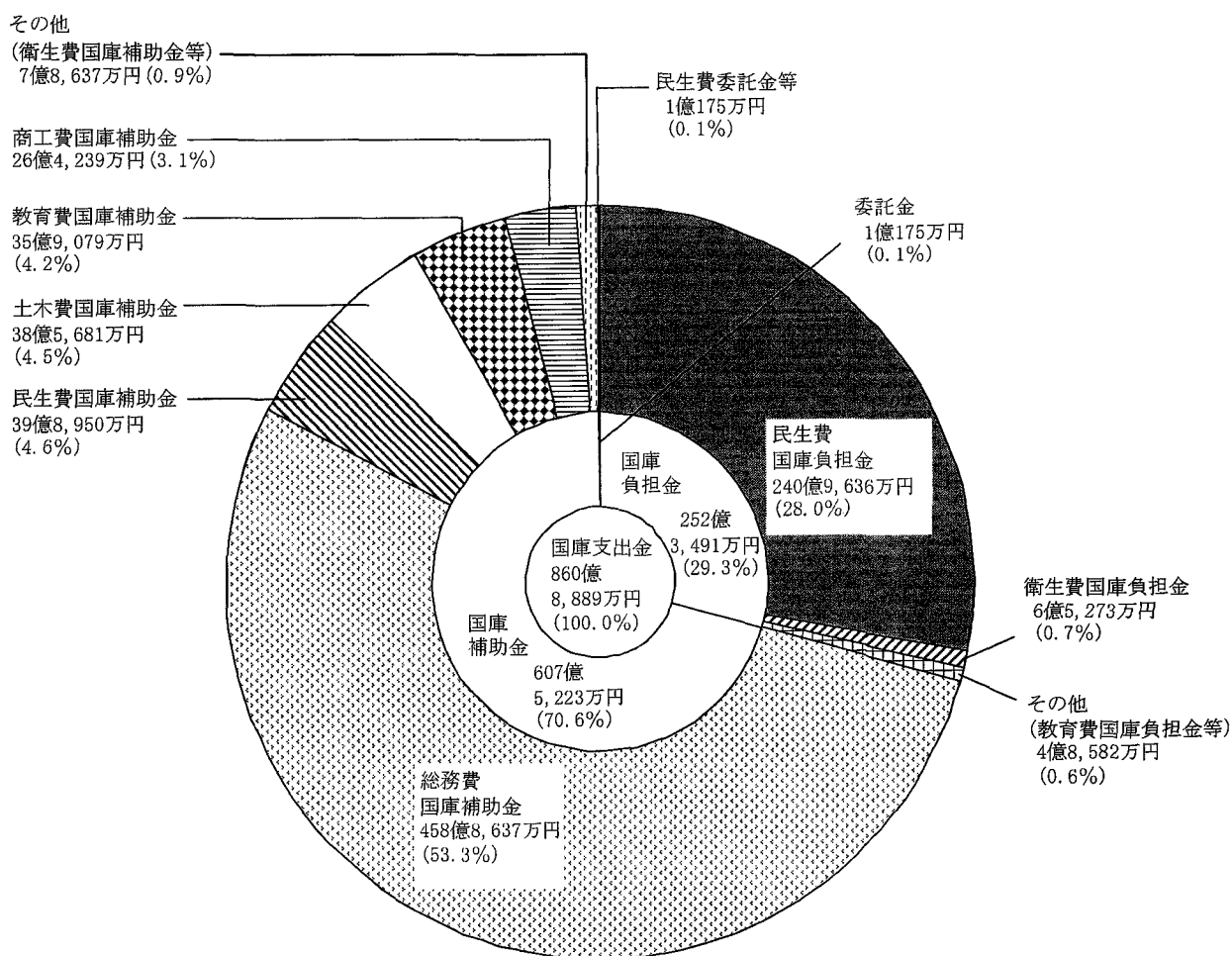
施 設 \ 年 度	28	29	30	元	2
卯辰山公園健康交流 セ ン タ ー 千 寿 閣	91,237	85,357	79,704	68,941	22,417
老 人 福 祉 セ ン タ ー 万 寿 苑	39,089	39,077	41,229	37,322	21,938
老 人 福 祉 セ ン タ ー 松 寿 荘	51,928	50,697	50,632	45,763	19,010
老 人 福 祉 セ ン タ ー 鶴 寿 園	59,220	55,310	54,846	49,723	24,160
障害者高齢者体育館 (駅西むつみ体育館)	34,514	33,785	34,203	31,298	18,496
金 沢 福 祉 用 具 情 報 プ ラ ザ	37,273	35,378	38,369	35,928	22,171
合 計	313,261	299,604	298,983	268,975	128,192

第16款 国庫支出金

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
国庫負担金	26,680,359	25,234,911	25,234,911	94.6	-	-
国庫補助金	66,315,020	60,752,226	60,752,226	91.6	-	-
委託金	85,310	101,754	101,754	119.3	-	-
計	93,080,689	86,088,891	86,088,891	92.5	-	-

a 国庫支出金の構成は、次のとおりである。



- b 収入済額を前年度と比べると、544億9,387万7千円(172.5%)増加しており、その内訳は次のとおりである。

国庫補助金	529億1,407万6千円(675.1%)
国庫負担金	15億7,273万8千円(6.6%)
委託金	706万3千円(7.5%)

- c 国庫補助金の増加は、主に次の項目の増加による。

総務費国庫補助金	455億7,964万3千円(14,859.8%)
教育費国庫補助金	24億5,264万3千円(215.5%)
民生費国庫補助金	23億7,998万2千円(147.9%)

- d 国庫負担金の増加は、主に次の項目の増加による。

民生費国庫負担金	12億4,427万5千円(5.4%)
教育費国庫負担金	2億2,529万5千円(103.6%)

- e 委託金の増加は、次の項目の増減による。

民生費委託金		1,603万2千円(21.7%)
衛生費委託金	△	349万8千円(△	29.1%)
総務費委託金	△	547万1千円(△	61.7%)

f 主な国庫支出金は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

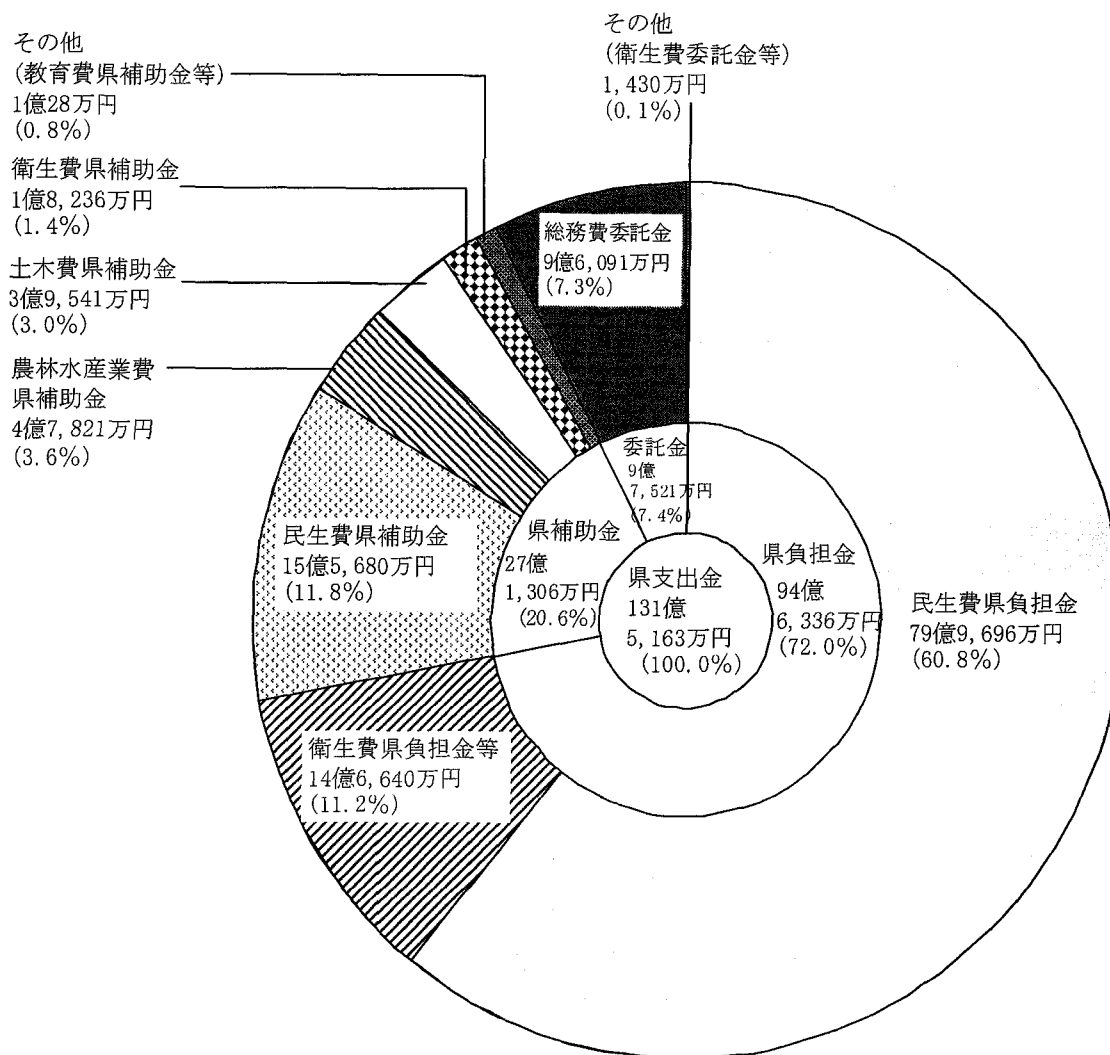
科 目	2 年度	元年度	増 減	
			金 額	比 率
国 庫 負 担 金				
障 害 者 自 立 支 援 給 付 費 金 負 担 金	5,196,749	4,985,041	211,708	4.2
児 童 手 当 負 担 金	4,739,135	4,856,150	△ 117,015	△ 2.4
児 童 扶 養 手 当 負 担 金	437,606	575,435	△ 137,829	△ 24.0
児 童 保 護 措 置 費 負 担 金	431,906	407,831	24,075	5.9
保 育 所 等 運 営 費 負 担 金	7,012,685	5,864,604	1,148,081	19.6
生 活 保 護 費 負 担 金	5,709,412	5,838,448	△ 129,036	△ 2.2
国 民 健 康 保 険 基 盤 安 定 金 負 担 金	410,688	418,412	△ 7,724	△ 1.8
国 庫 補 助 金				
総 務 管 理 費 補 助	45,618,086	237,105	45,380,981	-
社 会 福 祉 費 補 助	354,526	230,272	124,254	54.0
児 童 福 祉 費 補 助	3,495,907	1,354,727	2,141,180	158.1
保 健 衛 生 費 補 助	274,216	130,945	143,271	109.4
清 掃 費 補 助	77,253	360,242	△ 282,989	△ 78.6
林 業 費 補 助	139,541	132,710	6,831	5.1
商 工 費 補 助	2,642,386	609,068	2,033,318	333.8
道 路 橋 り ょ う 費 補 助	2,348,031	2,059,424	288,607	14.0
河 川 費 補 助	154,890	217,552	△ 62,662	△ 28.8
都 市 計 画 費 補 助	1,081,850	935,245	146,605	15.7
住 宅 費 補 助	201,185	204,282	△ 3,097	△ 1.5
教 育 総 務 費 補 助	1,637,895	55,947	1,581,948	2,827.6
小 学 校 費 補 助	670,028	626,317	43,711	7.0
中 学 校 費 補 助	270,517	110,877	159,640	144.0
大 学 費 補 助	291,414	23,228	268,186	1,154.6
社 会 教 育 費 補 助	613,863	320,890	292,973	91.3

第17款 県支出金

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
県負担金	9,468,578	9,463,356	9,463,356	99.9	-	-
県補助金	3,190,836	2,713,063	2,713,063	85.0	-	-
委託金	973,513	975,213	975,213	100.2	-	-
計	13,632,927	13,151,632	13,151,632	96.5	-	-

a 県支出金の構成は、次のとおりである。



b 収入済額を前年度と比べると、9億6,161万6千円(7.9%)増加しており、その内訳は次のとおりである。

県負担金	7億1,690万7千円(8.2%)
県補助金	2億5,981万7千円(10.6%)
委託金	△ 1,510万8千円(△	1.5%)

c 県負担金の増加は、主に民生費県負担金6億6,816万6千円(9.1%)の増加による。

d 県補助金の増加は、主に次の項目の増減による。

民生費県補助金	3億5,583万5千円(29.6%)
衛生費県補助金	△ 6,506万1千円(△	26.3%)
農林水産業費県補助金	△ 7,075万1千円(△	12.9%)

e 委託金の減少は、主に次の項目の増減による。

総務費委託金	△ 2,749万7千円(△	2.8%)
衛生費委託金	1,245万8千円(2,076.3%)

f 主な県支出金は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

科 目	2 年 度	元 年 度	増 減	
			金 額	比 率
県 負 担 金				
障害者自立支援給付費負担金	2,555,401	2,477,441	77,960	3.1
後期高齢者医療保険基盤安定負担金	766,799	747,331	19,468	2.6
児童手当負担金	1,027,474	1,050,865	△ 23,391	△ 2.2
保育所等運営費負担金	3,508,882	2,976,043	532,839	17.9
国民健康保険基盤安定金負担金	1,285,685	1,301,565	△ 15,880	△ 1.2
県 補 助 金				
心身障害者医療助成費補助	391,133	371,124	20,009	5.4
地域医療介護総合確保事業費補助	186,429	140,755	45,674	32.4
多子世帯保育料無料化事業費補助	64,855	109,121	△ 44,266	△ 40.6
認定こども園施設整備事業費補助	257,056	84,571	172,485	204.0
児童福祉施設等感染症対策事業費補助	147,026	-	147,026	-
児童クラブ運営費補助	230,139	209,884	20,255	9.7
乳幼児医療助成費補助	119,892	181,680	△ 61,788	△ 34.0
担い手育成対策費補助	41,869	101,207	△ 59,338	△ 58.6
食肉流通センター整備事業費補助	155,579	155,579	0	0.0
都市基盤河川改修事業費補助	135,041	181,207	△ 46,166	△ 25.5
市街地再開発事業費補助	136,859	27,546	109,313	396.8
委 託 金				
県民税徴収委託金	762,585	756,087	6,498	0.9
選挙費委託金	17	185,746	△ 185,729	△ 100.0
統計調査費委託金	179,957	28,734	151,223	526.3

第18款 財産収入

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
財産運用収入	166,676	155,026	155,026	93.0	-	-
財産売払収入	204,048	203,161	203,161	99.6	-	-
計	370,724	358,187	358,187	96.6	-	-

a 収入済額の主なものは、次のとおりである。

財産運用収入

財産貸付収入 1億 520万8千円(構成比率29.4%)

基金収入 3,454万2千円(構成比率 9.6%)

財産売払収入

不動産売払収入 1億8,615万3千円(構成比率52.0%)

収入済額を前年度と比べると、2,163万5千円(6.4%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

基金収入 3,027万3千円(709.1%)

不動産売払収入 1,118万4千円(6.4%)

財産貸付収入 △ 1,478万4千円(△ 12.3%)

第19款 寄附金

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
寄附金	500,169	490,321	490,321	98.0	-	-

a 収入済額の主なものは、次のとおりである。

総務費寄附金 3億2,252万6千円(構成比率65.8%)

消防費寄附金 1億1,347万5千円(構成比率23.1%)

収入済額を前年度と比べると、2億4,337万6千円(98.6%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

総務費寄附金 1億2,033万1千円(59.5%)

消防費寄附金 1億1,147万5千円(5,573.8%)

第20款 繰入金

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
特別会計繰入金	213,531	160,214	160,214	75.0	-	-
基金繰入金	1,024,281	900,680	900,680	87.9	-	-
計	1,237,812	1,060,894	1,060,894	85.7	-	-

a 収入済額の主なものは、次のとおりである。

地域コミュニティ活性化基金繰入金	4億6,214万9千円(構成比率43.6%)
美術工芸大学施設整備積立基金繰入金	2億円(構成比率18.9%)
財政調整基金繰入金	1億4,000万円(構成比率13.2%)
美術館美術品購入基金繰入金	8,899万円(構成比率8.4%)

収入済額を前年度と比べると、16億4,059万円(60.7%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

教育福祉施設等再整備積立基金繰入金	△ 8億円	(皆 減)
庁舎等整備再編積立基金繰入金	△ 6億 896万6千円	(皆 減)
財政調整基金繰入金	△ 2億7,500万円	(△ 66.3%)

第21款 繰越金

(単位：千円・%)

項	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
繰越金	3,133,057	3,133,057	3,133,057	100.0	-	-

a 収入済額の構成は、次のとおりである。

繰越事業充当財源	14億5,464万9千円(構成比率46.4%)
純繰越金	16億7,840万8千円(構成比率53.6%)

b 繰越金の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2 年度	元年度	増 減	
			金 額	比 率
繰越事業充当財源	1,454,649	1,101,106	353,543	32.1
繰越明許費	1,454,649	1,101,106	353,543	32.1
事故繰越し	-	-	-	-
純繰越金	1,678,408	1,651,761	26,647	1.6
合 計	3,133,057	2,752,867	380,190	13.8

第22款 諸 収 入

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収入済額(B) (還付未済額)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
延滞金、加算金 及 び 過 料	231,103	227,536	227,561 (42)	98.5	-	17
市 預 金 利 子	11,500	2,204	2,204	19.2	-	-
貸付金元利収入	51,806	26,089	25,687	49.6	-	402
受託事業収入	174,100	153,840	153,840	88.4	-	-
収益事業収入	23,740	23,739	23,739	100.0	-	-
雑 入	2,019,896	2,391,361	2,073,233	102.6	6,070	312,058
計	2,512,145	2,824,769	2,506,264 (42)	99.8	6,070	312,477

(注) 決算額には、() 書きの還付未済額を含む。

a 収入済額の主なものは、次のとおりである。

延滞金、加算金及び過料

延滞金

2億2,754万4千円(構成比率 9.1%)

受託事業収入

社会教育費受託事業収入

1億4,423万5千円(構成比率 5.8%)

雑 入

清掃費雑入

7億4,302万7千円(構成比率29.6%)

総務管理費雑入

3億9,759万2千円(構成比率15.9%)

社会福祉費雑入

1億9,034万7千円(構成比率 7.6%)

保健衛生費雑入

1億6,680万2千円(構成比率 6.7%)

消防費雑入

9,365万3千円(構成比率 3.7%)

生活保護費雑入

8,790万8千円(構成比率 3.5%)

収入済額を前年度と比べると、3億9,052万1千円(18.5%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

雑入	3億1,206万1千円(17.7%)
受託事業収入	8,194万円 (114.0%)

b 雑入の増加は、主に次の項目の増加による。

石川縣市町村振興協会臨時交付金	2億2,808万6千円(皆 増)
金沢駅西広場周辺歩行環境整備事業費負担金	7,157万4千円(皆 増)

c 受託事業収入の増加は、主に社会教育費受託事業収入7,234万3千円(100.6%)の増加による。

d 収入未済額は3億1,247万7千円である。収入未済額を前年度と比べると、1,144万2千円(3.5%)減少しており、主に生活保護費還付金937万2千円(3.4%)の減少による。

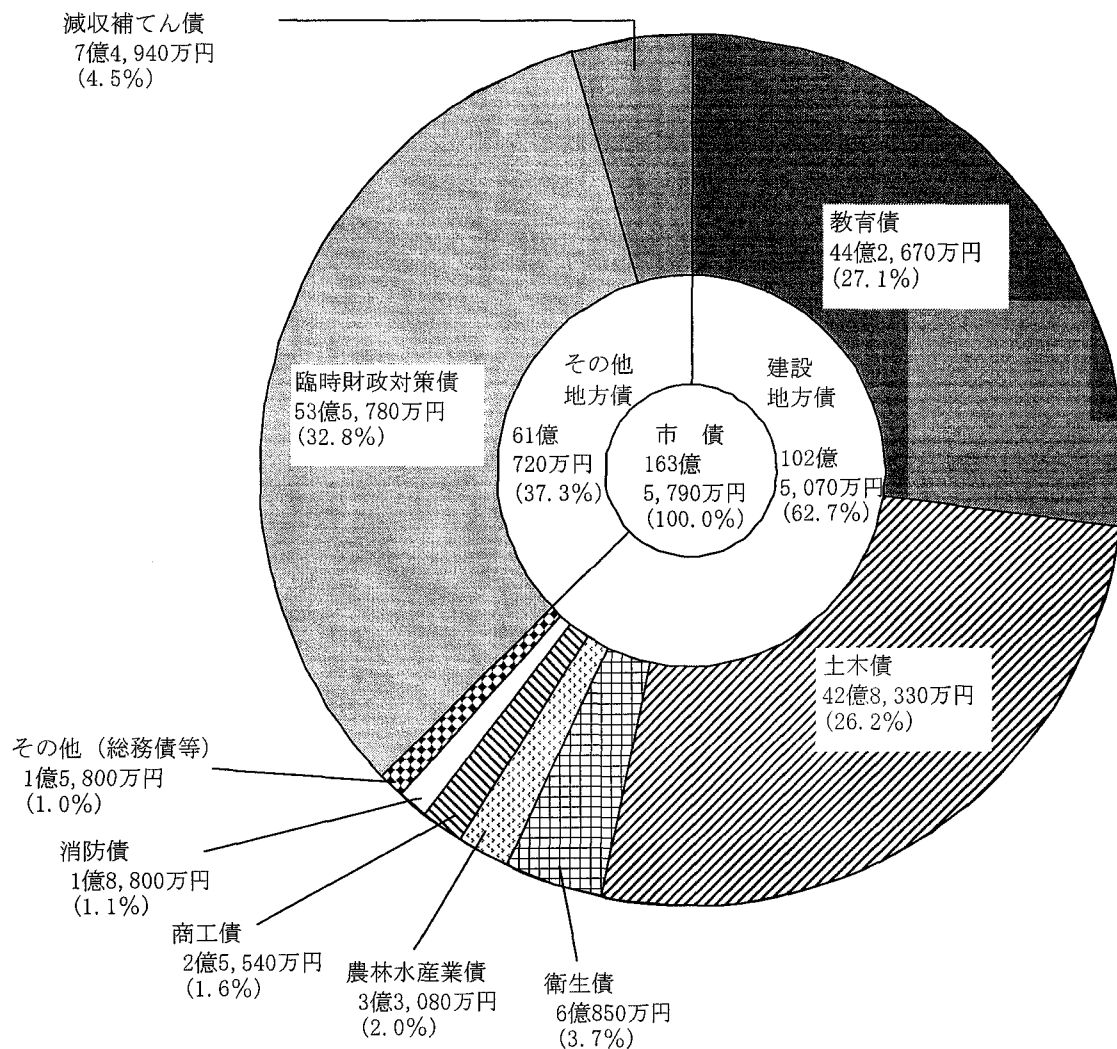
e 不納欠損額は607万円である。不納欠損額を前年度と比べると、28万8千円(4.5%)減少しており、主に生活保護費還付金22万円(3.5%)の減少による。

第23款 市 債

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額 (A)	調 定 額	収 入 済 額 (B)	収入率 (B)/(A)	不納欠損額	収入未済額
市 債	24,318,600	16,357,900	16,357,900	67.3	-	-

a 市債の構成は、次のとおりである。



b 収入済額を前年度と比べると、30億1,230万円(15.6%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

総務債	△ 28億7,100万円(△ 96.1%)
臨時財政対策債	△ 7億4,240万円(△ 12.2%)
土木債	△ 6億6,270万円(△ 13.4%)
教育債	10億7,990万円(32.3%)

c 市債のうち、主な項目は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

科 目	2 年度	元年度	増 減	
			金 額	比 率
総 務 債	116,700	2,987,700	△ 2,871,000	△ 96.1
民 生 債	17,800	28,400	△ 10,600	△ 37.3
衛 生 債	608,500	1,062,200	△ 453,700	△ 42.7
・保 健 衛 生 債	206,500	29,000	177,500	612.1
・環 境 衛 生 債	88,700	240,000	△ 151,300	△ 63.0
・清 掃 債	313,300	793,200	△ 479,900	△ 60.5
農 林 水 産 業 債	330,800	353,000	△ 22,200	△ 6.3
・農 業 債	231,500	241,800	△ 10,300	△ 4.3
・林 業 債	99,300	111,200	△ 11,900	△ 10.7
商 工 債	255,400	61,200	194,200	317.3
土 木 債	4,283,300	4,946,000	△ 662,700	△ 13.4
・土 木 管 理 債	62,700	114,900	△ 52,200	△ 45.4
・道 路 橋 り ょ う 債	1,822,600	1,742,900	79,700	4.6
・河 川 債	401,900	295,300	106,600	36.1
・港 湾 債	793,100	1,598,100	△ 805,000	△ 50.4
・都 市 計 画 債	1,203,000	1,194,800	8,200	0.7
消 防 債	188,000	432,100	△ 244,100	△ 56.5
教 育 債	4,426,700	3,346,800	1,079,900	32.3
・小 学 校 債	1,242,700	2,386,900	△ 1,144,200	△ 47.9
・中 学 校 債	191,300	663,400	△ 472,100	△ 71.2
・大 学 債	2,363,000	18,800	2,344,200	-
・社 会 教 育 債	221,200	216,800	4,400	2.0
・保 健 体 育 債	114,300	51,400	62,900	122.4
・教 育 総 務 債	291,600	-	291,600	-
災 害 復 旧 債	23,500	52,600	△ 29,100	△ 55.3
建 設 地 方 債 計 (A)	10,250,700	13,270,000	△ 3,019,300	△ 22.8
臨 時 財 政 対 策 債	5,357,800	6,100,200	△ 742,400	△ 12.2
減 収 補 て ん 債	749,400	-	749,400	-
そ の 他 地 方 債 計 (B)	6,107,200	6,100,200	7,000	0.1
合 計 (A) + (B)	16,357,900	19,370,200	△ 3,012,300	△ 15.6

(注) 1 臨時財政対策債は、地方一般財源の不足に対処するため地方財政法第5条の特例として発行するものである。

2 減収補てん債は、地方税の収入が普通交付税における標準税収入額を下回った場合、その減収を補うために発行する特別の地方債である。

(2) 歳 出

ア 予算執行状況

(単位：千円・%)

区 分	2 年 度	元 年 度	増 減	
			金 額	比 率
予 算 現 額	247,120,552	190,661,072	56,459,480	29.6
支 出 済 額	227,594,777	178,196,644	49,398,133	27.7
翌 年 度 繰 越 額	13,660,195	8,559,908	5,100,287	59.6
不 用 額	5,865,580	3,904,520	1,961,060	50.2

(ア) 予算現額に対する支出済額の比率は、92.1%(前年度93.5%)である。

(イ) 予算現額に対する翌年度繰越額の比率は、5.5%(前年度4.5%)である。

(ウ) 予算現額に対する不用額の比率は、2.4%(前年度2.0%)である。

(エ) 款別の予算執行状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

款	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	予 算 執行率
1 議 会 費	884,869	841,017	-	43,852	95.0
2 総 務 費	59,565,640	58,840,893	104,754	619,993	98.8
3 民 生 費	70,054,957	67,912,552	1,009,583	1,132,822	96.9
4 衛 生 費	20,032,548	17,286,630	2,043,133	702,785	86.3
5 労 働 費	334,687	293,552	12,400	28,735	87.7
6 農林水産業費	3,333,369	2,920,763	257,120	155,486	87.6
7 商 工 費	7,634,036	5,804,831	711,808	1,117,397	76.0
8 土 木 費	26,757,155	22,246,927	4,204,378	305,850	83.1
9 消 防 費	5,152,221	5,014,452	72,400	65,369	97.3
10 教 育 費	32,545,026	25,772,675	5,225,792	1,546,559	79.2
11 災 害 復 旧 費	219,997	117,359	18,827	83,811	53.3
12 公 債 費	19,908,780	19,875,749	-	33,031	99.8
13 諸 支 出 金	677,267	667,377	-	9,890	98.5
14 予 備 費	20,000	-	-	20,000	0.0
計	247,120,552	227,594,777	13,660,195	5,865,580	92.1

イ 性質別経費の状況

(単位：千円・%)

区 分	2 年 度	元 年 度	増 減		構成比率	
			金 額	比 率	2年度	元年度
義務的経費	90,671,408	88,037,483	2,633,925	3.0	39.9	49.4
人 件 費	22,635,698	21,855,102	780,596	3.6	10.0	12.3
うち退職手当	1,463,564	1,274,103	189,461	14.9	0.6	0.7
扶 助 費	48,159,961	45,434,845	2,725,116	6.0	21.2	25.5
公 債 費	19,875,749	20,747,536	△ 871,787	△ 4.2	8.7	11.6
經常的経費	84,663,270	33,656,186	51,007,084	151.6	37.2	18.9
物 件 費	26,842,688	24,109,908	2,732,780	11.3	11.8	13.5
維持補修費	2,078,799	1,411,261	667,538	47.3	0.9	0.8
補助費等	55,741,783	8,135,017	47,606,766	585.2	24.5	4.6
投資的経費	25,270,329	31,454,481	△ 6,184,152	△ 19.7	11.0	17.6
普通建設事業費	25,171,755	31,258,273	△ 6,086,518	△ 19.5	11.0	17.5
補 助	14,819,554	13,260,750	1,558,804	11.8	6.5	7.4
単 独	10,352,201	17,997,523	△ 7,645,322	△ 42.5	4.5	10.1
災害復旧事業費	98,574	196,208	△ 97,634	△ 49.8	0.0	0.1
その他経費	26,989,770	25,048,494	1,941,276	7.8	11.9	14.1
積 立 金	2,080,369	1,913,019	167,350	8.7	0.9	1.1
投資及び出資金	1,204,174	1,326,796	△ 122,622	△ 9.2	0.6	0.8
貸 付 金	19,596	27,129	△ 7,533	△ 27.8	0.0	0.0
繰 出 金 等	23,685,631	21,781,550	1,904,081	8.7	10.4	12.2
計	227,594,777	178,196,644	49,398,133	27.7	100.0	100.0

(ア) 人件費の増加は、主に次の項目の増減による。

委員等報酬	6億 884万3千円 (32.3%)
退職手当	1億8,946万1千円 (14.9%)
職員給	△ 5,585万2千円 (△ 0.4%)

(イ) 扶助費の増加は、主に次の項目の増加による。

私立保育所等運営費	13億2,088万6千円 (9.9%)
子育て世帯応援給付金事業費	5億8,460万円 (皆 増)
子育て世帯国臨時特別給付金事業費	5億5,520万円 (皆 増)

(ウ) 公債費の減少は、主に次の項目の減少による。

地方債償還元金	△	6億3,962万4千円	(△	3.3%)
地方債利子	△	2億3,109万4千円	(△	17.3%)

(エ) 維持補修費の増加は、主に次の項目の増減による。

道路除排雪費		8億 862万5千円	(723.1%)
道路側溝補修費	△	1億9,735万5千円	(△	84.0%)

(オ) 補助費等の増加は、主に特別定額給付金事業費450億5,520万円(皆増)の増加による。

(カ) 普通建設事業費の減少は、主に次の項目の増減による。

補助事業

小中学校 I C T 教育環境整備費		5億8,876万3千円	(皆	増)
小学校大規模改造事業費		5億7,945万4千円	(563.6%)
補助道路新設改良事業費		3億8,769万3千円	(20.3%)

単独事業

庁舎等整備再編費(第二本庁舎)	△	38億5,240万3千円	(△	100.0%)
森山町小学校改築事業費	△	8億8,645万7千円	(△	89.3%)
東京国立近代美術館工芸館 移転整備費	△	7億1,139万4千円	(△	98.0%)

(キ) 災害復旧事業費の減少は、次の項目の減少による。

補助災害復旧事業費	△	8,663万6千円	(△	47.4%)
単独災害復旧事業費	△	1,099万8千円	(△	82.6%)

(ク) 積立金の増加は、主に次の項目の増減による。

教育福祉施設等再整備積立基金積立金		5億9,997万4千円	(189,865.2%)
文化の人づくり基金積立金		4,006万4千円	(50.8%)
文化スポーツ施設再整備積立基金積立金	△	4億9,975万4千円	(△ 55.5%)

(ケ) 貸付金の減少は、主に母子父子寡婦福祉資金貸付金447万7千円(41.2%)の減少による。

(コ) 繰出金等の増加は、主に工業団地造成事業特別会計繰出金3億7,319万2千円(243.2%)の増加による。

(サ) 性質別決算額の推移は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分 \ 年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
義務的経費	(91,114,704) 91,774,704	92,006,623	87,693,206	88,037,483	90,671,408
経常的経費	31,759,638	33,369,484	32,008,755	33,656,186	84,663,270
投資的経費	(27,810,705) 30,046,924	25,277,062	32,703,524	31,454,481	25,270,329
その他経費	(23,469,545) 24,799,545	(23,676,374) 27,276,374	(25,125,987) 25,625,987	25,048,494	26,989,770
計	(174,154,592) 178,380,811	(174,329,543) 177,929,543	(177,531,472) 178,031,472	178,196,644	227,594,777

(注) () 書きは、平成28年度は特別会計からの用地買戻し等、平成29年度及び平成30年度は基金の再編分を除いた実質金額である。

(シ) 主な節別経費の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

節	2年度	元年度	増 減		構成比率
			金 額	比 率	
給 料	9,354,748	9,404,307	△ 49,559	△ 0.5	4.1
職 員 手 当 等	8,041,879	7,826,443	215,436	2.8	3.5
共 済 費	3,664,908	3,640,921	23,987	0.7	1.6
需 用 費	6,168,151	5,913,360	254,791	4.3	2.7
委 託 料	22,186,718	19,900,807	2,285,911	11.5	9.8
使用料及び賃借料	1,649,052	1,596,972	52,080	3.3	0.7
工 事 請 負 費	14,359,412	18,538,342	△ 4,178,930	△ 22.5	6.3
公有財産購入費	2,194,848	680,237	1,514,611	222.7	1.0
備 品 購 入 費	1,989,856	861,064	1,128,792	131.1	0.9
負担金、補助 及び交付金	71,196,917	24,864,136	46,332,781	186.3	31.3
扶 助 費	46,638,292	45,309,397	1,328,895	2.9	20.5
貸 付 金	13,201	17,424	△ 4,223	△ 24.2	0.0
補償、補填 及び賠償金	334,681	599,304	△ 264,623	△ 44.2	0.1
償還金、利子 及び割引料	20,668,396	21,319,884	△ 651,488	△ 3.1	9.1
繰 出 金	10,762,638	10,113,056	649,582	6.4	4.7
そ の 他	8,371,080	7,610,990	760,090	10.0	3.7
計	227,594,777	178,196,644	49,398,133	27.7	100.0

ウ 款別の状況

(ア) 款別の歳出状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

款	2 年 度	元 年 度	増 減		構 成 比 率	
			金 額	比 率	2 年 度	元 年 度
1 議 会 費	841,017	883,434	△ 42,417	△ 4.8	0.4	0.5
2 総 務 費	58,840,893	18,767,031	40,073,862	213.5	25.9	10.5
3 民 生 費	67,912,552	63,967,417	3,945,135	6.2	29.8	35.9
4 衛 生 費	17,286,630	17,930,142	△ 643,512	△ 3.6	7.6	10.1
5 労 働 費	293,552	215,102	78,450	36.5	0.1	0.1
6 農 林 水 産 業 費	2,920,763	2,839,810	80,953	2.9	1.3	1.6
7 商 工 費	5,804,831	3,670,506	2,134,325	58.1	2.5	2.1
8 土 木 費	22,246,927	22,699,250	△ 452,323	△ 2.0	9.8	12.7
9 消 防 費	5,014,452	5,258,052	△ 243,600	△ 4.6	2.2	3.0
10 教 育 費	25,772,675	20,955,849	4,816,826	23.0	11.3	11.8
11 災 害 復 旧 費	117,359	215,141	△ 97,782	△ 45.5	0.1	0.1
12 公 債 費	19,875,749	20,747,536	△ 871,787	△ 4.2	8.7	11.6
13 諸 支 出 金	667,377	47,374	620,003	1,308.7	0.3	0.0
計	227,594,777	178,196,644	49,398,133	27.7	100.0	100.0

(イ) 主な款別決算額の推移は、次のとおりである。

(単位：千円)

年度 款	2 8 年 度	2 9 年 度	3 0 年 度	元 年 度	2 年 度
総 務 費	(12,263,450) 14,499,669	12,328,256	17,858,695	18,767,031	58,840,893
民 生 費	60,551,271	62,327,253	61,711,711	63,967,417	67,912,552
衛 生 費	17,983,262	19,085,115	19,732,005	17,930,142	17,286,630
商 工 費	(3,380,742) 4,710,742	2,940,148	2,819,556	3,670,506	5,804,831
土 木 費	23,289,325	21,452,948	22,409,609	22,699,250	22,246,927
教 育 費	21,330,843	21,122,669	(20,069,382) 20,569,382	20,955,849	25,772,675
公 債 費	(25,940,655) 26,600,655	25,776,635	22,041,185	20,747,536	19,875,749
そ の 他	9,415,044	(9,296,519) 12,896,519	10,889,329	9,458,913	9,854,520
計	(174,154,592) 178,380,811	(174,329,543) 177,929,543	(177,531,472) 178,031,472	178,196,644	227,594,777

(注) () 書きは、平成28年度は特別会計からの用地買戻し等、平成29年度及び平成30年度は基金の再編分を除いた実質金額である。

(ウ) 各款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 議 会 費

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
議 会 費	884,869	841,017	95.0	-	43,852

a 支出済額を前年度と比べると、4,241万7千円(4.8%)減少している。

b 主な事務事業は、次のとおりである。

	2 年 度	元 年 度
会議費	5,539万7千円	5,340万1千円
調査費	7,668万1千円	1億 15万9千円

第2款 総 務 費

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
総 務 管 理 費	56,164,302	55,672,047	99.1	88,454	403,801
徴 税 費	1,642,747	1,582,761	96.3	-	59,986
戸籍住民基本台帳費	1,334,419	1,178,489	88.3	16,300	139,630
選 挙 費	56,172	55,027	98.0	-	1,145
統 計 調 査 費	266,147	252,179	94.8	-	13,968
監 査 委 員 費	101,853	100,390	98.6	-	1,463
計	59,565,640	58,840,893	98.8	104,754	619,993

a 支出済額を前年度と比べると、400億7,386万2千円(213.5%)増加しており、その主な内訳では総務管理費が399億8,510万8千円(254.9%)増加している。

なお、総務管理費では、特別定額給付金事業費が452億7,837万8千円(皆増)増加し、庁舎等整備再編費が39億5,950万7千円(皆減)、東京国立近代美術館工芸館移転整備費が7億3,711万円(皆減)減少している。

b 主な事務事業は、次のとおりである。

総務管理費	2 年 度	元 年 度
退職手当	9億1,801万8千円	10億3,123万5千円
庁舎等整備再編費	-	39億5,950万7千円
先行取得用地再取得費	1億8,615万3千円	6,472万3千円

公共用地先行取得事業費 特別会計繰出金	2億7,652万5千円	2億8,045万2千円
交流拠点都市推進費	1億2,372万5千円	1億2,061万6千円
建築文化発信事業費	448万3千円	2億3,822万9千円
東京国立近代美術館工芸館 移転整備費	—	7億3,711万円
情報システム管理費	8億5,718万7千円	10億2,374万9千円
都市交通対策費	5億4,531万円	5億1,515万6千円
文化の人づくり基金積立金	1億1,892万2千円	7,885万8千円
卯辰山工芸工房リニューアル事業費	—	4億6,919万6千円
文化スポーツ施設再整備 積立基金積立金	4億 20万7千円	8億9,996万1千円
特別定額給付金事業費	452億7,837万8千円	—
選挙費	5,502万7千円	4億 611万4千円

なお、退職手当の推移は、次のとおりである。

(単位：人・千円)

(単位：人・万円)

区 分		2 8 年 度		2 9 年 度		3 0 年 度		元 年 度		2 年 度	
		人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
2 款 総務費	早期募集	9	1,454,296	7	1,027,797	16	1,290,466	10	1,031,235	9	918,018
	定 年	68		46		51		44		41	
	自己都合	20		20		24		28		13	
	そ の 他	3		4		5		2		5	
9 款 消防費	早期募集	－	365,657	1	361,127	－	175,818	1	219,160	1	474,467
	定 年	16		15		8		9		20	
	自己都合	2		2		1		2		3	
	そ の 他	－		－		－		－		－	
10 款 教育費	早期募集	－	24,738	－	68,648	－	90,982	－	23,708	－	71,079
	定 年	1		3		4		0		3	
	自己都合	1		1		－		1		4	
	そ の 他	－		－		－		1		－	
合 計	早期募集	9	1,844,691	8	1,457,572	16	1,557,266	11	1,274,103	10	1,463,564
	定 年	85		64		63		53		64	
	自己都合	23		23		25		31		20	
	そ の 他	3		4		5		3		5	
	計	120		99		109		98		99	

第3款 民 生 費

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
社 会 福 祉 費	14,715,845	14,185,465	96.4	308,426	221,954
老 人 福 祉 費	13,663,415	13,306,054	97.4	159,270	198,091
児 童 福 祉 費	33,443,490	32,463,512	97.1	541,887	438,091
生 活 保 護 費	8,232,207	7,957,521	96.7	—	274,686
計	70,054,957	67,912,552	96.9	1,009,583	1,132,822

- a 支出済額を前年度と比べると、39億4,513万5千円(6.2%)増加しており、その主な内訳では児童福祉費が31億1,754万8千円(10.6%)増加している。

なお、児童福祉費では、私立保育所等費が15億6,378万円(9.9%)、子育て世帯応援給付金事業費が5億9,178万3千円(皆増)、子育て世帯国臨時特別給付金事業費が5億6,758万7千円(皆増)増加している。

- b 主な事務事業は、次のとおりである。

社会福祉費	2 年 度	元 年 度
障害者自立支援給付費	101億1,332万4千円	96億9,066万3千円
心身障害者医療助成費	15億 618万9千円	13億7,268万7千円
老人福祉費		
後期高齢者医療広域連合医療費負担金	45億2,125万4千円	45億9,045万円
後期高齢者医療費特別会計繰出金	12億7,015万3千円	12億2,805万9千円
介護保険費特別会計繰出金	55億7,775万9千円	53億1,812万2千円
児童福祉費		
児童手当	67億8,779万円	69億5,996万円
児童扶養手当	13億 293万円	17億2,230万6千円
児童保護措置費	8億6,604万6千円	8億2,396万2千円
子育て世帯国臨時特別給付金事業費	5億6,758万7千円	—
子育て世帯応援給付金事業費	5億9,178万3千円	—
ひとり親世帯国臨時特別給付金事業費	5億5,309万6千円	—
私立保育所等運営費	145億6,690万9千円	133億4,120万7千円
私立保育所等運営費補助	10億9,449万2千円	11億 287万4千円
私立保育所等施設整備費補助	10億3,872万5千円	10億 313万1千円
生活保護費		
生活保護扶助費	73億8,874万3千円	76億8,571万5千円

なお、生活保護扶助費の推移は、次のとおりである。

区 分	単位	2 8 年 度	2 9 年 度	3 0 年 度	元 年 度	2 年 度
世 帯 数	世帯	3,692	3,683	3,592	3,552	3,529
人 員	人	4,406	4,341	4,222	4,137	4,062
保 護 率	‰	9.45	9.32	9.08	8.92	8.77
生 活 扶 助	延人員	45,122	44,215	42,799	41,686	40,561
	金 額	2,481,303	2,359,180	2,145,680	2,043,732	1,980,335
医 療 扶 助	延人員	44,219	44,206	42,866	41,777	39,971
	金 額	4,353,763	4,388,927	4,205,728	4,090,903	3,885,642
そ の 他 扶 助	延人員	55,827	56,062	54,865	53,973	53,566
	金 額	1,628,471	1,619,249	1,570,354	1,551,080	1,522,766
扶 助 費 合 計	千円	8,463,537	8,367,356	7,921,762	7,685,715	7,388,743

(注) 1 世帯数、人員及び保護率は、年度平均値である。

2 ‰は、千分率である。

第4款 衛生費

(単位：千円・%)

項	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
保健衛生費	12,578,415	10,355,722	82.3	1,736,525	486,168
環境衛生費	1,402,159	1,179,671	84.1	144,700	77,788
清掃費	6,051,974	5,751,237	95.0	161,908	138,829
計	20,032,548	17,286,630	86.3	2,043,133	702,785

a 支出済額を前年度と比べると、6億4,351万2千円(3.6%)減少しており、その内訳は次のとおりである。

清掃費	△ 9億7,936万8千円
環境衛生費	△ 1億9,229万3千円
保健衛生費	5億2,814万9千円

なお、清掃費では、次期廃棄物埋立場建設関連事業費が12億4,500万6千円(81.5%)減少し、ごみ減量化・資源化推進費が5,087万9千円(15.5%)増加し、環境衛生費では、上水道未普及地域解消事業費が2億5,456万6千円(皆減)減少し、水道事業特別会計出資金が1億2,387万7千円(17,696.7%)増加し、保健衛生費では、泉野福祉健康センター改築事業費が2億5,970万2千円(皆増)、感染症患者医療給付費が1億4,912万3千円(皆増)増加している。

b 主な事務事業は、次のとおりである。

	2年度	元年度
保健衛生費		
金沢広域急病センター運営費	1億1,104万6千円	1億 391万4千円
健康診査費(母子、成人)	12億5,018万7千円	14億 353万5千円
子育て支援医療助成費	9億6,073万7千円	12億6,194万3千円
泉野福祉健康センター改築事業費	2億5,970万2千円	—
国民健康保険費特別会計繰出金	30億6,901万5千円	31億3,194万4千円
環境衛生費		
上水道未普及地域解消事業費	—	2億5,456万6千円
水道事業特別会計出資金	1億2,457万7千円	70万円
墓地費	1億2,609万円	9,939万1千円
清掃費		
ごみ減量化・資源化推進費	3億7,940万7千円	3億2,852万8千円
定期ごみ収集費	11億5,623万2千円	11億1,852万9千円
次期廃棄物埋立場建設関連事業費	2億8,274万6千円	15億2,775万2千円

第5款 労働費

(単位：千円・%)

項	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
労働福祉費	334,687	293,552	87.7	12,400	28,735

a 支出済額を前年度と比べると、7,845万円(36.5%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

中小企業緊急雇用安定助成費	3,260万6千円(皆増)
中小企業テレワーク導入支援事業費	1,805万円(皆増)

b 主な事務事業は、次のとおりである。

	2年度	元年度
キャリアアップ促進奨励金	970万円	1,745万円
中高年・高年齢者雇用対策費	1,260万3千円	2,189万2千円
障害者雇用対策費	2,456万6千円	2,229万円
中小企業緊急雇用安定助成費	3,260万6千円	—
中小企業テレワーク導入支援事業費	1,805万円	—

第6款 農林水産業費

(単位：千円・%)

項	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
農業費	2,263,663	2,035,030	89.9	91,381	137,252
林業費	1,038,138	856,052	82.5	165,739	16,347
水産業費	31,568	29,681	94.0	—	1,887
計	3,333,369	2,920,763	87.6	257,120	155,486

a 支出済額を前年度と比べると、8,095万3千円(2.9%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

林業費	5,082万円(6.3%)
農業費	1,941万8千円(1.0%)

なお、林業費では、森林経営管理制度推進費が3,286万2千円(123.1%)、森林・林業基盤整備費が2,482万9千円(9.1%)増加し、農業費では、下水道事業特別会計負担金が9,211万6千円(48.9%)、県営土地改良事業費負担金が3,712万4千円(121.3%)増加し、下水道事業特別会計出資金が9,670万7千円(49.4%)減少している。

b 主な事務事業は、次のとおりである。

	2 年 度	元 年 度
農業費		
農業生産振興対策費	1億4,837万2千円	1億4,885万8千円
市単土地改良事業費	1億2,710万円	1億2,960万6千円
下水道事業特別会計負担金	2億8,063万9千円	1億8,852万3千円
下水道事業特別会計出資金	9,893万2千円	1億9,563万9千円
林業費		
森づくり推進費	1億5,970万1千円	1億6,873万3千円
森林・林業基盤整備費	2億9,912万3千円	2億7,429万4千円

第7款 商 工 費

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
商 工 費	7,634,036	5,804,831	76.0	711,808	1,117,397

a 支出済額を前年度と比べると、21億3,432万5千円(58.1%)増加しており、その主な内訳では五感にごちそう金沢宿泊キャンペーン事業費が7億7,967万9千円(皆増)、金沢未来のまち創造館整備事業費が5億8,821万2千円(皆増)、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金負担金が5億6,955万円(皆増)増加している。

b 主な事務事業は、次のとおりである。	2 年 度	元 年 度
中央卸売市場事業特別会計補助金	3億1,119万3千円	3億1,931万9千円
プレミアム付商品券事業費	—	3億8,333万7千円
商店街振興費	1億1,188万9千円	1億8,882万5千円
新型コロナウイルス感染拡大防止協力金負担金	5億6,955万円	—
金沢の元気回復商品券支援事業費	2億7,961万9千円	—
金沢未来のまち創造館整備事業費	5億8,821万2千円	—
クラフト創造都市推進費	1億7,163万6千円	1億8,088万3千円
企業立地助成費	9,800万円	3億8,774万円
工業団地造成事業費特別会計繰出金	5億2,665万2千円	1億5,346万円
受入環境整備費	1億8,667万4千円	2億3,947万1千円
観光行事費	3,436万6千円	1億2,334万8千円
宿泊施設魅力向上等奨励事業費	1億4,670万7千円	—
宿泊施設環境向上等奨励事業費	1億2,566万1千円	—
五感にごちそう金沢宿泊キャンペーン事業費	7億7,967万9千円	—

第8款 土 木 費

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
土 木 管 理 費	899,489	849,564	94.4	20,321	29,604
道 路 橋 り ょ う 費	9,583,299	7,270,953	75.9	2,271,466	40,880
河 川 費	1,483,353	1,181,283	79.6	280,519	21,551
港 湾 費	1,085,812	1,002,161	92.3	71,465	12,186
都 市 計 画 費	12,803,508	11,071,926	86.5	1,540,407	191,175
住 宅 費	901,694	871,040	96.6	20,200	10,454
計	26,757,155	22,246,927	83.1	4,204,378	305,850

a 支出済額を前年度と比べると、4億5,232万3千円(2.0%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

港湾費	△ 9億6,565万8千円(△ 49.1%)
都市計画費	△ 2億4,991万6千円(△ 2.2%)
住宅費	△ 1億7,252万4千円(△ 16.5%)
道路橋りょう費	10億6,758万2千円(17.2%)

なお、港湾費では、改修事業費負担金が10億2,128万2千円(82.8%)減少し、都市計画費では、近江町市場暮らし・にぎわい再生事業費が4億5,816万円(皆減)、金沢駅西広場周辺歩行環境整備事業費が3億684万円(63.7%)減少し、市民野球場再整備事業費が5億882万7千円(皆増)増加し、住宅費では、緑住宅建設事業費が1億9,378万円(166.0%)増加し、道路橋りょう費では、克雪対策費が8億2,027万2千円(185.1%)増加している。

b 主な事務事業は、次のとおりである。

	2 年 度	元 年 度
道路橋りょう費		
道路補修費	12億2,294万6千円	11億2,909万9千円
克雪対策費	12億6,332万4千円	4億4,305万2千円
道路管理費	5億 388万3千円	4億8,925万8千円
無電柱化推進事業費	3億2,963万3千円	4億8,294万2千円
補助道路新設改良事業費 (大浦・千木町線など)	25億2,841万円	23億9,712万3千円
河川費		
都市基盤河川改修事業費 (大宮川、弓取川、木曳川など)	4億 564万5千円	5億4,585万8千円
港湾費		
建設事業費負担金	7億8,810万7千円	7億3,221万3千円
改修事業費負担金	2億1,239万7千円	12億3,367万9千円

都市計画費

金沢駅西広場周辺歩行環境整備事業費	1億7,483万7千円	4億8,167万7千円
森本駅周辺整備事業費	1億8,870万円	1億5,139万円
街路新設改良費 (泉野々市線、北安江出雲線など)	3億6,346万8千円	4億2,814万6千円
金沢駅武蔵南地区市街地再開発事業費	5億4,743万8千円	1億1,018万4千円
近江町市場暮らし・にぎわい再生事業費	—	4億5,816万円
下水道事業特別会計負担金	48億5,553万6千円	51億4,494万6千円
下水道事業特別会計出資金	9億4,222万円	8億7,162万円
市民野球場再整備事業費	5億 882万7千円	—
公園新設改良費 (城北市民運動公園など)	5億5,624万8千円	4億4,563万1千円

住宅費

緑住宅建設事業費	3億1,048万7千円	1億1,670万7千円
市営住宅長寿命化型改善事業費	6,930万5千円	1億5,439万4千円

第9款 消 防 費

(単位：千円・%)

項	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
消 防 費	5,152,221	5,014,452	97.3	72,400	65,369

- a 支出済額を前年度と比べると、2億4,360万円(4.6%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

中央消防署小立野出張所建設事業費	△ 3億2,520万1千円(皆 減)
避難所感染症防止対策費	1億2,124万5千円(皆 増)

- b 主な事務事業は、次のとおりである。

	2 年 度	元 年 度
消防機械整備事業費	1億5,565万円	2億 44万2千円
中央消防署小立野出張所建設事業費	—	3億2,520万1千円
総合防災対策費 (維持管理費など)	1億3,796万円	3億5,749万2千円
防災情報システム構築費	—	1億9,420万9千円
避難所感染症防止対策費	1億2,124万5千円	—

第10款 教育費

(単位：千円・%)

項	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
教育総務費	5,250,609	4,445,072	84.7	3,741	801,796
小学校費	6,742,035	5,373,909	79.7	1,153,977	214,149
中学校費	4,111,011	2,149,333	52.3	1,760,723	200,955
高等学校費	873,870	802,410	91.8	48,300	23,160
大学費	5,540,892	3,816,491	68.9	1,716,000	8,401
社会教育費	6,333,357	5,688,693	89.8	486,870	157,794
保健体育費	3,693,252	3,496,767	94.7	56,181	140,304
計	32,545,026	25,772,675	79.2	5,225,792	1,546,559

a 支出済額を前年度と比べると、48億1,682万6千円(23.0%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

大学費	27億6,265万4千円(262.2%)
教育総務費	21億6,466万3千円(94.9%)

なお、大学費では、金沢美術工芸大学移転整備事業費が28億941万3千円(2,529.5%)増加し、教育総務費では、小中学校ICT教育環境整備事業費が19億2,010万5千円(皆増)増加している。

b 主な事務事業は、次のとおりである。

教育総務費	2年度	元年度
小中学校ICT教育環境整備事業費	19億2,010万5千円	—
私立幼稚園振興費	7億7,520万2千円	6億7,620万5千円
小学校費		
森山町小学校改築事業費	1億7,816万3千円	18億3,091万9千円
中央小学校移転整備事業費	4億5,564万3千円	1億7,959万6千円
犀桜小学校建設事業費	5億4,487万6千円	1億7,395万3千円
施設改良事業費	19億4,173万4千円	18億630万7千円
中学校費		
泉中学校建設事業費	3億5,439万1千円	10億2,907万9千円
施設改良事業費	5億6,221万5千円	8,121万8千円
大学費		
公立大学法人金沢美術工芸大学運営費交付金	8億4,251万5千円	8億9,834万2千円
金沢美術工芸大学移転整備事業費	29億2,047万8千円	1億1,106万5千円
社会教育費		
埋蔵文化財保護費	2億3,154万2千円	1億5,968万9千円
玉川こども図書館再整備事業費	4億1,263万2千円	1億8,244万2千円
金沢21世紀美術館運営費	6億8,083万3千円	5億5,994万6千円

保健体育費

金沢マラソン開催費	7,000万円	9,000万円
金沢南総合運動公園再整備事業費	—	4億5,132万4千円
体育施設整備費 (陸上競技場など)	4億5,300万1千円	1億2,498万9千円

第11款 災害復旧費

(単位：千円・%)

項	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
災害復旧費	219,997	117,359	53.3	18,827	83,811

a 支出済額を前年度と比べると、9,778万2千円(45.5%)減少しており、その主な内訳では土木施設災害復旧費が8,930万3千円(57.9%)減少している。

b 主な事務事業は、次のとおりである。	2年度	元年度
農林業施設災害復旧費	1,257万6千円	2,917万2千円
土木施設災害復旧費	6,482万6千円	1億5,412万9千円

第12款 公債費

(単位：千円・%)

項	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
公債費	19,908,780	19,875,749	99.8	—	33,031

a 支出済額の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分		2年度	元年度	増 減	
				金 額	比 率
地方債償還元金		18,771,185	19,410,809	△ 639,624	△ 3.3
元金の 内訳	定時償還	18,769,895	18,859,657	△ 89,762	△ 0.5
	繰上償還(縁故債)	—	551,000	△ 551,000	△ 100.0
	繰上償還(公有林整備事業債)	1,290	152	1,138	748.7
地方債利子		1,102,532	1,333,626	△ 231,094	△ 17.3
一時借入金利子		2,032	3,101	△ 1,069	△ 34.5
合 計		19,875,749	20,747,536	△ 871,787	△ 4.2

第13款 諸支出金

(単位：千円・%)

項	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
公営事業費	43,407	41,800	96.3	-	1,607
基金費	633,860	625,577	98.7	-	8,283
計	677,267	667,377	98.5	-	9,890

a 支出済額を前年度と比べると、6億2,000万3千円(1,308.7%)増加しており、その主な内訳では基金費が6億1,883万円(9,171.9%)増加している。

b 主な事務事業は、次のとおりである。

公営事業費	2年度	元年度
ガス事業特別会計補助金	4,039万2千円	3,904万3千円
発電事業特別会計補助金	140万8千円	158万4千円
基金費		
財政調整基金積立金	15万6千円	30万4千円
市営地方競馬事業益金積立基金積立金	2,382万5千円	278万9千円
まちづくり事業基金積立金	130万7千円	327万7千円
教育福祉施設等再整備積立基金積立金	6億 29万円	31万6千円

エ 翌年度繰越額の状況

(7) 翌年度繰越額の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区分	2年度	元年度	増	減
			金額	比率
翌年度繰越額	13,660,195	8,559,908	5,100,287	59.6
繰越明許費	13,660,195	8,559,908	5,100,287	59.6

(イ) 繰越明許費の内容は、次のとおりである。

(単位：千円)

款	項	名 称	金 額	事 業 内 容	
2	1	総務管理費	88,454	一 般 管 理 事 業 (物品・役務契約電子入札システム導入費)	14,602
				文 書 広 報 事 業 (公文書館整備事業費)	29,852
				交 通 対 策 事 業 (鉄道施設整備支援費)	44,000
	3	戸籍住民基本台帳費	16,300	戸籍住民基本台帳事業 (個人番号カード交付事務費など)	16,300
3	1	社会福祉費	308,426	障 害 者 福 祉 事 業 (社会福祉施設等施設整備費補助事業)	283,766
				社 会 福 祉 施 設 事 業 (障害者高齢者体育館空調設備改修事業)	24,660
	2	老人福祉費	159,270	老 人 施 設 福 祉 事 業 (地域密着型サービス等基盤整備事業)	159,270
	3	児童福祉費	541,887	児 童 福 祉 総 務 事 業 (私立児童養護施設改修費等補助)	533,719
				児 童 厚 生 施 設 事 業 (諸江児童館建設事業費・芳斉児童館建設事業費)	8,168
4	1	保健衛生費	1,736,525	予 防 事 業 (新型コロナウイルスワクチン接種費)	1,536,525
				保 健 所 ・ 福 祉 健 康 セ ン タ ー 事 業 (泉野福祉健康センター施設設備整備費)	200,000
	2	環境衛生費	144,700	環 境 衛 生 総 務 事 業 (水道事業特別会計出資金)	144,700
	3	清掃費	161,908	ご み 収 集 事 業 (東部リサイクルプラザ金属圧縮機更新工事)	54,230
				ご み 処 理 事 業 (埋立場周辺地域整備事業など)	98,971
				清 掃 施 設 建 設 事 業 (次期埋立場建設事業)	8,707
5	1	労働福祉費	12,400	労 働 福 祉 事 業 (金沢市中小企業緊急雇用安定助成金など)	12,400
6	1	農業費	91,381	農 業 振 興 事 業 (大雪被害パイプハウス等復旧事業費)	6,301
				農 地 事 業 (農山村連絡農道整備事業費など)	85,080
	2	林業費	165,739	森 林 ・ 林 業 事 業 (市道瀬下谷線整備事業)	165,739
7	1	商工費	711,808	商 業 振 興 事 業 (飲食事業継続特別支援給付金事業費)	185,160
				工 業 振 興 事 業 (価値創造拠点施設整備事業)	444,309
				観 光 事 業 (宿泊施設環境向上等奨励事業費など)	82,339
8	1	土木管理費	20,321	土 木 総 務 事 業 (急傾斜地崩壊対策事業費)	20,321
	2	道路橋りょう費	2,271,466	道 路 維 持 事 業 (もてなしドーム大屋根ガラス保守施設設置事業など)	188,838
				道 路 新 設 改 良 事 業 (大浦千木町線道路築造工事など)	1,823,790
				交 通 安 全 施 設 整 備 事 業 (補助踏切道整備事業など)	258,838
	3	河川費	280,519	河 川 維 持 事 業 (内水管理強化対策事業費など)	17,190
				河 川 改 良 事 業 (大宮河川改修事業費など)	263,329
	4	港湾費	71,465	港 湾 事 業 (金沢港補助建設事業費負担金など)	71,465
	5	都市計画費	1,540,407	土 地 区 画 整 理 事 業 (組合施行土地区画整理県営事業)	80,872
				街 路 事 業 (橋梁予備設計業務委託など)	283,207
				都 市 再 開 発 事 業 (金沢駅武蔵南地区市街地再開発事業など)	341,570
				公 園 事 業 (城北市民運動公園整備事業費など)	834,758
	6	住宅費	20,200	住 宅 建 設 事 業 (上荒屋住宅16棟外壁改善工事)	20,200
9	1	消防費	72,400	常 備 消 防 事 業 (消防車両購入費)	36,700
				災 害 対 策 事 業 (感染症対策用資機材追加配備費)	35,700
10	1	教育総務費	3,741	教 育 指 導 事 業 (特別支援教育サポートセンター(仮称)整備事業費)	3,741
	2	小学校費	1,153,977	学 校 管 理 事 業 (小学校再開支援事業費)	66,000
				学 校 建 設 事 業 (中央小学校移転整備事業費など)	1,087,977
	3	中学校費	1,760,723	学 校 管 理 事 業 (中学校再開支援事業費)	32,400
				学 校 建 設 事 業 (中学校空調整備費など)	1,728,323
	4	高等学校費	48,300	高 等 学 校 管 理 事 業 (感染防止特別対策費)	1,500
				教 育 振 興 事 業 (産業教育備品整備費)	46,800
	5	大学費	1,716,000	美 術 工 芸 大 学 事 業 (金沢美術工芸大学移転整備事業)	1,716,000
	6	社会教育費	486,870	文 化 財 保 護 事 業 (市指定文化財等修理事業費補助)	86,400
				公 民 館 事 業 (芳斉公民館整備事業費)	2,714
				図 書 館 事 業 (玉川こども図書館再整備事業費)	397,756
	7	保健体育費	56,181	学 校 給 食 事 業 (共同調理場施設改良事業費など)	56,181
11	1	災害復旧費	18,827	土 木 施 設 災 害 復 旧 事 業 (現年補助道路災害復旧事業)	18,827
計			13,660,195		

3 特 別 会 計

(1) 会計別決算状況

(単位：千円)

会 計 別	2 年度決算額		形式収支	翌年度へ繰越すべき財源 (D)	実質収支	単年度収支
	歳 入 (A)	歳 出 (B)	(A) - (B) = (C)		(C) - (D)	
市営地方競馬事業費	4,448,316	4,334,600	113,716	-	113,716	89,977
市街地再開発事業費	32,967	32,967	0	-	0	0
公共用地先行取得事業費	2,474,769	2,474,769	0	-	0	0
工業団地造成事業費	878,390	541,629	336,761	336,761	0	0
住宅団地建設事業費	121,848	121,848	0	-	0	0
駐 車 場 事 業 費	199,600	199,600	0	-	0	0
国 民 健 康 保 険 費	43,772,247	43,527,462	244,785	-	244,785	45,026
後期高齢者医療費	6,435,206	6,426,493	8,713	-	8,713	△ 2,925
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	60,710	6,626	54,084	-	54,084	22,730
介 護 保 険 費	39,852,660	38,904,175	948,485	-	948,485	70,547
計	98,276,713	96,570,169	1,706,544	336,761	1,369,783	225,355

ア 歳 入

(単位：千円・%)

会 計 別	2 年 度	元 年 度	増 減	
			金 額	比 率
市 営 地 方 競 馬 事 業 費	4,448,316	3,103,596	1,344,720	43.3
市 街 地 再 開 発 事 業 費	32,967	31,825	1,142	3.6
公 共 用 地 先 行 取 得 事 業 費	2,474,769	465,786	2,008,983	431.3
工 業 団 地 造 成 事 業 費	878,390	4,838,661	△ 3,960,271	△ 81.8
住 宅 団 地 建 設 事 業 費	121,848	219,808	△ 97,960	△ 44.6
駐 車 場 事 業 費	199,600	238,203	△ 38,603	△ 16.2
国 民 健 康 保 険 費	43,772,247	45,357,465	△ 1,585,218	△ 3.5
後 期 高 齢 者 医 療 費	6,435,206	6,281,328	153,878	2.4
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 費	60,710	44,359	16,351	36.9
介 護 保 険 費	39,852,660	39,421,030	431,630	1.1
計	98,276,713	100,002,061	△ 1,725,348	△ 1.7

(2) 会計別の一般会計繰入金・繰出金の状況とこれを除く収支純差引額

会 計 別	歳 入		
	決算額(A)	うち繰入金(B)	(A)-(B)=(C)
市 営 地 方 競 馬 事 業 費	4,448,316	-	4,448,316
市 街 地 再 開 発 事 業 費	32,967	7,499	25,468
公 共 用 地 先 行 取 得 事 業 費	2,474,769	278,354	2,196,415
工 業 団 地 造 成 事 業 費	878,390	526,652	351,738
住 宅 団 地 建 設 事 業 費	121,848	-	121,848
駐 車 場 事 業 費	199,600	33,206	166,394
国 民 健 康 保 険 費	43,772,247	3,069,015	40,703,232
後 期 高 齢 者 医 療 費	6,435,206	1,270,153	5,165,053
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 費	60,710	-	60,710
介 護 保 険 費	39,852,660	5,577,759	34,274,901
計	98,276,713	10,762,638	87,514,075

イ 歳 出

(単位：千円・%)

会 計 別	2 年 度	元 年 度	増 減	
			金 額	比 率
市 営 地 方 競 馬 事 業 費	4,334,600	3,079,857	1,254,743	40.7
市 街 地 再 開 発 事 業 費	32,967	31,825	1,142	3.6
公 共 用 地 先 行 取 得 事 業 費	2,474,769	465,786	2,008,983	431.3
工 業 団 地 造 成 事 業 費	541,629	4,793,523	△ 4,251,894	△ 88.7
住 宅 団 地 建 設 事 業 費	121,848	219,808	△ 97,960	△ 44.6
駐 車 場 事 業 費	199,600	238,203	△ 38,603	△ 16.2
国 民 健 康 保 険 費	43,527,462	45,157,706	△ 1,630,244	△ 3.6
後 期 高 齢 者 医 療 費	6,426,493	6,269,690	156,803	2.5
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 費	6,626	13,005	△ 6,379	△ 49.1
介 護 保 険 費	38,904,175	38,543,092	361,083	0.9
計	96,570,169	98,812,495	△ 2,242,326	△ 2.3

(単位：千円)

歳 出			形 式 収 支 (A)-(D)	純 差 引 額 (C)-(F)
決算額(D)	うち繰出金(E)	(D)-(E)=(F)		
4,334,600	23,739	4,310,861	113,716	137,455
32,967	-	32,967	0	△ 7,499
2,474,769	19,459	2,455,310	0	△ 258,895
541,629	-	541,629	336,761	△ 189,891
121,848	82,770	39,078	0	82,770
199,600	5,522	194,078	0	△ 27,684
43,527,462	-	43,527,462	244,785	△ 2,824,230
6,426,493	-	6,426,493	8,713	△ 1,261,440
6,626	-	6,626	54,084	54,084
38,904,175	-	38,904,175	948,485	△ 4,629,274
96,570,169	131,490	96,438,679	1,706,544	△ 8,924,604

(3) 各会計別の決算状況

ア 市営地方競馬事業費特別会計

(単位：千円・%)

歳	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	執 行 率	予 算 現 額 に 対 する 増 減
入	事 業 収 入	4,408,300	4,408,226	-	100.0	△ 74
	繰 越 金	23,740	23,739	-	100.0	△ 1
	諸 収 入	25,320	16,351	-	64.6	△ 8,969
	計 (A)	4,457,360	4,448,316	-	99.8	△ 9,044
歳	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	執 行 率	不 用 額
出	競 馬 事 業 費 (B)	4,457,360	4,334,600	-	97.2	122,760
	うち繰出金	23,740	23,739	-	100.0	1
形 式 収 支 (A)-(B)		113,716				
実 質 収 支		113,716				

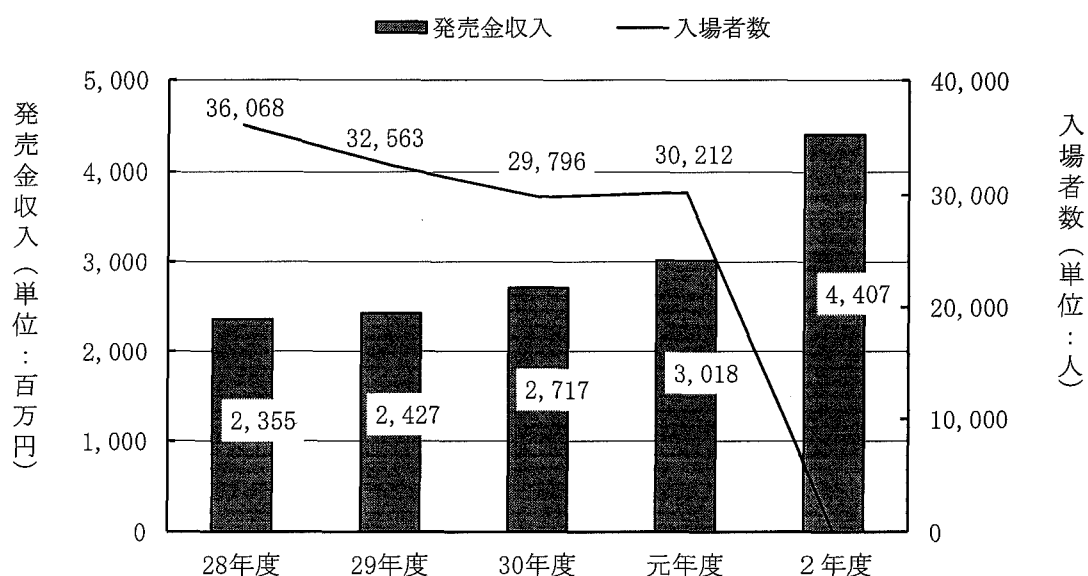
(ア) 収入済額を前年度と比べると、13億4,472万円(43.3%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

勝馬投票券発売金収入 13億8,906万3千円(46.0%)
 雑入 △ 6,245万8千円(△ 79.3%)

(イ) 支出済額を前年度と比べると、12億5,474万3千円(40.7%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

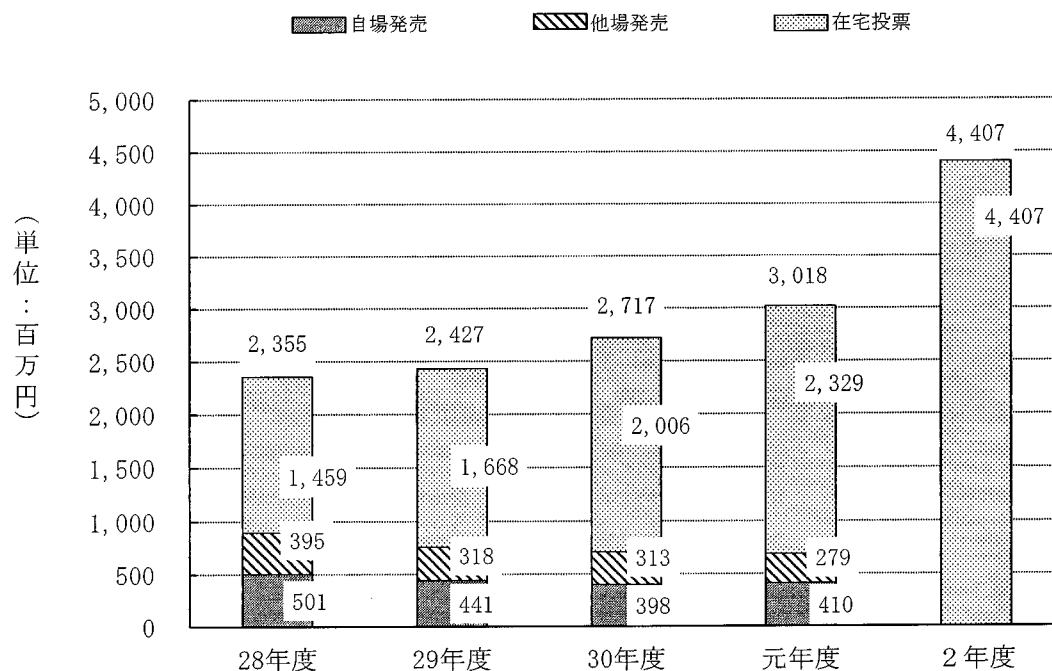
勝馬投票券払戻金 10億2,679万4千円(46.2%)
 競馬一般管理費 1億7,254万5千円(42.5%)

(ウ) 勝馬投票券発売金収入及び入場者数の推移は、次のとおりである。



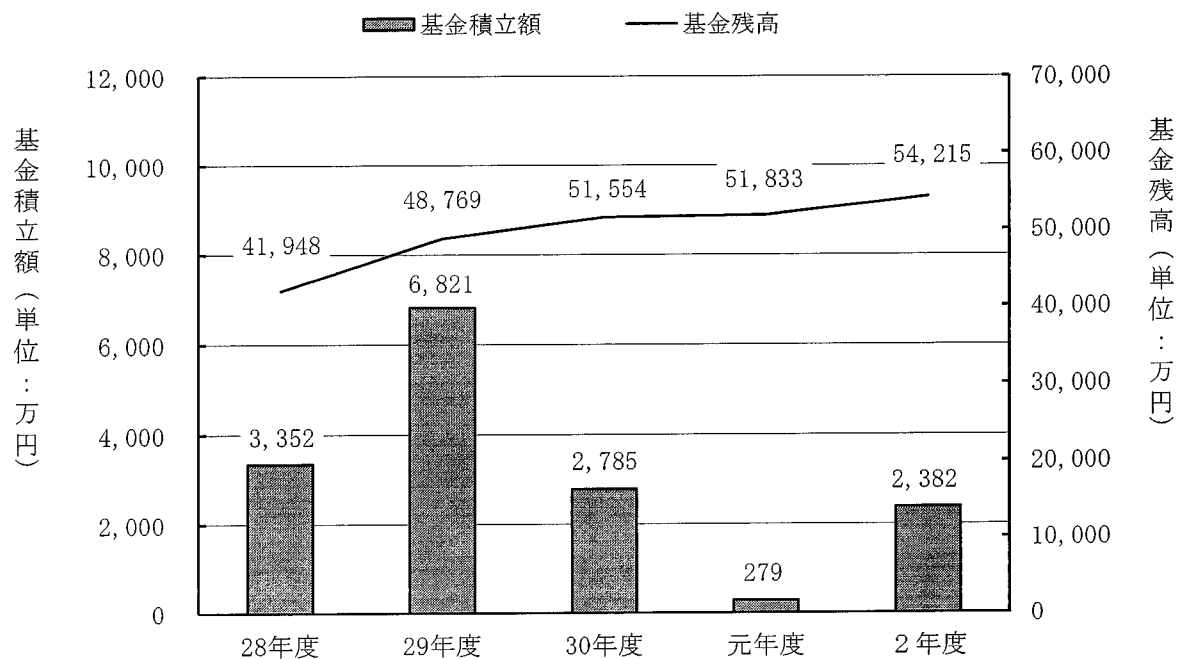
(注) 本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客で開催している。

なお、勝馬投票券発売金収入の状況は、次のとおりである。



(注) 本年度は、無観客開催のため自場発売及び他場発売はない。

(エ) 基金積立額と基金残高の推移は、次のとおりである。



イ 市街地再開発事業費特別会計

(単位：千円・%)

	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	執 行 率	予 算 現 額 に 対 する 増 減
歳 入	財 産 収 入	29,470	22,968	-	77.9	△ 6,502
	繰 入 金	5,517	7,499	-	135.9	1,982
	諸 収 入	-	2,500	-	-	2,500
	計 (A)	34,987	32,967	-	94.2	△ 2,020
歳 出	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	執 行 率	不 用 額
	市街地再開発事業費 (B)	34,987	32,967	-	94.2	2,020
形 式 収 支 (A)-(B)		0				
実 質 収 支		0				

(ア) 収入済額を前年度と比べると、114万2千円(3.6%)増加しており、内訳は次のとおりである。

一般会計繰入金	731万6千円(4,014.8%)
雑入	△ 109万4千円(△ 30.4%)
財産貸付収入	△ 508万円 (△ 18.1%)

(イ) 支出済額を前年度と比べると、114万2千円(3.6%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

金沢駅武蔵北地区第五工区 保留床処分事業費	134万1千円(18.6%)
金沢駅武蔵北地区第一工区 保留床処分事業費	55万4千円(5.0%)
一般経費	48万3千円(47.9%)
公債費	△ 127万9千円(△ 22.4%)

(ウ) 主な事務事業は、次のとおりである。

	2 年 度	元 年 度
金沢駅武蔵北地区第一工区 保留床処分事業費	1,153万3千円	1,097万9千円
金沢駅武蔵北地区第五工区 保留床処分事業費	854万7千円	720万6千円

(エ) 保留床の状況は次のとおりであり、前年度と比べ増減はない。

第一工区(ライブ1)	2,314㎡
第五工区(リファール)	2,269㎡

(オ) 地方債の償還に係る一般会計等からの繰入見込額

財政健全化法に定める将来負担比率の算定において、当該特別会計の地方債残高579万円の将来にわたる償還に対する一般会計等の将来負担額は188万1千円とされている。

ウ 公共用地先行取得事業費特別会計

(単位：千円・%)

	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	執 行 率	予 算 現 額 に 対 する 増 減
歳 入	使 用 料 及 び 手 数 料	436	2,386	-	547.2	1,950
	財 産 収 入	1,583,300	1,583,229	-	100.0	△ 71
	繰 入 金	279,076	278,354	-	99.7	△ 722
	諸 収 入	1	-	-	0.0	△ 1
	市 債	612,400	610,800	-	99.7	△ 1,600
	計 (A)	2,475,213	2,474,769	-	100.0	△ 444
	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	執 行 率	不 用 額
歳 出	公共用地先行取得事業費(B)	2,475,213	2,474,769	-	100.0	444
	うち繰出金	19,465	19,459	-	100.0	6
形 式 収 支 (A)-(B)		0				
実 質 収 支		0				

(7) 収入済額を前年度と比べると、20億898万3千円(431.3%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

財産売払収入	14億3,590万5千円(974.7%)
市債	5億7,480万円 (1,596.7%)

(4) 支出済額を前年度と比べると、20億898万3千円(431.3%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

公債費	15億2,266万5千円(479.0%)
公共施設事業費	5億8,147万3千円(皆 増)

(9) 用地の取得及び処分状況は、次のとおりである。

取得

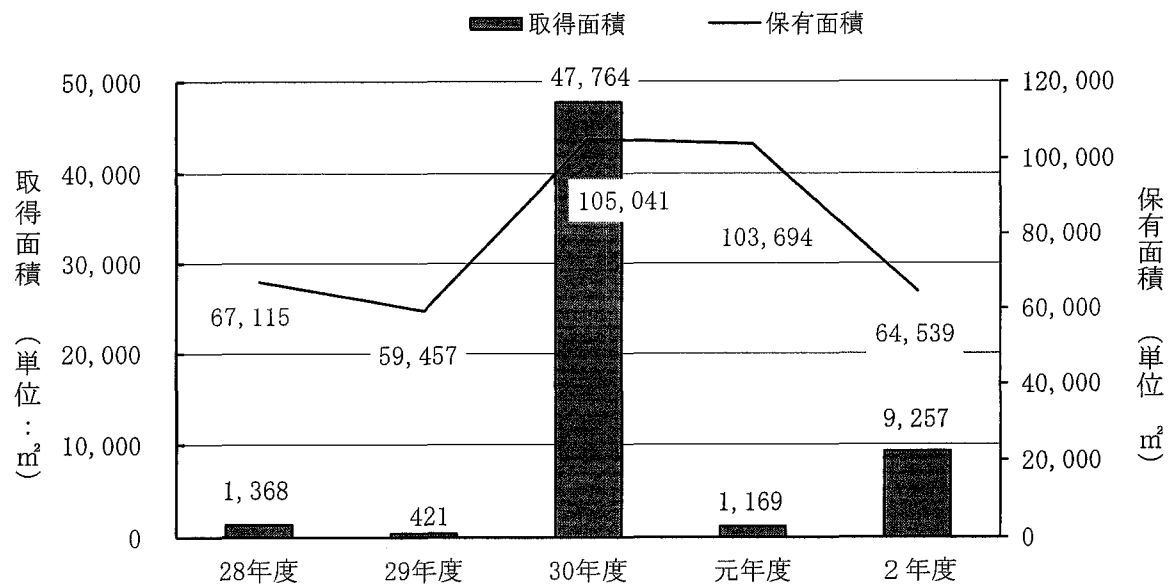
新共同調理場建設用地(泉本町6丁目)	5億7,883万1千円	8,218㎡
西部緑道(大河端西1丁目)	3,221万1千円	1,039㎡

処分

(一般会計へ)

金沢美術工芸大学移転整備事業用地(小立野2丁目)	15億2,298万1千円	47,275㎡
西部緑道(直江町)	6,024万8千円	1,137㎡

(エ) 公共用地取得と保有状況の推移は、次のとおりである。



(オ) 地方債の償還に係る将来負担額

財政健全化法に定める将来負担比率の算定において、当該特別会計の地方債残高7億9,479万1千円の将来にわたる償還に対する一般会計等の将来負担額は全額とされている。

エ 工業団地造成事業費特別会計

(単位：千円・%)

	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	執 行 率	予 算 現 額 に 対 する 増 減
歳 入	繰 入 金	527,838	526,652	-	99.8	△ 1,186
	繰 越 金	45,138	45,138	-	100.0	0
	市 債	559,000	306,600	-	54.8	△ 252,400
	計 (A)	1,131,976	878,390	-	77.6	△ 253,586
歳 出	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	執 行 率	不 用 額
	工業団地造成事業費 (B)	1,131,976	541,629	563,461	47.8	26,886
形 式 収 支 (A)-(B)		336,761				
翌年度へ繰越すべき財源		336,761				
実 質 収 支		0				

(ア) 収入済額を前年度と比べると、39億6,027万1千円(81.8%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

市債	△ 43億7,860万円 (△ 93.5%)
一般会計繰入金	3億7,319万2千円(243.2%)

(イ) 支出済額を前年度と比べると、42億5,189万4千円(88.7%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

第5次安原異業種工業団地造成事業費	△ 35億3,590万4千円(△ 88.4%)
第2次いなほ工業団地造成事業費	△ 7億1,880万円 (△ 90.7%)

(ウ) 主な事務事業は、次のとおりである。

	2 年 度	元 年 度
第5次安原異業種工業団地造成事業費	4億6,456万9千円	40億 47万3千円
第2次いなほ工業団地造成事業費	7,394万9千円	7億9,274万9千円
販売推進費	—	30万1千円

(エ) 工業団地は、30年度に全ての分譲を完了したため、本年度保有する区画はない。

(オ) 地方債の償還に係る一般会計等からの繰入見込額

財政健全化法に定める将来負担比率の算定において、当該特別会計の地方債残高49億9,180万円の将来にわたる償還に対する一般会計等の将来負担額は皆無とされている。

才 住宅団地建設事業費特別会計

(単位：千円・%)

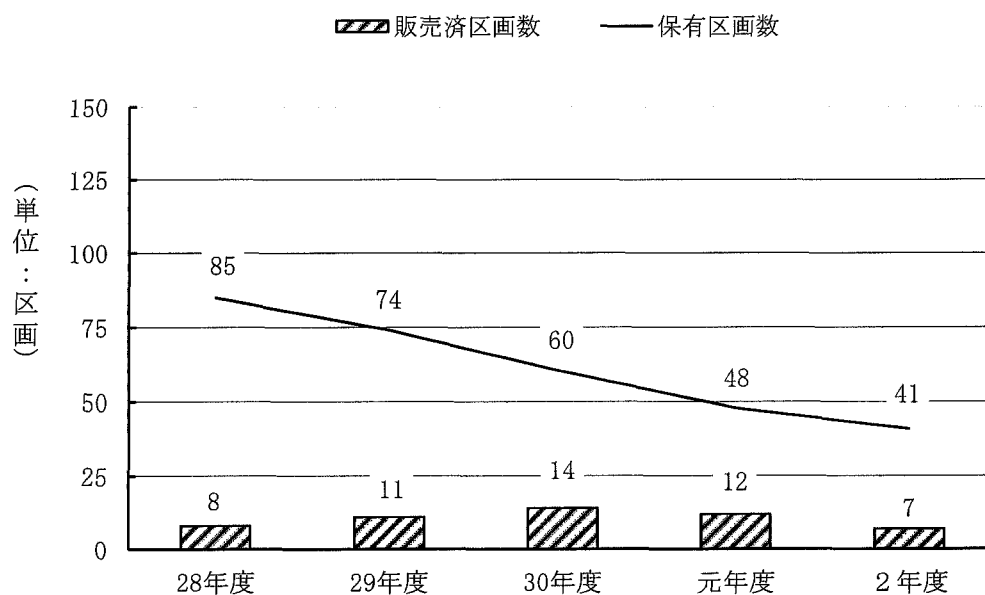
歳入	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	執 行 率	予算現額に 対する増減
	財 産 収 入	200,321	121,833	-	60.8	△ 78,488
	使用料及び手数料	-	1	-	-	1
	諸 収 入	14	14	-	100.0	0
	計 (A)	200,335	121,848	-	60.8	△ 78,487
歳出	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	執 行 率	不 用 額
	住宅団地建設事業費 (B)	200,335	121,848	-	60.8	78,487
	うち繰出金	138,502	82,770	-	59.8	55,732
形 式 収 支 (A)-(B)		0				
実 質 収 支		0				

(ア) 収入済額を前年度と比べると、9,796万円(44.6%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

財産売却収入	△ 7,342万7千円(△ 37.6%)
繰越金	△ 2,452万6千円(皆減)

(イ) 支出済額を前年度と比べると、主に公債費8,406万4千円(皆減)の減少により、9,796万円(44.6%)減少している。

(ウ) 販売済区画数と保有状況の推移は、次のとおりである。



(注) 平成28年度の保有区画数は、区画再編による2区画の増を含む。

カ 駐車場事業費特別会計

(単位：千円・%)

	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	執 行 率	予 算 現 額 に 対 する 増 減
歳 入	使用料及び手数料	54,270	59,642	-	109.9	5,372
	繰 入 金	40,000	33,206	-	83.0	△ 6,794
	諸 収 入	59,506	59,652	-	100.2	146
	市 債	48,000	47,100	-	98.1	△ 900
	計 (A)	201,776	199,600	-	98.9	△ 2,176
歳 出	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	執 行 率	不 用 額
	駐 車 場 事 業 費 (B)	201,776	199,600	-	98.9	2,176
	うち繰出金	5,523	5,522	-	100.0	1
形 式 収 支 (A)-(B)		0				
実 質 収 支		0				

〈決算の内訳〉

(単位：千円)

区 分		決 算 額	左 の 内 訳	
			金沢駅東駐車場・ 武蔵地下駐車場	金 沢 市 役 所 ・ 美 術 館 駐 車 場
歳 入	使用料及び手数料	59,642	206	59,436
	繰 入 金	33,206	-	33,206
	諸 収 入	59,652	59,652	-
	市 債	47,100	-	47,100
	合 計 額	199,600	59,858	139,742
歳 出	事 業 費	173,764	59,858	113,906
	駐 車 場 管 理 費	168,242	54,336	113,906
	繰 出 金	5,522	5,522	-
	公 債 費	25,836	-	25,836
	合 計 額	199,600	59,858	139,742
歳入歳出差引金額		0	0	0

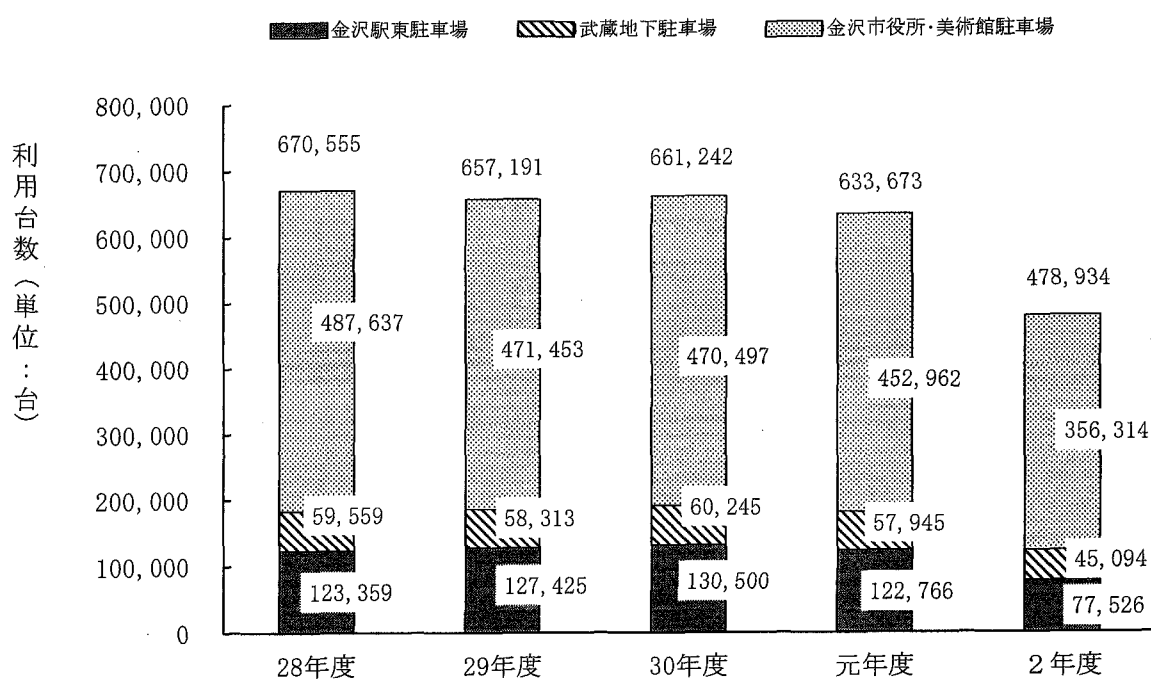
- (ア) 前年度と比べると、収入済額及び支出済額は、3,860万3千円(16.2%)それぞれ減少している。
- (イ) 金沢駅東駐車場及び武蔵地下駐車場では、本年度から、利用料金制度を導入している。
- (ウ) 金沢駅東駐車場及び武蔵地下駐車場を前年度と比べると、歳入では駐車場使用料が1億3,243万6千円(皆減)減少し、諸収入のうち指定管理納付金が5,852万1千円(皆増)増加している。歳出では委託料が7,019万5千円(金沢駅東駐車場事業費3,333万8千円皆減、武蔵地下駐車場事業3,685万7千円皆減)減少している。

(エ) 金沢市役所・美術館駐車場を前年度と比べると、歳入では駐車場使用料が4,570万9千円(43.5%)減少する一方、市債が4,710万円(皆増)、一般会計繰入金が3,320万6千円(皆増)それぞれ増加している。歳出では工事請負費が4,719万6千円(皆増)している。

(オ) 主な事務事業は、次のとおりである。

	2年度	元年度
金沢市役所・美術館駐車場事業費	1億1,390万6千円	6,904万2千円
金沢駅東駐車場事業費	2,751万3千円	7,032万6千円
武蔵地下駐車場事業費	2,558万3千円	5,313万8千円

(カ) 駐車場利用台数の推移は、次のとおりである。



(キ) 地方債の償還に係る一般会計等からの繰入見込額

財政健全化法に定める将来負担比率の算定において、当該特別会計の地方債残高1億4,290万8千円の将来にわたる償還に対する一般会計等の将来負担額は571万6千円とされている。

キ 国民健康保険費特別会計

(単位：千円・%)

（単位：千円）							
	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	執行率	予 算 現 額 に 対 する 増 減
歳 入	国民健康保険料	8,893,026	8,950,561 (35,677)	286,053	1,553,387	100.6	57,535
	国 庫 支 出 金	132,000	166,432	-	-	126.1	34,432
	県 支 出 金	31,437,486	31,188,441	-	-	99.2	△ 249,045
	財 産 収 入	300	166	-	-	55.3	△ 134
	繰 入 金	3,101,044	3,069,015	-	-	99.0	△ 32,029
	繰 越 金	199,759	199,759	-	-	100.0	0
	諸 収 入	212,166	197,873	-	5,703	93.3	△ 14,293
	計 (A)	43,975,781	43,772,247 (35,677)	286,053	1,559,090	99.5	△ 203,534
歳 出	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額		執行率	不 用 額
	総 務 費	476,411	461,049	-		96.8	15,362
	保 険 給 付 費	42,858,227	42,450,197	-		99.0	408,030
	保 健 事 業 費	255,086	231,159	-		90.6	23,927
	基 金 積 立 金	385,057	385,057	-		100.0	0
	公 債 費	1,000	-	-		0.0	1,000
	計 (B)	43,975,781	43,527,462	-		99.0	448,319
形 式 収 支 (A)-(B)		244,785					
実 質 収 支		244,785					

(注) 収入済額には、()書きの還付未済額を含む。

〈決算の内訳〉

(単位：千円)

区 分		決 算 額	左 の 内 訳		
			医 療 分	支 援 分	介 護 分
歳 入	国民健康保険料	8,950,561	6,239,788	1,973,606	737,167
	国庫支出金	166,432	166,432	-	-
	県支出金	31,188,441	31,188,441	-	-
	財産収入	166	166	-	-
	繰入金	3,069,015	2,312,681	561,087	195,247
	繰越金	199,759	199,759	-	-
	諸収入	197,873	183,335	8,908	5,630
	合 計 額	43,772,247	40,290,602	2,543,601	938,044
歳 出	総務費	461,049	461,049	-	-
	保険給付費	42,450,197	38,968,552	2,543,601	938,044
	(うち療養給付費等)	30,425,048	30,425,048	-	-
	(〃 国保事業費納付金医療分)	8,543,504	8,543,504	-	-
	(〃 国保事業費納付金支援分)	2,543,601	-	2,543,601	-
	(〃 国保事業費納付金介護分)	938,044	-	-	938,044
	保健事業費	231,159	231,159	-	-
	基金積立金	385,057	385,057	-	-
	合 計 額	43,527,462	40,045,817	2,543,601	938,044
歳入歳出差引金額		244,785	244,785	-	-

なお、基金の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

基 金 名	2 年 度 末 現 在 高	元 年 度 末 現 在 高	増 減	
			金 額	比 率
国民健康保険財政調整基金	3,141,204	2,756,147	385,057	14.0

(ア) 収入済額を前年度と比べると15億8,521万8千円(3.5%)減少しており、その内訳は次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2 年 度		元 年 度		増 減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
国民健康保険料	8,950,561	20.4	9,186,748	20.3	△ 236,187	△ 2.6
国庫支出金	166,432	0.4	1,194	0.0	165,238	-
県支出金	31,188,441	71.2	32,462,709	71.5	△ 1,274,268	△ 3.9
財産収入	166	0.0	299	0.0	△ 133	△ 44.5
繰入金	3,069,015	7.0	3,344,006	7.4	△ 274,991	△ 8.2
一般会計繰入金	3,069,015	7.0	3,131,944	6.9	△ 62,929	△ 2.0
基金繰入金	-	-	212,062	0.5	△ 212,062	△ 100.0
繰越金	199,759	0.5	119,627	0.3	80,132	67.0
諸収入	197,873	0.5	242,882	0.5	△ 45,009	△ 18.5
計	43,772,247	100.0	45,357,465	100.0	△ 1,585,218	△ 3.5

a 国民健康保険料の軽減対象世帯は、国保加入世帯の55.6%(増減なし)である。

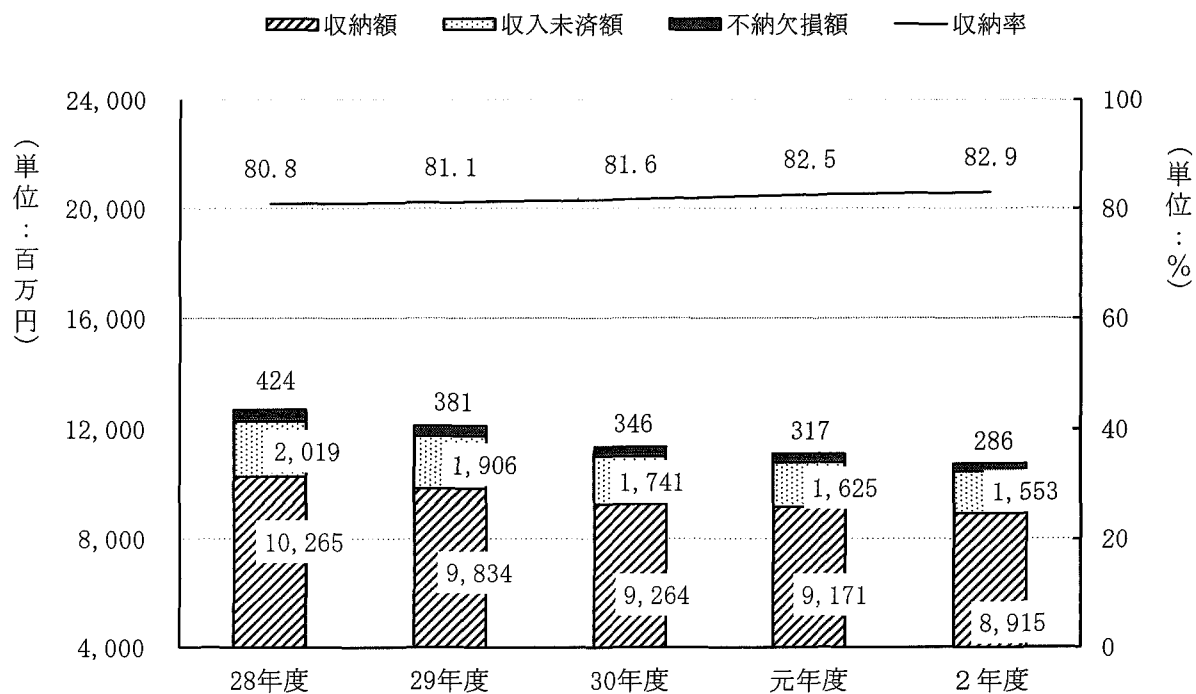
(イ) 国民健康保険料の収納状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 納 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 納 率
現 年 賦 課 分	8,511,790	9,163,663	8,522,928	-	640,735	93.0
医 療 分	5,797,292	6,225,064	5,806,237	-	418,827	93.3
支 援 分	1,986,494	2,132,657	1,989,332	-	143,326	93.3
介 護 分	728,004	805,942	727,359	-	78,582	90.2
滞 納 繰 越 分	381,236	1,590,660	391,956	286,053	912,652	24.6
医 療 分	253,038	1,056,972	260,303	191,952	604,716	24.6
支 援 分	81,465	340,335	84,620	61,769	193,947	24.9
介 護 分	46,733	193,353	47,033	32,332	113,989	24.3
計	8,893,026	10,754,323	8,914,884	286,053	1,553,387	82.9
医 療 分 計	6,050,330	7,282,036	6,066,540	191,952	1,023,543	83.3
支 援 分 計	2,067,959	2,472,992	2,073,952	61,769	337,273	83.9
介 護 分 計	774,737	999,295	774,392	32,332	192,571	77.5

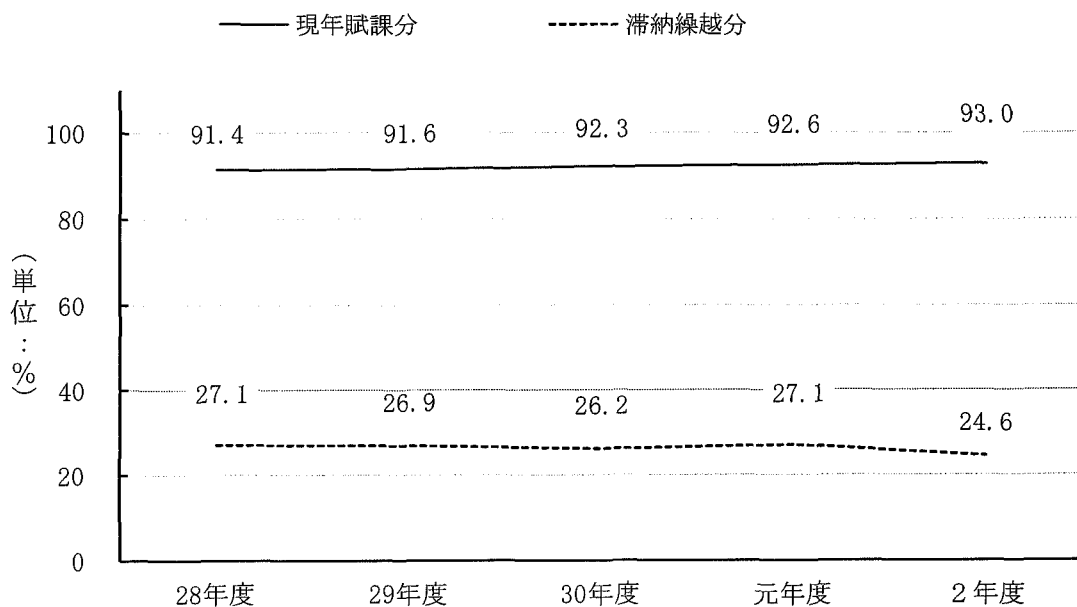
(注) 収納額＝収入済額－還付未済額

a 国民健康保険料の収納状況の推移は、次のとおりである。



(注) 収納額＝収入済額－還付未済額

なお、現年賦課分と滞納繰越分のそれぞれの収納率の推移は、次のとおりである。



(注) 収納率は還付未済額を控除して計算している。

b 国民健康保険料(年額)の推移は、次のとおりである。

年 度				2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	元年度	2 年度	
料 率	所得割	医 療 分		率	8.72/100	8.72/100	8.47/100	8.49/100	8.00/100
		支 援 分			2.19/100	2.19/100	2.44/100	2.55/100	2.56/100
		介 護 分			3.11/100	3.11/100	2.13/100	2.15/100	2.47/100
	均等割	医 療 分		円	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
		支 援 分			9,480	9,480	9,840	10,200	10,320
		介 護 分			11,520	11,520	11,160	11,160	12,600
	平等割	医 療 分	特定世帯又は 特定継続世帯以外	円	24,000	24,000	22,200	22,200	22,200
			特定世帯		12,000	12,000	11,100	11,100	11,100
			特定継続世帯		18,000	18,000	16,650	16,650	16,650
		支 援 分	特定世帯又は 特定継続世帯以外		9,120	9,120	6,960	7,080	7,080
特定世帯			4,560		4,560	3,480	3,540	3,540	
特定継続世帯			6,840		6,840	5,220	5,310	5,310	
介 護 分		7,320	7,320		5,040	5,520	6,240		
賦課限度額		医 療 分		円	520,000	520,000	540,000	580,000	610,000
		支 援 分			170,000	170,000	190,000	190,000	190,000
		介 護 分			160,000	160,000	160,000	160,000	160,000

(注) 1 特定継続世帯とは、同一世帯にいる国保の被保険者が後期高齢者医療制度に移行し、被保険者が1人となる世帯であって、以後6年目から8年目の間にあるものをいう。
なお、以後5年目の間にあるものは特定世帯という。

2 平成28年度 所得割料率、賦課限度額改定

3 平成30年度 料率、賦課限度額改定

4 令和元年度 料率、賦課限度額改定

c 国民健康保険料の収入未済額を前年度と比べると、7,165万1千円(4.4%)減少している。

d 国民健康保険料の不納欠損額を前年度と比べると、3,085万3千円(9.7%)減少しており、その内訳は次のとおりである。

(単位：件・千円・%)

区 分	2 年 度			元 年 度			増 減		
	世帯数	金 額	構成比率	世帯数	金 額	構成比率	世帯数	金 額	比 率
生活保護開始	730	11,603	4.1	763	11,519	3.6	△	33	84 0.7
生活困窮者	3,344	55,130	19.3	3,433	59,884	18.9	△	89	△ 4,754 △ 7.9
所在・財産不明	1,852	29,582	10.3	1,940	29,922	9.5	△	88	△ 340 △ 1.1
滞納処分する財産なし	3,648	121,046	42.3	4,023	121,136	38.2	△	375	△ 90 △ 0.1
その他	3,275	68,692	24.0	3,975	94,445	29.8	△	700	△ 25,753 △ 27.3
計	12,849	286,053	100.0	14,134	316,906	100.0	△	1,285	△ 30,853 △ 9.7

(ウ) 国庫支出金、県支出金の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2 年 度	元 年 度	増 減	
			金 額	比 率
国 庫 支 出 金	166,432	1,194	165,238	-
一般管理費補助金	44,447	1,076	43,371	4,030.8
国民健康保険災害臨時特例補助金	121,985	118	121,867	-
県 支 出 金	31,188,441	32,462,709	△ 1,274,268	△ 3.9
普通交付金	30,295,361	31,253,176	△ 957,815	△ 3.1
特別交付金	893,080	1,209,533	△ 316,453	△ 26.2

(エ) 一般会計繰入金の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

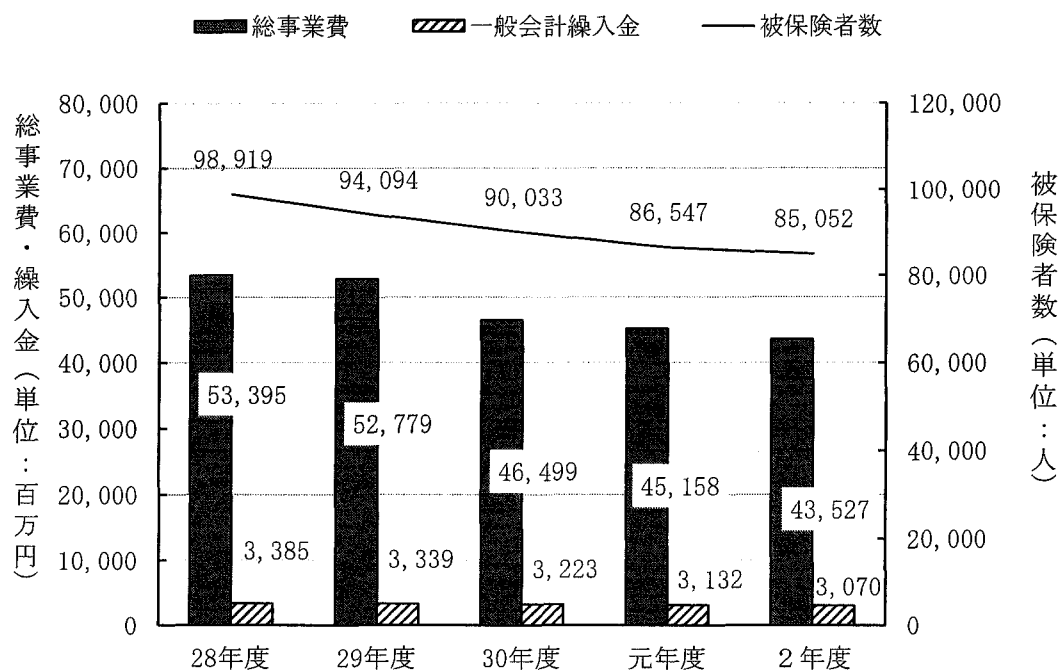
区 分		2 年 度	元 年 度	増 減	
				金 額	比 率
国の制度	職員給与費等繰入金	202,666	192,397	10,269	5.3
	保険基盤安定繰入金	2,261,832	2,293,303	△ 31,471	△ 1.4
	出産育児一時金繰入金	64,541	61,482	3,059	5.0
	財政安定化支援事業繰入金	168,897	194,807	△ 25,910	△ 13.3
市単独	市単独事業波及繰入金	235,390	229,688	5,702	2.5
	葬祭費等繰入金	-	30,741	△ 30,741	△ 100.0
	負担緩和特例繰入金	78,864	66,542	12,322	18.5
	事務費繰入金	56,825	62,984	△ 6,159	△ 9.8
計		3,069,015	3,131,944	△ 62,929	△ 2.0

(カ) 支出済額を前年度と比べると、16億3,024万4千円(3.6%)減少しており、その内訳は次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2 年 度		元 年 度		増 減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
総 務 費	461,049	1.1	367,832	0.8	93,217	25.3
保 険 給 付 費	42,450,197	97.5	44,528,378	98.6	△ 2,078,181	△ 4.7
療 養 給 付 費	25,931,083	59.6	26,859,410	59.5	△ 928,327	△ 3.5
療 養 費	230,801	0.5	255,963	0.6	△ 25,162	△ 9.8
高 額 療 養 費	4,079,270	9.4	4,093,889	9.1	△ 14,619	△ 0.4
そ の 他 保 険 給 付 費	122,945	0.3	117,265	0.3	5,680	4.8
共 同 事 業 拠 出 金	6	0.0	7	0.0	△ 1	△ 14.3
審 査 支 払 手 数 料	60,943	0.1	65,652	0.1	△ 4,709	△ 7.2
一般被保険者医療給付費分	8,542,687	19.6	9,640,578	21.3	△ 1,097,891	△ 11.4
退職被保険者等医療給付費分	817	0.0	12,185	0.0	△ 11,368	△ 93.3
一般被保険者後期高齢者支援金等分	2,543,358	5.8	2,616,392	5.8	△ 73,034	△ 2.8
退職被保険者等後期高齢者支援金等分	243	0.0	3,683	0.0	△ 3,440	△ 93.4
事業費納付金(介護納付金分)	938,044	2.2	863,354	1.9	74,690	8.7
保 健 事 業 費	231,159	0.5	261,496	0.6	△ 30,337	△ 11.6
基 金 積 立 金	385,057	0.9	-	-	385,057	100.0
計	43,527,462	100.0	45,157,706	100.0	△ 1,630,244	△ 3.6

(カ) 総事業費、一般会計繰入金及び平均被保険者数の推移は、次のとおりである。



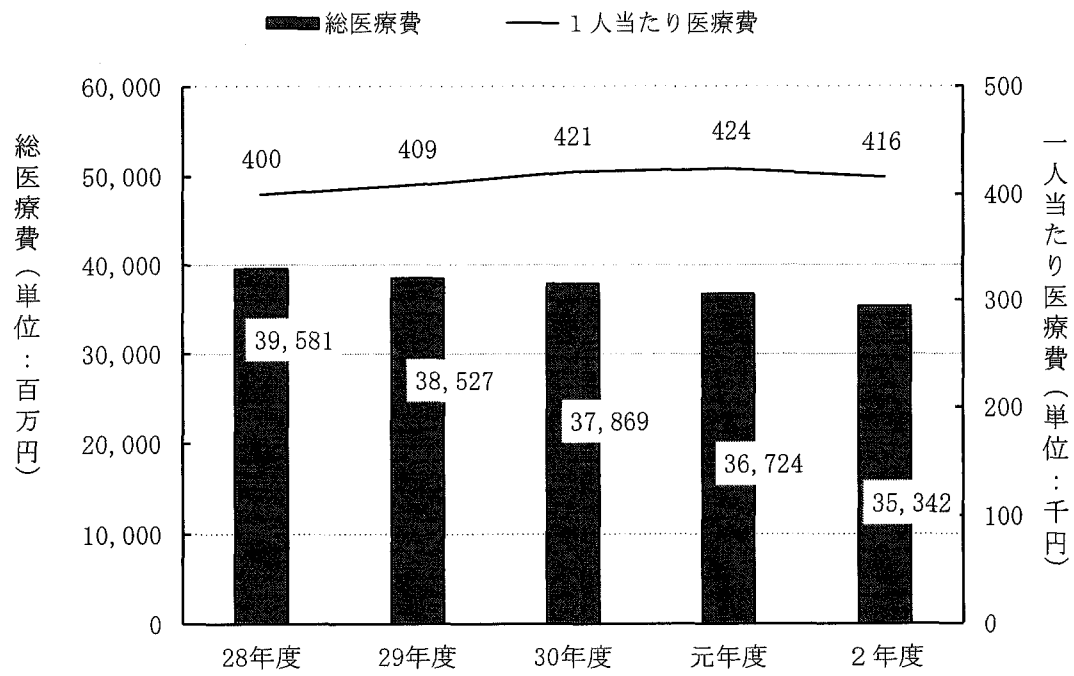
(注) 被保険者数は、当該年度の年間被保険者数の月平均である。

(キ) 総医療費等を前年度と比べると、次のとおりである。

区 分		単 位	2 年 度	元 年 度	増 減	
					金 額 等	比 率
療 養 の 給 付 等 (a)	件 数	件	1,261,684	1,368,317	△ 106,633	△ 7.8
	金 額	千 円	35,029,028	36,376,485	△ 1,347,457	△ 3.7
療 養 費 等 (b)	件 数	件	31,447	36,546	△ 5,099	△ 14.0
	金 額	千 円	312,743	347,659	△ 34,916	△ 10.0
総 医 療 費 (a)+(b)	件 数	件	1,293,131	1,404,863	△ 111,732	△ 8.0
	金 額	千 円	35,341,771	36,724,144	△ 1,382,373	△ 3.8
平 均 被 保 険 者		人	85,052	86,547	△ 1,495	△ 1.7
世 帯 数		戸	56,802	57,290	△ 488	△ 0.9
被 保 険 者 1 人 当 た り 医 療 費		円	415,531	424,326	△ 8,795	△ 2.1
1 件 当 た り 医 療 費		円	27,330	26,141	1,189	4.5

(注) 療養の給付等とは保険診療機関での医療費をいい、療養費等とは柔道整復、マッサージ、鍼灸、コルセット等に係る医療費等をいう。

(ク) 総医療費及び被保険者1人当たり医療費の推移は、次のとおりである。



ク 後期高齢者医療費特別会計

(単位：千円・%)

(単位：千円・%)							
歳入	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	執行率	予 算 現 額 に対する増減
	後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	5,163,239	5,145,291 (7,815)	12,128	48,605	99.7	△ 17,948
	繰 入 金	1,275,773	1,270,153	-	-	99.6	△ 5,620
	繰 越 金	11,638	11,638	-	-	100.0	0
	諸 収 入	12,534	8,124	-	-	64.8	△ 4,410
	計 (A)	6,463,184	6,435,206 (7,815)	12,128	48,605	99.6	△ 27,978
歳出	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	執行率	不 用 額	
	総 務 費	80,956	74,129	-	91.6	6,827	
	後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	6,381,728	6,352,364	-	99.5	29,364	
	公 債 費	500	-	-	0.0	500	
	計 (B)	6,463,184	6,426,493	-	99.4	36,691	
形 式 収 支 (A)-(B)		8,713					
実 質 収 支		8,713					

(注) 収入済額には、()書きの還付未済額を含む。

(ア) 収入済額を前年度と比べると1億5,387万8千円(2.4%)増加しており、その内訳は次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2 年 度		元 年 度		増 減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
後期高齢者医療保険料	5,145,291	80.0	5,028,404	80.1	116,887	2.3
繰 入 金	1,270,153	19.7	1,228,059	19.5	42,094	3.4
事 務 費 繰 入 金	247,755	3.8	231,617	3.7	16,138	7.0
保険基盤安定繰入金	1,022,398	15.9	996,442	15.8	25,956	2.6
繰 越 金	11,638	0.2	17,087	0.3	△ 5,449	△ 31.9
諸 収 入	8,124	0.1	7,778	0.1	346	4.4
計	6,435,206	100.0	6,281,328	100.0	153,878	2.4

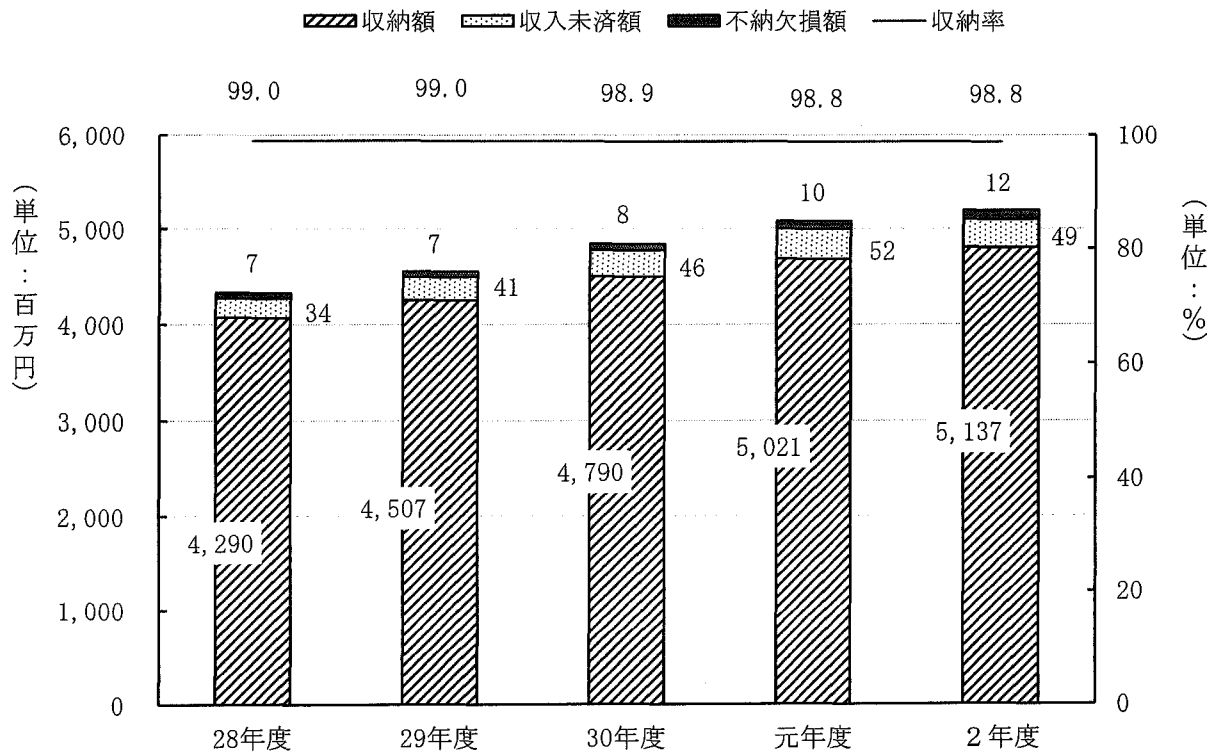
(イ) 後期高齢者医療保険料の収納状況は次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 納 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 納 率
現 年 賦 課 分	5,149,039	5,145,970	5,121,468	-	24,502	99.5
特別徴収分	2,829,941	2,803,081	2,803,081	-	-	100.0
普通徴収分	2,319,098	2,342,889	2,318,387	-	24,502	99.0
滞 納 繰 越 分	14,200	52,239	16,008	12,128	24,103	30.6
普通徴収分	14,200	52,239	16,008	12,128	24,103	30.6
計	5,163,239	5,198,209	5,137,476	12,128	48,605	98.8
特別徴収分計	2,829,941	2,803,081	2,803,081	-	-	100.0
普通徴収分計	2,333,298	2,395,128	2,334,395	12,128	48,605	97.5

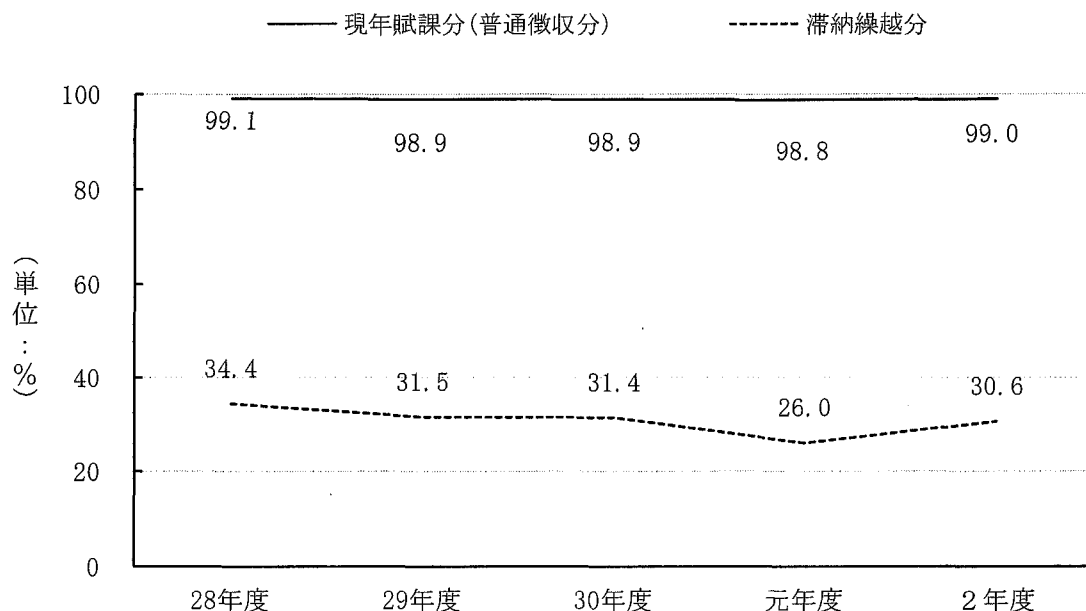
(注) 収納額 = 収入済額 - 還付未済額

a 後期高齢者医療保険料の収納状況の推移は、次のとおりである。



(注) 収納額 = 収入済額 - 還付未済額

なお、現年賦課分(普通徴収)と滞納繰越分のそれぞれの収納率の推移は、次のとおりである。



(注) 収納率は還付未済額を控除して計算している。

b 被保険者数と1人当たりの調定額の推移は、次のとおりである。

区 分	単 位	2 8 年 度	2 9 年 度	3 0 年 度	元 年 度	2 年 度
月 平 均 被 保 険 者	人	53,984	56,106	58,166	59,894	60,436
75 歳 以 上	人	52,583	54,736	56,828	58,609	59,171
65 ～ 74 歳 の 障 害 者	人	1,401	1,370	1,338	1,285	1,265
被保険者1人当たり調定額	円	79,606	80,568	82,596	84,114	85,147

なお、後期高齢者医療保険料(年額)は、次のとおりである。

区 分			2 6 ～ 2 9 年 度	3 0 ～ 元 年 度	2 年 度
料 率	所 得 割	率	9.33%	9.33%	9.33%
	均 等 割	円	47,520	47,520	47,520
賦 課 限 度 額			円	570,000	620,000
					640,000

(注) 1 平成30年度 賦課限度額改定

2 令和2年度 賦課限度額改定

c 後期高齢者医療保険料の収入未済額を前年度と比べると、386万7千円(7.4%)減少している。

d 後期高齢者医療保険料の不納欠損額を前年度と比べると、195万4千円(19.2%)増加している。

(ウ) 支出済額を前年度と比べると、1億5,680万3千円(2.5%)増加しており、その内訳は次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2 年 度		元 年 度		増 減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
総 務 費	74,129	1.2	57,052	0.9	17,077	29.9
一 般 管 理 費	66,109	1.1	49,402	0.8	16,707	33.8
保 険 料 還 付 金	8,020	0.1	7,650	0.1	370	4.8
後期高齢者医療広域連合納付金	6,352,364	98.8	6,212,638	99.1	139,726	2.2
後期高齢者医療事務費負担金	181,655	2.8	182,257	2.9	△ 602	△ 0.3
後期高齢者医療保険料負担金	5,148,311	80.1	5,033,939	80.3	114,372	2.3
保 険 基 盤 安 定 拠 出 金	1,022,398	15.9	996,442	15.9	25,956	2.6
計	6,426,493	100.0	6,269,690	100.0	156,803	2.5

ケ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計

(単位：千円・%)

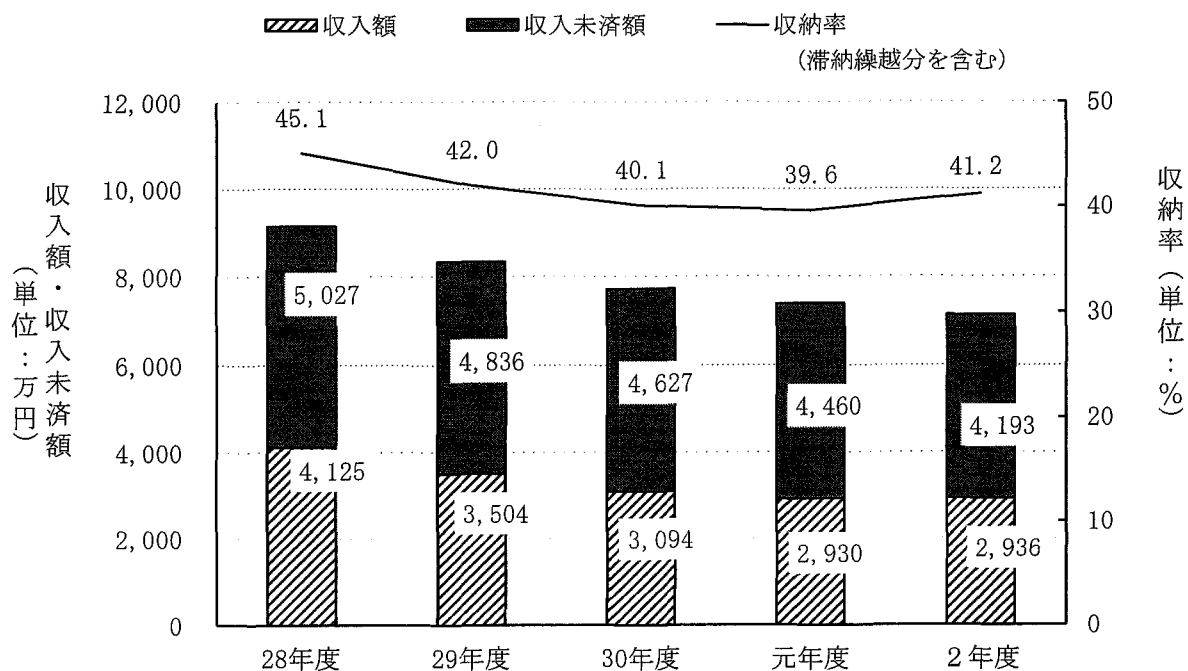
歳 入	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	収入未済額	執 行 率	予 算 現 額 に 対 する 増 減
	繰 越 金	22,252	31,354	-	140.9	9,102
	諸 収 入	28,227	29,356	41,933	104.0	1,129
	計 (A)	50,479	60,710	41,933	120.3	10,231
歳 出	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	執 行 率	不 用 額
	民 生 費	21,550	6,626	-	30.7	14,924
	公 債 費	100	-	-	0.0	100
	予 備 費	28,829	-	-	0.0	28,829
	計 (B)	50,479	6,626	-	13.1	43,853
形 式 収 支 (A)-(B)		54,084				
実 質 収 支		54,084				

(ア) 収入済額を前年度と比べると、1,635万1千円(36.9%)増加しており、その内訳は次のとおりである。

繰越金 1,629万5千円(108.2%)
 諸収入(主に貸付金元利収入) 5万6千円(0.2%)

(イ) 収入未済額を前年度と比べると、貸付金償還元利収入で266万3千円(6.0%)減少している。

(ウ) 貸付金償還元利収入の収納状況は、次のとおりである。



(エ) 支出済額を前年度と比べると、637万9千円(49.1%)減少しており、その内訳は次のとおりである。

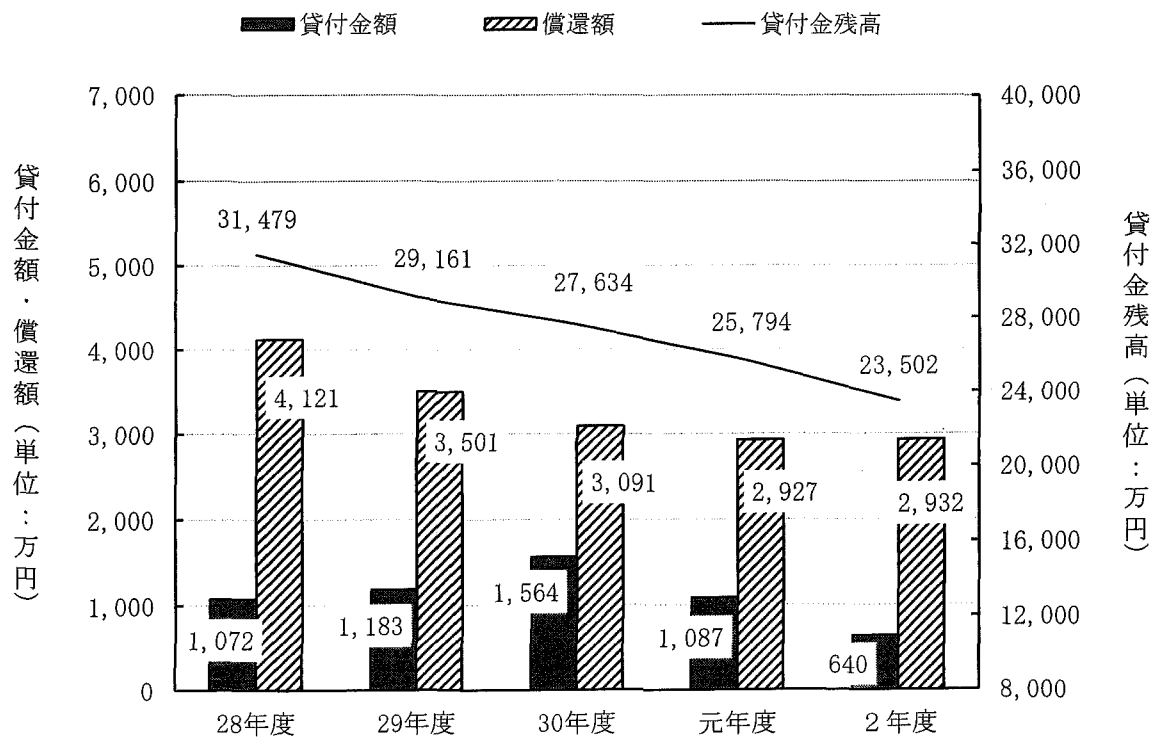
母子父子寡婦福祉資金貸付金	△ 447万7千円(△ 41.2%)
母子父子寡婦福祉資金貸付金償還金	△ 116万7千円(皆 減)
母子父子寡婦福祉資金貸付事務費	△ 73万5千円(△ 76.1%)

(オ) 貸付金額の種別ごとの推移は、次のとおりである。

(単位：件・千円)

区 分		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
修学資金	件 数	11	13	22	18	10
	貸付金額	6,836	7,890	14,038	10,572	5,237
就学支度資金	件 数	4	6	4	1	2
	貸付金額	1,240	2,858	1,350	300	1,158
そ の 他	件 数	4	3	1	-	-
	貸付金額	2,652	1,078	255	-	-
計	件 数	19	22	27	19	12
	貸付金額	10,728	11,826	15,643	10,872	6,395

(カ) 貸付金額、償還額、貸付金残高の推移は、次のとおりである。



(注) 償還額は、償還元金のみで償還利息を含まない。

(キ) 地方債の償還に係る将来負担額

財政健全化法に定める将来負担比率の算定において、当該特別会計の地方債残高1億9,485万2千円の将来にわたる償還に対する一般会計等の将来負担額は全額とされている。

コ 介護保険費特別会計

(単位：千円・%)

歳 入	款 別	予 算 現 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	執 行 率	予 算 現 額 に 対 する 増 減
	介 護 保 険 料	8,926,521	8,950,706 (10,629)	60,157	136,659	100.3	24,185
	国 庫 支 出 金	8,643,922	8,966,726	-	-	103.7	322,804
	支 払 基 金 交 付 金	10,077,867	10,078,820	-	-	100.0	953
	県 支 出 金	5,427,518	5,386,024	-	-	99.2	△ 41,494
	財 産 収 入	500	118	-	-	23.6	△ 382
	繰 入 金	5,691,396	5,577,759	-	-	98.0	△ 113,637
	繰 越 金	877,939	877,938	-	-	100.0	△ 1
	諸 収 入	1,163	14,569	-	707	1,252.7	13,406
	計 (A)	39,646,826	39,852,660 (10,629)	60,157	137,366	100.5	205,834
歳 出	款 別	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額		執 行 率	不 用 額
	総 務 費	612,462	595,185	-		97.2	17,277
	保 険 給 付 費	36,408,713	35,783,692	-		98.3	625,021
	地 域 支 援 事 業 費	2,168,954	2,069,601	-		95.4	99,353
	基 金 積 立 金	455,697	455,697	-		100.0	0
	公 債 費	1,000	-	-		0.0	1,000
	計 (B)	39,646,826	38,904,175	-		98.1	742,651
形 式 収 支 (A)-(B)		948,485					
実 質 収 支		948,485					

(注) 収入済額には、()書きの還付未済額を含む。

なお、基金の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

基 金 名	2 年 度 末 現 在 高	元 年 度 末 現 在 高	増 減	
			金 額	比 率
介 護 給 付 費 準 備 基 金	2,424,922	1,969,225	455,697	23.1

(7) 収入済額を前年度と比べると、4億3,163万円(1.1%)増加しており、その内訳は次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2年度		元年度		増 減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
介護保険料	8,950,706	22.5	9,053,998	23.0	△ 103,292	△ 1.1
国庫支出金	8,966,726	22.5	8,759,113	22.2	207,613	2.4
支払基金交付金	10,078,820	25.3	9,800,903	24.9	277,917	2.8
県支出金	5,386,024	13.5	5,262,373	13.3	123,651	2.3
財産収入	118	0.0	348	0.0	△ 230	△ 66.1
繰入金	5,577,759	14.0	5,318,122	13.5	259,637	4.9
繰越金	877,938	2.2	1,210,088	3.1	△ 332,150	△ 27.4
諸収入	14,569	0.0	16,085	0.0	△ 1,516	△ 9.4
計	39,852,660	100.0	39,421,030	100.0	431,630	1.1

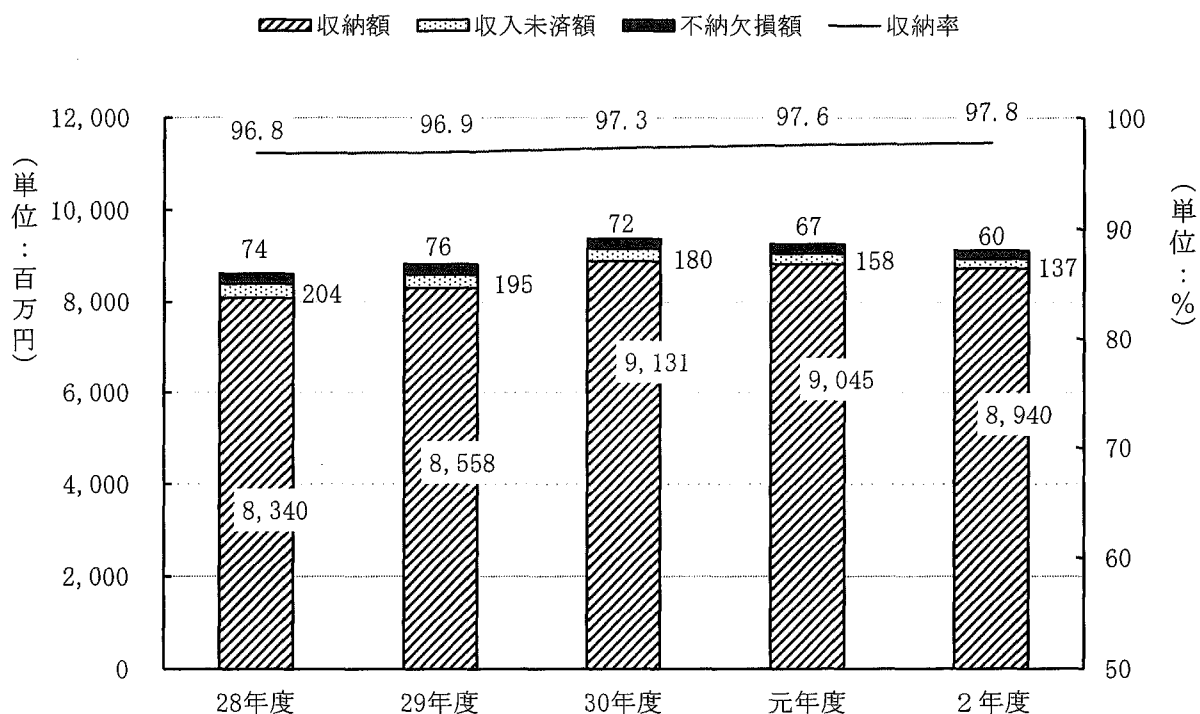
(イ) 介護保険料の収納状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 納 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 納 率
現 年 賦 課 分	8,901,981	8,979,829	8,915,662	-	64,167	99.3
特 別 徴 収	8,207,658	8,212,816	8,212,816	-	-	100.0
普 通 徴 収	694,323	767,013	702,846	-	64,167	91.6
滞 納 繰 越 分	24,540	157,064	24,415	60,157	72,492	15.5
普 通 徴 収	24,540	157,064	24,415	60,157	72,492	15.5
計	8,926,521	9,136,893	8,940,077	60,157	136,659	97.8
特 別 徴 収 計	8,207,658	8,212,816	8,212,816	-	-	100.0
普 通 徴 収 計	718,863	924,077	727,261	60,157	136,659	78.7

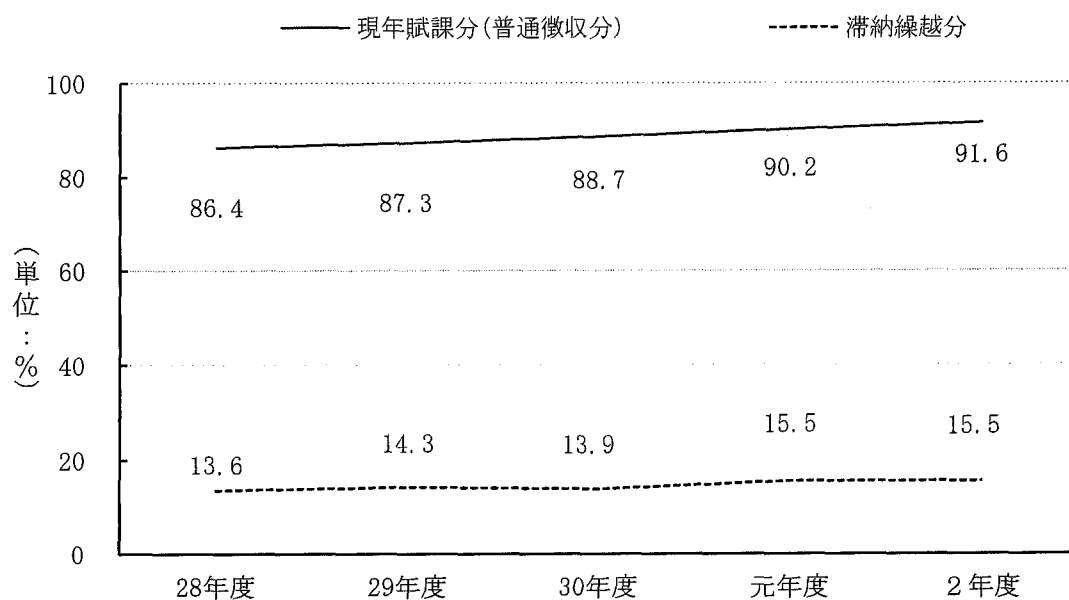
(注) 収納額 = 収入済額 - 還付未済額

a 介護保険料の収納状況の推移は、次のとおりである。



(注) 収納額 = 収入済額 - 還付未済額

なお、現年賦課分(普通徴収)と滞納繰越分のそれぞれの収納率の推移は、次のとおりである。



(注) 収納率は還付未済額を控除して計算している。

b 第1号被保険者の介護保険料(年額)の推移は、次のとおりである。

(単位：円)

平成27年度～平成29年度所得段階区分			平成30年度～令和2年度所得段階区分		
第1段階	生活保護の受給者の方、老齢福祉年金の受給者の方で世帯全員が市民税非課税の方 世帯全員が市民税非課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方 (介護保険法施行令第39条第1項第1号該当者)	30,144	第1段階	生活保護の受給者の方、老齢福祉年金の受給者の方で世帯全員が市民税非課税の方 世帯全員が市民税非課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方 (介護保険法施行令第39条第1項第1号該当者)	19,770
第2段階	世帯全員が市民税非課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超120万円以下の方 (介護保険法施行令第39条第1項第2号該当者)	48,984	第2段階	世帯全員が市民税非課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超120万円以下の方 (介護保険法施行令第39条第1項第2号該当者)	31,632
第3段階	世帯全員が市民税非課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円超の方 (介護保険法施行令第39条第1項第3号該当者)	52,752	第3段階	世帯全員が市民税非課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円超の方 (介護保険法施行令第39条第1項第3号該当者)	51,402
第4段階	本人は市民税非課税、世帯員が市民税課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方 (介護保険法施行令第39条第1項第4号該当者)	64,056	第4段階	本人は市民税非課税、世帯員が市民税課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方 (介護保険法施行令第39条第1項第4号該当者)	67,218
第5段階	本人は市民税非課税、世帯員が市民税課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超の方 (介護保険法施行令第39条第1項第5号該当者)	75,360	第5段階	本人は市民税非課税、世帯員が市民税課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超の方 (介護保険法施行令第39条第1項第5号該当者)	79,080
第6段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第6号該当者)	86,664	第6段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第6号該当者)	90,942
第7段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円以上190万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第7号該当者)	94,200	第7段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円以上200万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第7号該当者)	98,850
第8段階	本人が市民税課税で合計所得金額が190万円以上290万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第8号該当者)	105,504	第8段階	本人が市民税課税で合計所得金額が200万円以上300万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第8号該当者)	110,712
第9段階	本人が市民税課税で合計所得金額が290万円以上500万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第9号該当者)	113,040	第9段階	本人が市民税課税で合計所得金額が300万円以上500万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第9号該当者)	118,620
第10段階	本人が市民税課税で合計所得金額が500万円以上800万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第9号該当者)	131,880	第10段階	本人が市民税課税で合計所得金額が500万円以上800万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第9号該当者)	138,390
第11段階	本人が市民税課税で合計所得金額が800万円以上の方 (介護保険法施行令第39条第1項第10号該当者)	150,720	第11段階	本人が市民税課税で合計所得金額が800万円以上1,000万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第10号該当者)	158,160
			第12段階	本人が市民税課税で合計所得金額が1,000万円以上1,500万円未満の方 (介護保険法施行令第39条第1項第10号該当者)	170,022
			第13段階	本人が市民税課税で合計所得金額が1,500万円以上の方 (介護保険法施行令第39条第1項第10号該当者)	181,884

(注) 平成27年度 保険料改定(改定率10.6%)

平成30年度 保険料改定(改定率4.9%)

令和元年度 低所得者層に対する保険料の軽減措置を拡大

令和2年度 低所得者層に対する保険料の軽減措置を拡大

c 介護保険料の収入未済額を前年度と比べると、2,098万円(13.3%)減少している。

d 介護保険料の不納欠損額を前年度と比べると、636万3千円(9.6%)減少しており、その内訳は次のとおりである。

(単位：件・千円・%)

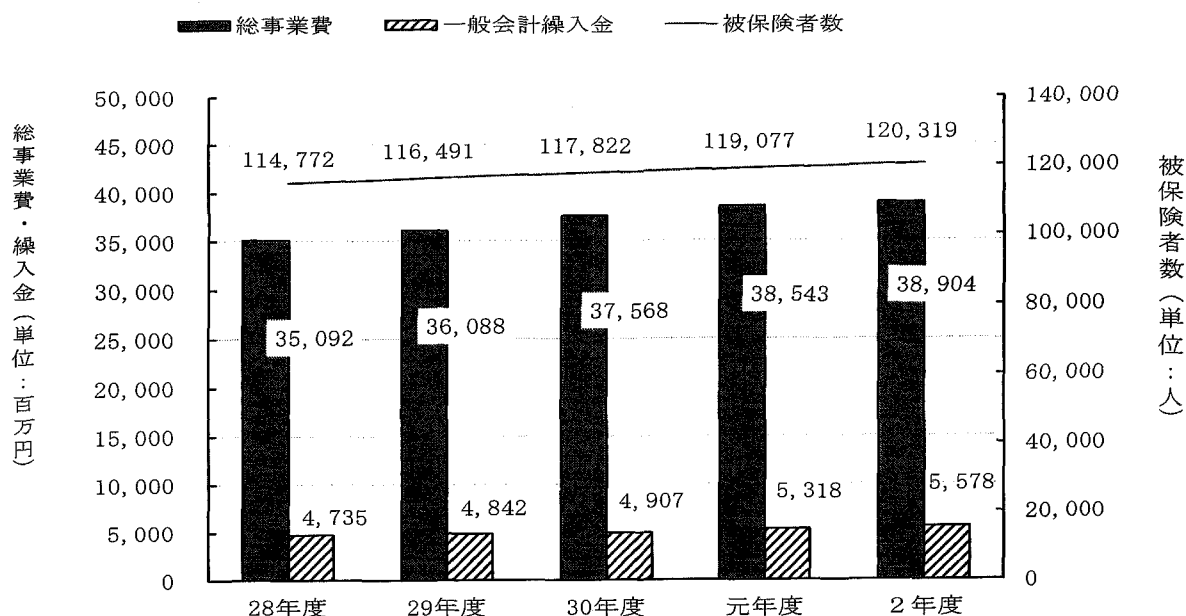
区 分	2 年度			元年度			増 減		
	件数	金 額	構成比率	件数	金 額	構成比率	件数	金 額	比率
生活保護開始	149	2,527	4.2	170	3,059	4.6	△ 21	△ 532	△ 17.4
生活困窮者	1,356	34,508	57.4	1,539	38,651	58.1	△ 183	△ 4,143	△ 10.7
所在・財産不明	172	3,266	5.4	172	3,336	5.0	0	△ 70	△ 2.1
滞納者死亡	238	4,027	6.7	290	5,817	8.8	△ 52	△ 1,790	△ 30.8
その他	427	15,829	26.3	456	15,657	23.5	△ 29	172	1.1
計	2,342	60,157	100.0	2,627	66,520	100.0	△ 285	△ 6,363	△ 9.6

(り) 支出済額を前年度と比べると、3億6,108万3千円(0.9%)増加しており、その内訳は次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	2 年度		元年度		増 減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
総 務 費	595,185	1.5	783,342	2.0	△ 188,157	△ 24.0
保 険 給 付 費	35,783,692	92.0	34,971,141	90.8	812,551	2.3
居宅サービス給付費	14,810,593	38.1	14,437,267	37.5	373,326	2.6
施設サービス給付費	9,139,174	23.5	9,116,455	23.7	22,719	0.2
地域密着型サービス給付費	7,859,560	20.2	7,561,390	19.6	298,170	3.9
その他の介護給付費	3,946,908	10.1	3,828,944	9.9	117,964	3.1
審査支払手数料	27,457	0.1	27,085	0.1	372	1.4
地 域 支 援 事 業 費	2,069,601	5.3	2,174,010	5.6	△ 104,409	△ 4.8
基 金 積 立 金	455,697	1.2	614,599	1.6	△ 158,902	△ 25.9
計	38,904,175	100.0	38,543,092	100.0	361,083	0.9

(エ) 総事業費、一般会計繰入金及び被保険者数の推移は、次のとおりである。

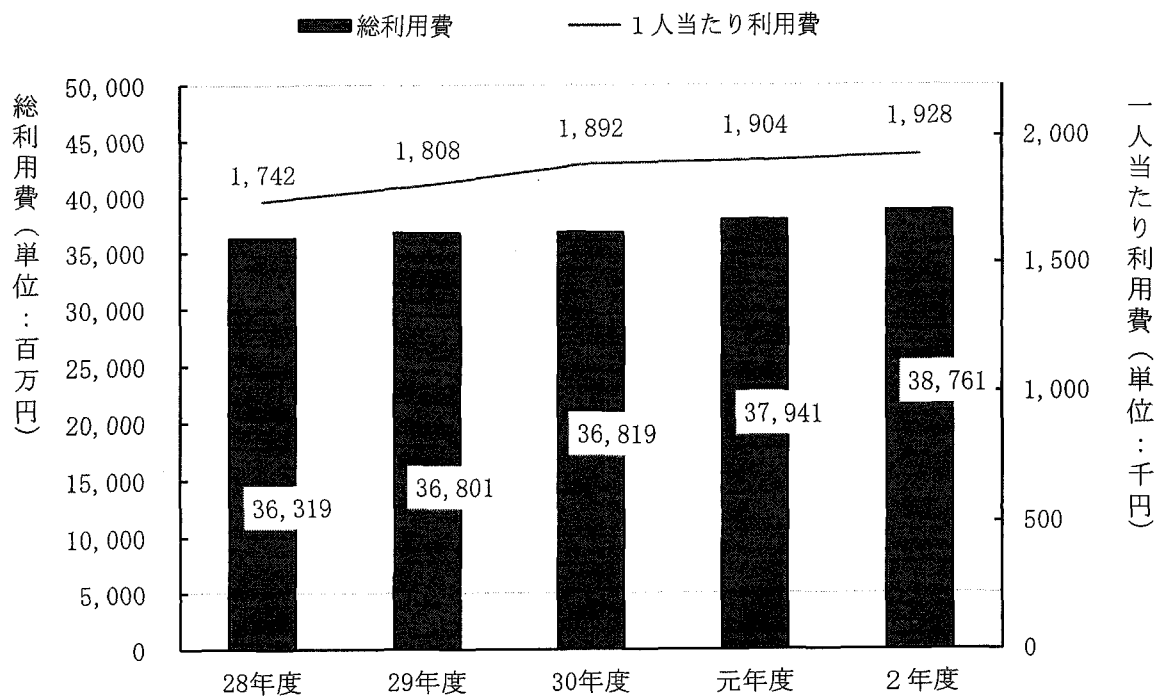


(オ) 介護サービス総利用費等の状況を前年度と比べると、次のとおりである。

区 分		単位	2 年度	元年度	増 減	
					金 額 等	比 率
居 宅 サ ー ビ ス (a)	訪問通所サービス	件数	243,934	241,756	2,178	0.9
		千円	12,945,986	12,625,559	320,427	2.5
	短期入所サービス	件数	13,900	15,540	△ 1,640	△ 10.6
		千円	2,006,004	1,931,128	74,876	3.9
	そ の 他	件数	71,931	67,179	4,752	7.1
		千円	1,824,625	1,800,827	23,798	1.3
	計	件数	329,765	324,475	5,290	1.6
		千円	16,776,615	16,357,514	419,101	2.6
地域密着型サービス(b)	定 期 巡 回 ・ 随 時 対 応 型 訪 問 介 護 看 護	件数	333	317	16	5.0
		千円	66,049	63,404	2,645	4.2
	地 域 密 着 型 通 所 介 護	件数	16,321	18,213	△ 1,892	△ 10.4
		千円	1,274,871	1,419,823	△ 144,952	△ 10.2
	認 知 症 対 応 型 通 所 介 護	件数	1,367	1,376	△ 9	△ 0.7
		千円	197,177	185,875	11,302	6.1
	小規模多機能型 居 宅 介 護	件数	5,941	5,654	287	5.1
		千円	1,064,360	1,009,458	54,902	5.4
	認 知 症 対 応 型 共 同 生 活 介 護	件数	12,096	11,580	516	4.5
		千円	3,443,346	3,241,746	201,600	6.2
	地域密着型介護 老人福祉施設入 所者生活介護	件数	7,635	7,424	211	2.8
		千円	2,411,274	2,310,287	100,987	4.4
	看 護 小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	件数	1,469	1,022	447	43.7
		千円	388,423	277,834	110,589	39.8
	計	件数	45,162	45,586	△ 424	△ 0.9
		千円	8,845,500	8,508,427	337,073	4.0
施 設 サ ー ビ ス (c)	介 護 老 人 福 祉 施 設	件数	18,077	18,302	△ 225	△ 1.2
		千円	5,046,674	5,044,134	2,540	0.1
	介 護 老 人 保 健 施 設	件数	13,858	14,152	△ 294	△ 2.1
		千円	4,242,564	4,246,720	△ 4,156	△ 0.1
	介 護 療 養 型 医 療 施 設	件数	492	966	△ 474	△ 49.1
		千円	193,391	381,696	△ 188,305	△ 49.3
	介 護 医 療 院	件数	1,872	1,374	498	36.2
		千円	755,724	555,243	200,481	36.1
	計	件数	34,299	34,794	△ 495	△ 1.4
		千円	10,238,353	10,227,793	10,560	0.1
その他のサービス(d)	住 宅 改 修	件数	1,084	1,209	△ 125	△ 10.3
		千円	123,351	136,441	△ 13,090	△ 9.6
	福 祉 用 具 購 入	件数	1,284	1,160	124	10.7
		千円	38,472	32,495	5,977	18.4
	居 宅 介 護 支 援	件数	143,963	141,766	2,197	1.5
		千円	1,715,188	1,679,560	35,628	2.1
	計	件数	146,331	144,135	2,196	1.5
		千円	1,877,011	1,848,496	28,515	1.5
特定入所者介護サービス費(e)		千円	1,023,274	998,685	24,589	2.5
総 利 用 費		件数	555,557	548,990	6,567	1.2
(a) + (b) + (c) + (d) + (e)		千円	38,760,753	37,940,915	819,838	2.2
被 保 険 者 数		人	120,319	119,077	1,242	1.0
要 介 護 認 定 者 数		人	23,093	22,724	369	1.6
利 用 者 数		人	20,101	19,924	177	0.9
利 用 者 1 人 当 た り 費 用		円	1,928,300	1,904,282	24,018	1.3
被 保 険 者 1 人 当 た り 費 用		円	322,150	318,625	3,525	1.1
1 件 当 た り 費 用		円	69,769	69,110	659	1.0

- (注) 1 被保険者数、要介護認定者数及び利用者数は、各年度における4月から3月までの年間被保険者数、年間認定者数及び年間利用者数の月平均である。
- 2 サービスの利用状況は、各年度における3月から2月までの利用分である。
- 3 特定入所者介護サービス費は、施設サービス等における居住費及び食費の自己負担を利用者の所得に応じて軽減するために給付するものである。

(カ) 総利用費及び1人当たりの利用費の推移は、次のとおりである。



- (ア) 行政財産を前年度と比べると、13,447㎡(0.1%)増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

公用財産

薬師谷埋蔵文化財保管庫用地 2,434㎡

公共用財産

新共同調理場建設用地 8,218㎡

次期廃棄物埋立場用地 1,225㎡

- (イ) 普通財産を前年度と比べると、認定こども園用地を社会福祉法人ひばり園に売却したこと等により、1,981㎡(0.5%)減少している。

イ 建 物

(単位：㎡・%)

(単位：㎡・%)

区 分			2 年度末	元年度末	増 減	
					面 積	比 率
行政財産	公用財産	庁 舎	41,425.91	42,574.41	△ 1,148.50	△ 2.7
		消 防 施 設	22,224.95	22,524.42	△ 299.47	△ 1.3
		そ の 他	69,726.71	67,683.37	2,043.34	3.0
	公共用財産	学 校	635,096.77	643,505.84	△ 8,409.07	△ 1.3
		公 営 住 宅	252,025.89	252,025.89	0.00	0.0
		公 園	39,387.49	39,387.49	0.00	0.0
		山 林	188.68	188.68	0.00	0.0
		そ の 他	407,421.28	411,519.05	△ 4,097.77	△ 1.0
	小 計		1,467,497.68	1,479,409.15	△ 11,911.47	△ 0.8
普通財産	貸 付 財 産		28,176.69	29,133.21	△ 956.52	△ 3.3
	そ の 他		17,794.16	22,533.35	△ 4,739.19	△ 21.0
	小 計		45,970.85	51,666.56	△ 5,695.71	△ 11.0
合 計			1,513,468.53	1,531,075.71	△ 17,607.18	△ 1.1

- (ア) 行政財産を前年度と比べると、11,911㎡(0.8%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

公用財産

旧南分室仮庁舎 1,033㎡

公共用財産

旧菊川町小学校 △ 5,567㎡

玉川こども図書館 △ 4,893㎡

- (イ) 普通財産を前年度と比べると、旧材木町小学校の取り壊し等により、5,696㎡(11.0%)減少している。

ウ 山 林

(単位：㎡・％)

区 分		2 年度末	元年度末	増 減	
				面 積	比 率
市 有 林		1,895,582.49	1,895,582.49	0.00	0.0
分 収 林		19,884,900.00	20,029,000.00	△ 144,100.00	△ 0.7
計		21,780,482.49	21,924,582.49	△ 144,100.00	△ 0.7

(注) 市有林は土地における山林の再掲で、分収林は民有地である。

(ア) 前年度と比べると、分収林の減により144,100㎡(0.7%)減少している。

(イ) 立木の推定蓄積量は、次のとおりである。

(単位：㎡・％)

区 分		2 年度末	元年度末	増 減	
				蓄 積 量	比 率
市 有 林		71,076.00	67,691.00	3,385.00	5.0
分 収 林		705,376.00	694,632.00	10,744.00	1.5
計		776,452.00	762,323.00	14,129.00	1.9

(注) 立木の推定蓄積量の増加は、立木の自然成長によるものである。

エ 物 権 (地 上 権)

(単位：㎡・％)

区 分		2 年度末	元年度末	増 減	
				面 積	比 率
行政財産	公用財産	13,067,837.52	13,067,837.52	0.00	0.0
	公共用財産	217,150.50	221,784.61	△ 4,634.11	△ 2.1
普通財産		445.70	445.70	0.00	0.0
計		13,285,433.72	13,290,067.83	△ 4,634.11	0.0

オ 無体財産権

(単位：件・％)

区 分		2 年度末	元年度末	増 減	
				件 数	比 率
行政財産	商 標 権	7	5	2	40.0
	育成者権	1	1	0	0.0
計		8	6	2	33.3

カ 有価証券

(単位：千円・%)

区 分		2年度末	元年度末	増 減	
				金 額	比 率
株 券	I R いしかわ鉄道(株)	270,000	270,000	0	0.0
	金 沢 ケ ー プ ル (株)	112,000	112,000	0	0.0
	北陸エアターミナルビル(株)	101,000	101,000	0	0.0
	(株)北陸メディアセンター	40,000	40,000	0	0.0
	(株)金 沢 港 運	28,400	28,400	0	0.0
	(株)金沢商業活性化センター	23,000	23,000	0	0.0
	金 沢 総 合 花 き (株)	-	6,000	△ 6,000	△ 100.0
	そ の 他 15 社	104,990	104,990	0	0.0
計		679,390	685,390	△ 6,000	△ 0.9

(ア) 株券の保有は前年度と比べると1社減少し、21社である。

これは金沢総合花き(株)の株券を公設花き地方卸売市場事業特別会計に所管替えしたことに伴う減少である。

キ 出資による権利

(単位：千円・%)

区 分		2年度末	元年度末	増 減	
				金 額	比 率
公立大学法人金沢美術工芸大学		3,139,739	3,139,739	0	0.0
(公財)金 沢 子 ど も 科 学 財 団		230,000	230,000	0	0.0
(一財)石川県文化・産業振興基金		213,260	213,260	0	0.0
(一財)石川県労働者信用基金協会		94,770	94,770	0	0.0
石 川 県 信 用 保 証 協 会		73,820	73,820	0	0.0
(公財)横浜記念金沢の文化創生財団		70,000	70,000	0	0.0
そ の 他 40 団 体		471,259	471,065	194	0.0
計		4,292,848	4,292,654	194	0.0

(ア) 出資額を前年度と比べると、金沢森林組合の出資配当金の増加により19万4千円(0.0%)増加している。

(2) 物 品

(単位：点・%)

区 分	2 年度末	元年度末	増 減	
			数 量	比 率
美術工芸品類	2,080	2,066	14	0.7
車 両 類	454	453	1	0.2
教科用器具類	210	210	0	0.0
計測、試験機器類	128	121	7	5.8
ちゅう房用具類	275	275	0	0.0
そ の 他	981	979	2	0.2
計	4,128	4,104	24	0.6

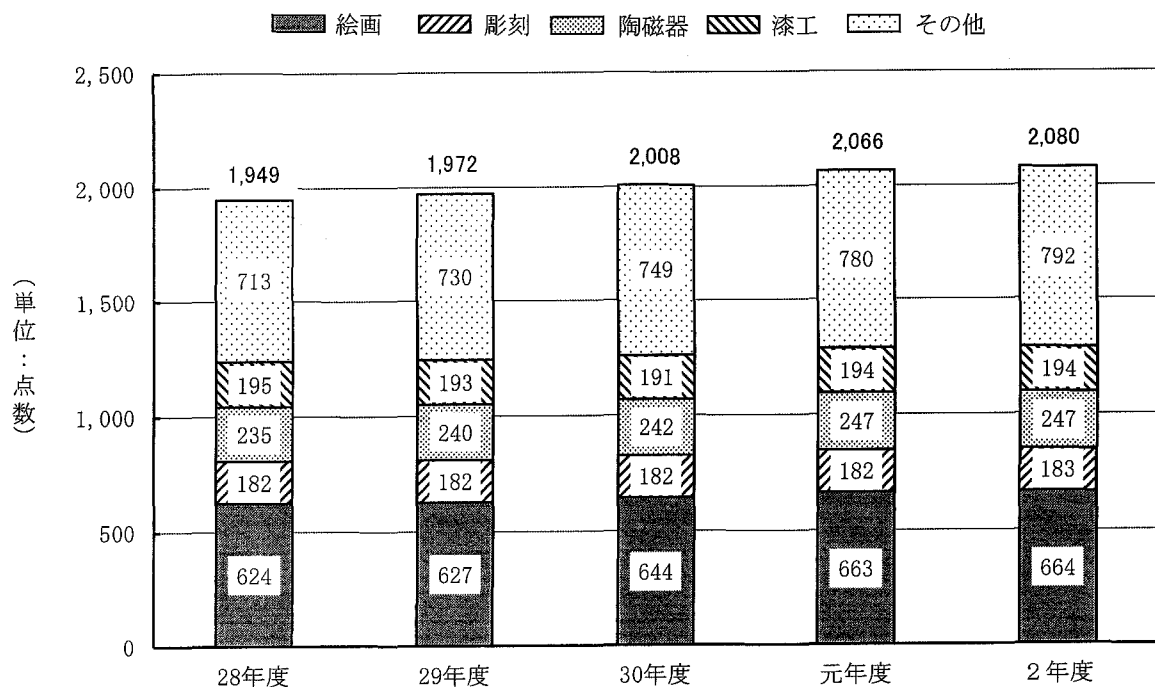
(ア) 前年度と比べると、24点増加しており、その主な内訳は次のとおりである。

美術工芸品類 14点
 (うち美術館美術品購入基金からの再取得5点を含む。)
 計測、試験機器類 7点

なお、新たに取得した主な美術工芸品類は、次の作品である。
 (美術館美術品については美術館美術品購入基金で後述する。)

金工 「七宝四霊文三足合子」
 彫刻 「鳳凰龍人物木彫高卓」 武田 友月

(イ) 美術工芸品の現在高の推移は、次のとおりである。



(3) 債 権

(単位：千円・%)

区 分	2 年度末	元年度末	増 減	
			金 額	比 率
東 京 事 務 所 等 敷 金	11,975	11,822	153	1.3
金 沢 公 舎 敷 金	430	430	0	0.0
「dining gallery 銀座の金沢」 敷 金	35,089	35,089	0	0.0
地域総合整備資金貸付金	70,376	77,782	△ 7,406	△ 9.5
石 川 県 金 沢 食 肉 公 社 運 営 資 金 貸 付 金	14,000	14,000	0	0.0
石 川 県 金 沢 食 肉 公 社 運 営 安 定 化 資 金 貸 付 金	5,000	10,000	△ 5,000	△ 50.0
ほっと石川観光プラン推進 フ ァ ン ド 貸 付 金	1,330,000	1,330,000	0	0.0
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 金	194,080	214,379	△ 20,299	△ 9.5
計	1,660,950	1,693,502	△ 32,552	△ 1.9

(7) 前年度と比べると3,255万2千円(1.9%)減少しており、その主な内訳は次のとおりである。

母子父子寡婦福祉資金貸付金	△ 2,029万9千円
地域総合整備資金貸付金	△ 740万6千円

(4) 基 金

(単位：千円・%)

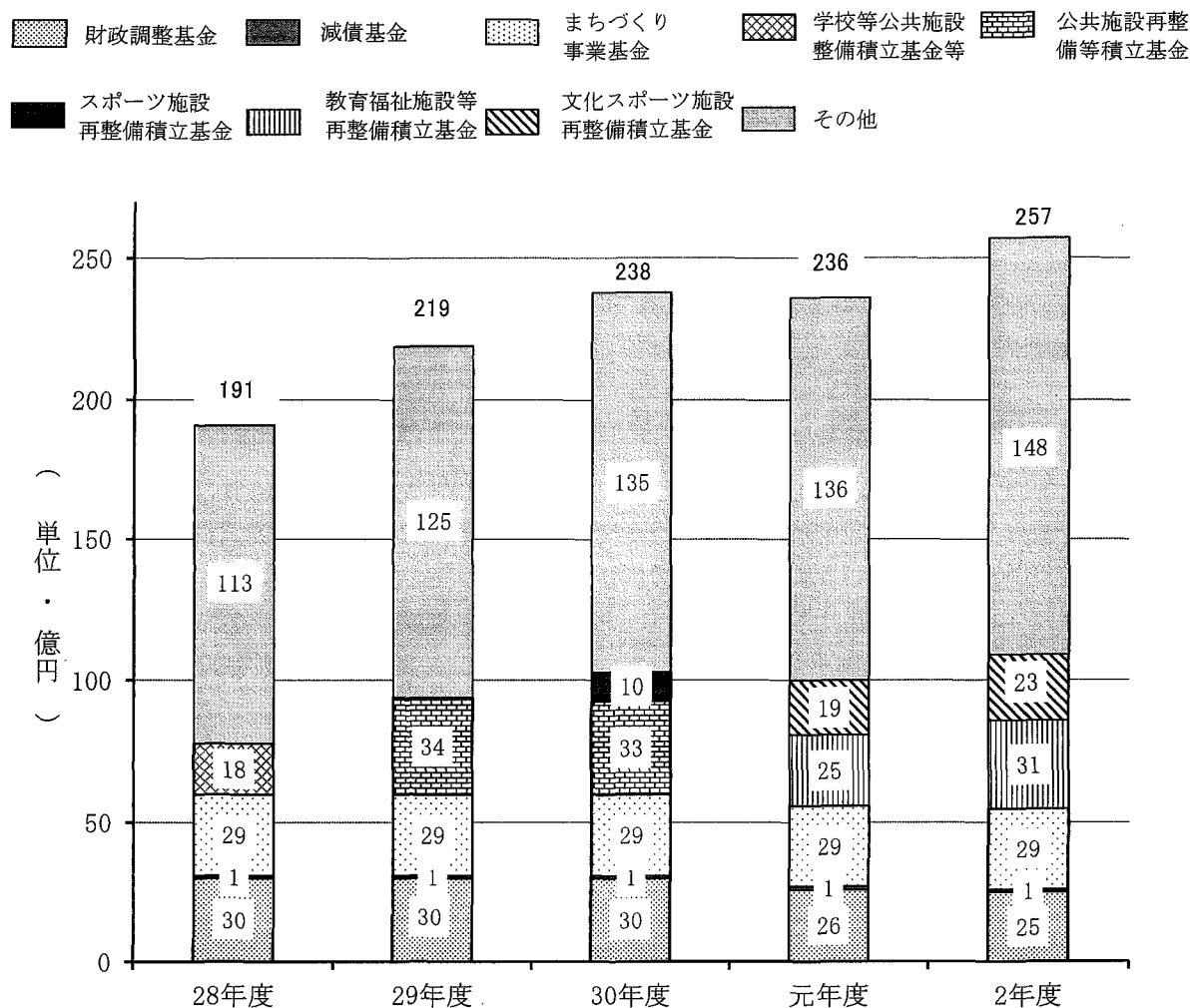
番号	基 金 名	2 年度末現在高	元年度末現在高	増 減	
				金 額	比 率
1	金 沢 市 電 気 事 業 記 念 基 金	1,049,503	1,049,503	0	0.0
2	金 沢 市 民 共 済 生 活 協 同 組 合 貸 付 引 当 基 金	115,575	115,556	19	0.0
3	金 沢 市 財 政 調 整 基 金	2,451,839	2,591,684	△ 139,845	△ 5.4
4	金 沢 市 ま ち づ くり 事 業 基 金	2,943,578	2,942,271	1,307	0.0
5	金 沢 市 営 地 方 競 馬 事 業 益 金 積 立 基 金	542,151	518,326	23,825	4.6
6	減 債 基 金	103,520	103,520	0	0.0
7	金 沢 市 育 英 会 奨 学 基 金	213,159	214,539	△ 1,380	△ 0.6
8	金 沢 市 文 化 の 人 づ くり 基 金	1,308,299	1,198,636	109,663	9.1
9	金 沢 市 福 祉 活 動 育 成 基 金	2,220,886	2,218,787	2,099	0.1
10	美 術 館 美 術 品 購 入 基 金	1,307,470	1,256,230	51,240	4.1
11	介 護 給 付 費 準 備 基 金	2,424,922	1,969,225	455,697	23.1
12	廃棄物処理施設整備積立基金	352,978	212,919	140,059	65.8
13	青 少 年 育 成 基 金	235,250	237,262	△ 2,012	△ 0.8
14	地域コミュニティ活性化基金	600,978	306,668	294,310	96.0
15	美術工芸大学施設整備積立基金	1,301,713	1,501,525	△ 199,812	△ 13.3
16	国民健康保険財政調整基金	3,141,204	2,756,147	385,057	14.0
17	教育福祉施設等再整備積立基金	3,101,339	2,501,049	600,290	24.0
18	文 化 ス ポ ー ツ 施 設 再 整 備 積 立 基 金	2,300,356	1,900,149	400,207	21.1
	計	25,714,720	23,593,996	2,120,724	9.0

ア 主な基金の状況

- (ア) 財政調整基金は、地方財政法に基づき財政の健全な運営に資するための基金である。
本年度は、1億4,000万円取り崩し、運用利子15万5千円を積み立てている。
- (イ) まちづくり事業基金は、伝統環境の保存育成等の特別な事業又は大規模な都市開発事業に充てる資金として積み立てるほか、都市施設整備事業に要する資金又は公用・公共用地をあらかじめ取得するための資金に運用するための基金である。
本年度は、運用収入130万7千円を積み立てている。
- (ウ) 市営地方競馬事業益金積立基金は、競馬事業の不時の出資に充てるほか、社会福祉事業資金に運用するための基金である。
本年度は、新たに積立金2,373万9千円と運用利子8万6千円を積み立てている。
- (エ) 減債基金は、市債償還財源の計画的確保を図り、長期的視点に立った財政運営に資するための基金である。本年度は、取り崩しを行っていない。

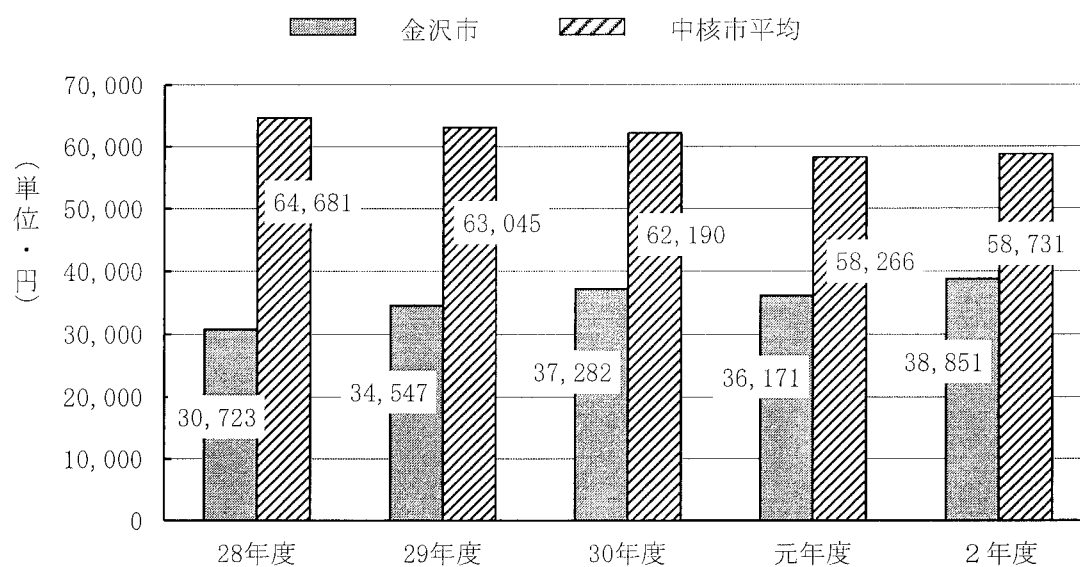
- (カ) 金沢市文化の人づくり基金は、伝統文化の継承発展及び新たな文化の創造を担う人材の育成に資するための基金である。
本年度は、新たに積立金3,153万5千円と、ふるさと納税7,752万8千円及び寄附金60万円を積み立てている。
- (カ) 福祉活動育成基金は、高齢者及び障害者のための福祉活動並びに地域の福祉活動を助長し、育成するほか、社会福祉事業資金に運用するための基金である。
本年度は、寄附金209万9千円を積み立てている。
- (キ) 美術館美術品購入基金は、美術館に所蔵する美術品の購入に充てる資金として積み立てるほか、美術品を円滑に購入するための資金に運用するための基金である。
本年度は、新たに積立金1億4,000万円と運用利子23万円を積み立てし、美術品の購入に充てるために8,899万円を取り崩している。
新たに購入した美術品5点については、全て一般会計へ移管している。
- (ク) 介護給付費準備基金は、介護保険財政の健全な運営に資するための基金である。
本年度は、新たに4億5,569万7千円を積み立てている。
- (ケ) 廃棄物処理施設整備積立基金は、廃棄物処理施設の整備に充てる資金を積み立てるための基金である。
本年度は、積立金1億4,000万円と運用利子5万9千円を積み立てている。
- (コ) 地域コミュニティ活性化基金は、地域におけるコミュニティの充実と市民協働の推進を図り、良好な地域社会の維持及び形成に資するための基金である。
本年度は、新たに2億9,431万1千円を積み立てている。
- (サ) 美術工芸大学施設整備積立基金は、金沢美術工芸大学の施設の整備に充てる資金を積み立てるための基金である。
本年度は、2億円を取り崩し、運用利子18万8千円を積み立てている。
- (シ) 国民健康保険財政調整基金は、国民健康保険財政の健全な運営に資するための基金である。
本年度は、新たに3億8,505万7千円を積み立てている。
- (ス) 教育福祉施設等再整備積立基金は、教育施設及び福祉施設等の再整備に充てる資金を積み立てるための基金である。
本年度は、新たに積立金6億円と運用利子29万円を積み立てている。
- (セ) 文化スポーツ施設再整備積立基金は、文化スポーツ施設の再整備に充てる資金を積み立てるための基金である。
本年度は、新たに積立金4億円と運用利子20万7千円を積み立てている。

イ 基金の現在高の推移



(注) 学校等公共施設整備積立基金等は、学校等公共施設整備積立基金、公共施設維持補修基金及びスポーツ施設整備積立基金の合計額であり、平成29年度に3つを統合し、公共施設再整備等積立基金が創設された。
 平成30年度に公共施設再整備等積立基金の一部をスポーツ施設再整備積立基金に組替えた。
 令和元年度に公共施設再整備等積立基金及びスポーツ施設再整備積立基金を改編し、教育福祉施設等再整備積立基金及び文化スポーツ施設再整備積立基金が創設された。

ウ 普通会計における市民1人当たりの基金現在高の推移



(注) 市民1人当たりの基金現在高 =
$$\frac{\text{基金現在高}}{\text{住民基本台帳人口(各年度末現在)}}$$

5 基金の運用状況

(1) 金沢市まちづくり事業基金

ア 土地

(単位：千円)

区 分	元年度末 現在額(高)(A)	2年度中増減額(高)		2年度末 現在額(高)(B)	増減額(高) (B)－(A)
		増	減		
現金					
普通預金	5,730	9,264,860	9,261,458	9,132	3,402
定期預金	1,780,000	9,240,000	9,030,000	1,990,000	210,000
土地					
面積(㎡)	123,564	4,783	1,164	127,183	3,619
金額	1,156,541	21,458	233,553	944,446	△ 212,095
計	2,942,271	18,526,318	18,525,011	2,943,578	1,307

(ア) 土地の取得は、次のとおりである。

次期廃棄物埋立場用地	4,634㎡
泉野々市線緑地整備用地	148㎡

(イ) 土地の処分の主なものは、次のとおりである。

泉が丘おあしす広場整備事業用地	624㎡
本多町歴史文化ゾーン整備事業用地	343㎡

(ウ) 本年度末の保有土地の主なものは、次のとおりである。

戸室スポーツ広場拡張整備事業用地	69,365㎡
戸室新保埋立場用地	26,473㎡

イ 積立額

新たな積立額は、運用収入130万7千円である。

(2) 金沢市営地方競馬事業益金積立基金

(単位：千円)

区 分	元年度末 現在額(A)	2年度中増減額		2年度末 現在額(B)	増 減 額 (B)－(A)
		増	減		
現金					
普通預金	0	1,060,536	1,060,536	0	0
定期預金	518,326	1,060,536	1,036,711	542,151	23,825
計	518,326	2,121,072	2,097,247	542,151	23,825

ア 積立額

新たな積立額は、新規積立金2,373万9千円と運用利子8万6千円である。

(3) 金沢市福祉活動育成基金

(単位：千円)

区 分		元年度末 現在額(A)	2年度中増減額		2年度末 現在額(B)	増 減 額 (B)－(A)
			増	減		
現金	普通預金	499,586	2,303,971	2,702,272	101,285	△ 398,301
	定期預金	700,000	2,000,000	1,700,000	1,000,000	300,000
貸 付 金		1,019,201	702,272	601,872	1,119,601	100,400
計		2,218,787	5,006,243	5,004,144	2,220,886	2,099

ア 貸付金

増加は、社会福祉事業つなぎ資金貸付金4億9,887万2千円と社会福祉施設整備等資金貸付金2億340万円を合わせた7億227万2千円である。

減少は、社会福祉事業つなぎ資金貸付金の返済4億7,309万円と社会福祉施設整備等資金貸付金の返済1億2,878万2千円を合わせた6億187万2千円である。

本年度末現在額11億1,960万1千円は、主に社会福祉施設整備等資金貸付金である。

イ 積立額

新たな積立額は、寄附金209万9千円である。

(4) 美術館美術品購入基金

(単位：千円)

区 分		元年度末 現在額(A)	2年度中増減額		2年度末 現在額(B)	増 減 額 (B)－(A)
			増	減		
現金	普通預金	90,000	88,990	88,990	90,000	0
	定期預金	1,166,230	140,230	88,990	1,217,470	51,240
物 品		0	88,990	88,990	0	0
計		1,256,230	318,210	266,970	1,307,470	51,240

ア 物 品

増加は、美術品5点の購入であり、主な作品は次のとおりである。

平面

「世界庭園地図」 チウ・ジージェ

インスタレーション

「記憶の雨」 塩田 千春

減少は、本年度に購入した美術品5点すべてを一般会計に移管したものである。

イ 積立額

新たな積立額は、新規積立金1億4,000万円と運用利子23万円である。